予算科目	10 款	教育費	事業名		小中学校児童生徒体育及び文化活動補助金交付事業																								
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																								
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																								
	事業	教育指導奨励費		(1)	学校教育の充実を図る																								
担当部課	教育委員会学校教育課		実施計画掲載ページ	P 90																									
目的及び事業内容		小・中学校の体育文化活動の充実を図るとともに、各種大会へ出場する際の交通費、宿泊費の一部助成等により保護者負担を軽減する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>大会区分</th> <th>補助対象経費</th> <th>補助率</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育活動 地区大会以上</td> <td>交通費</td> <td>75%</td> <td rowspan="3">東北大会以上は、宿泊に要した実費相当額で、6,000円を上限に補助する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">文化活動 地区大会以上</td> <td>交通費</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>楽器輸送費</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>				大会区分	補助対象経費	補助率	備考	体育活動 地区大会以上	交通費	75%	東北大会以上は、宿泊に要した実費相当額で、6,000円を上限に補助する。	文化活動 地区大会以上	交通費	75%	楽器輸送費	100%											
大会区分	補助対象経費	補助率	備考																										
体育活動 地区大会以上	交通費	75%	東北大会以上は、宿泊に要した実費相当額で、6,000円を上限に補助する。																										
文化活動 地区大会以上	交通費	75%																											
	楽器輸送費	100%																											
取組実績		補助金の交付 音楽コンクール地区大会以上に参加した中学校に対し、交通費及び楽器輸送費等の一部を助成した。 ・地区大会参加回数 13回（10校） ・県大会参加回数 10回（7校） ・補助金交付額 1,056,514円 体育活動地区大会以上に参加した中学校に対し、交通費等の一部を助成した。 ・地区大会参加回数 57回（17校） ・県大会参加回数 43回（16校） ・東北大会参加回数 9回（7校） ・全国大会参加回数 6回（6校） ・補助金交付額 21,592,187円																											
成果		音楽コンクールにおける地区大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>6校（8件）</td> <td>7校（9件）</td> <td>12校（23件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>524,119円</td> <td>1,140,383円</td> <td>1,056,514円</td> </tr> </tbody> </table> 体育活動における地区大会等への参加に係る保護者負担の軽減が図られた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象校（補助件数）</td> <td>18校（125件）</td> <td>18校（112件）</td> <td>17校（115件）</td> </tr> <tr> <td>補助金交付額</td> <td>19,245,400円</td> <td>21,278,648円</td> <td>21,592,187円</td> </tr> </tbody> </table>				主な指標項目	R3	R4	R5	補助対象校（補助件数）	6校（8件）	7校（9件）	12校（23件）	補助金交付額	524,119円	1,140,383円	1,056,514円	主な指標項目	R3	R4	R5	補助対象校（補助件数）	18校（125件）	18校（112件）	17校（115件）	補助金交付額	19,245,400円	21,278,648円	21,592,187円
主な指標項目	R3	R4	R5																										
補助対象校（補助件数）	6校（8件）	7校（9件）	12校（23件）																										
補助金交付額	524,119円	1,140,383円	1,056,514円																										
主な指標項目	R3	R4	R5																										
補助対象校（補助件数）	18校（125件）	18校（112件）	17校（115件）																										
補助金交付額	19,245,400円	21,278,648円	21,592,187円																										
成果に係る評価		各種大会に参加する生徒の交通費や楽器輸送費等の一部を補助することにより、保護者の経済的負担の軽減が図られた。今後も、小・中学校の文化活動及び体育活動の充実と、保護者の経済的負担の軽減を図っていくため、本事業を継続して実施することが必要である。 なお、令和5年度からは、文化活動の補助対象を地区大会以上に拡充したことにより、さらに充実した補助内容となっている。																											
（単位：円）																													
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																						
		23,985,000	22,648,701			20,000,000	2,648,701																						

予算科目	10 款	教育費	事業名	奨学金貸与事業																																	
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																
	事業	奨学金貸与費		(3)	有能な人材を育成支援する																																
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 93																																	
目的及び事業内容		石巻市奨学金貸与条例に基づき、経済的理由により修学困難な生徒及び学生に学資を貸与し、有能な人材の育成を図る。 ・奨学金の貸与・償還																																			
取組実績		1 奨学金の貸与 (1) 奨学生の新規募集を行い、石巻市奨学生選考委員会で15名※の新規奨学生を決定した。 ※うち4名は内定者（次年度の予約採用） (2) 貸与区分（月額） <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> <th>区 分</th> <th>貸与月額</th> </tr> <tr> <td>高校在学</td> <td>15,000円</td> <td>高専在学</td> <td>第3学年まで 15,000円 第4学年以上 45,000円</td> </tr> <tr> <td>大学在学</td> <td>45,000円</td> <td>専修学校在学（専門課程）</td> <td>45,000円</td> </tr> </table> (3) 貸与者数 29名 (4) 貸与金額 14,940,000円 2 奨学金の償還 滞納者に対し督促書を郵送した。返済の見込めない滞納者については、その保護者及び連帯保証人に催告書を送付し返済を求め、収納促進を図った。				区 分	貸与月額	区 分	貸与月額	高校在学	15,000円	高専在学	第3学年まで 15,000円 第4学年以上 45,000円	大学在学	45,000円	専修学校在学（専門課程）	45,000円																				
区 分	貸与月額	区 分	貸与月額																																		
高校在学	15,000円	高専在学	第3学年まで 15,000円 第4学年以上 45,000円																																		
大学在学	45,000円	専修学校在学（専門課程）	45,000円																																		
成 果		経済的理由で修学困難な生徒及び学生に教育の機会を与えた。 1 貸与状況 <table border="1"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> <tr> <td>奨学金貸与者数 （うち新規貸与者数）</td> <td>45名（9名）</td> <td>31名（8名）</td> <td>29名（11名）</td> </tr> <tr> <td>貸与金額</td> <td>22,680,000円</td> <td>15,705,000円</td> <td>14,940,000円</td> </tr> </table> 2 償還状況（令和5年度） <table border="1"> <tr> <th>項 目</th> <th>令和5年度（現年）分</th> <th>滞納（過年度）分</th> <th>繰上償還分</th> </tr> <tr> <td>調 定 額</td> <td>32,625,700円</td> <td>35,817,750円</td> <td>1,218,000円</td> </tr> <tr> <td>償 還 額</td> <td>30,515,600円</td> <td>6,378,900円</td> <td>1,218,000円</td> </tr> <tr> <td>滞 納 額</td> <td>2,110,100円</td> <td>29,438,850円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>償 還 率</td> <td>93.53%</td> <td>17.81%</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>				主な指標項目	R3	R4	R5	奨学金貸与者数 （うち新規貸与者数）	45名（9名）	31名（8名）	29名（11名）	貸与金額	22,680,000円	15,705,000円	14,940,000円	項 目	令和5年度（現年）分	滞納（過年度）分	繰上償還分	調 定 額	32,625,700円	35,817,750円	1,218,000円	償 還 額	30,515,600円	6,378,900円	1,218,000円	滞 納 額	2,110,100円	29,438,850円	0円	償 還 率	93.53%	17.81%	100.0%
主な指標項目	R3	R4	R5																																		
奨学金貸与者数 （うち新規貸与者数）	45名（9名）	31名（8名）	29名（11名）																																		
貸与金額	22,680,000円	15,705,000円	14,940,000円																																		
項 目	令和5年度（現年）分	滞納（過年度）分	繰上償還分																																		
調 定 額	32,625,700円	35,817,750円	1,218,000円																																		
償 還 額	30,515,600円	6,378,900円	1,218,000円																																		
滞 納 額	2,110,100円	29,438,850円	0円																																		
償 還 率	93.53%	17.81%	100.0%																																		
成果に係る評価		令和5年度から次年度に向けた予約採用として第3次募集を実施したことで、昨年度よりも多くの奨学生を採用し、修学に必要な学資を貸与した。 償還金の滞納対策として、滞納者との納付相談や、保護者及び連帯保証人への催告等を実施したところ、滞納額及び滞納者数は前年度と比較し減少した。また、新たな滞納者が生じないよう前年度償還金の償還状況を確認しながら、返済期が遅れている奨学生に対しては電話による状況確認を行った。 今後も個別相談や電話連絡等により滞納者の生活状況の把握に努めながら、効果的な滞納対策を実施する。																																			
（単位：円）																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																															
	17,211,000	17,123,094			14,940,000	2,183,094																															

予算科目	10 款	教育費	事業名	国際理解教育推進事業											
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち										
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実										
	事業	外国青年英語指導費		(2)	外国語教育を推進する										
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 92											
目的及び事業内容		幼稚園、小・中学校及び高等学校におけるALT（外国語指導助手）を活用しての授業や交流を通して外国語教育と国際理解教育の充実を図る。													
取組実績		1 市立中学校、高等学校における外国語科の充実 2 市立小学校における外国語活動、外国語科の充実 3 市立幼稚園、こども園、学びサポートセンターにおける国際理解教育の推進 1 市立中学校・高等学校 市立全ての幼・小・中・高を16のブロックに分け、それぞれに1名ずつALTを配置した。2名のJET-ALTと14名の民間ALT（業務委託）を配置しており、JETプログラムのALTについては、授業以外の場面でも生徒と積極的に接した。どの中・高でも週に1回程度はALTの指導を受けている。 2 市立小学校 中・高学年で行われている外国語活動、外国語の時間に合わせてALTを配置した。学級担任や外国語担当教員と協働し、児童が楽しみながら外国語を使用し、コミュニケーション能力の基礎を養えるような授業づくりに努めた。どの小学校も週に1回程度はALTの指導を受けている。 3 市立幼稚園・こども園・学びサポートセンター 月に1回程度配置し、英語を使った活動等を行い、英語に対する関心を高める機会を設定した。 ※JETプログラム…「語学指導等を行う外国青年招致事業」の略称 外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を図り、総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）の協力の下に実施する事業。													
成 果		市立幼稚園、こども園、市立小・中・高、学びサポートセンターの全57の施設において、担当教員との質の高いチームティーチングが実践された。また前年に引き続き、高い水準でALTとの授業を「楽しい」と感じる児童生徒の割合を維持できており、外国語や国際理解に関する学習に対する関心や意欲を高めることに大いに貢献している。 <table border="1"> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> <tr> <td>ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学2年生）</td> <td>89.0%</td> <td>88.9%</td> <td>91.3%</td> <td>92.4%</td> </tr> </table>				主な指標項目	R2	R3	R4	R5	ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学2年生）	89.0%	88.9%	91.3%	92.4%
主な指標項目	R2	R3	R4	R5											
ALTとの授業が楽しいと感じる生徒の割合（中学2年生）	89.0%	88.9%	91.3%	92.4%											
成果に係る評価		現行学習指導要領では、小学校での外国語の時間が増加し、指導内容もより実際のコミュニケーションを意識したものとなっている。小学校におけるALTのニーズが高まっている中で、本市においては1人のALTが2～4校程度担当しており、児童・生徒が常にALTの指導を受けられる状況とはなっていない。今後、小学校へのALTの配置数を増やし、一層の指導の充実を図っていく必要がある。 授業では担任教員とのチームティーチングにより、子どもたちが異文化への興味・関心を高め、身の回りにおける様々な学習資源を活用して自ら英語力を高めていこうとする意欲を培っていくことにより、国際理解教育の充実を図っていく。													
（単位：円）															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源									
	82,128,000	81,503,688				81,503,688									

予算科目	10 款	教育費	事業名		いじめ・生徒指導問題対策事業																																															
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																															
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																															
	事業	いじめ・生徒指導問題対策費		(1)	学校教育の充実を図る																																															
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 90																																																
目的及び事業内容	いじめやその他の生徒指導に関する問題に組織的に対応するため、関係機関等との連携を推進するほか、教員や保護者対象の研修を通して「いじめを許さない風土づくり」を進め、いじめの未然防止及び早期発見・解決を図る。 1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策会議の実施 2 いじめの防止や生徒指導上の諸問題の解決に係る研修会、講演会の実施 3 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布 4 「S t o p ! いじめ石巻市子どもサミット」の実施																																																			
取組実績	1 いじめ問題対策連絡協議会、生徒指導問題対策会議の実施 市内のいじめの諸問題、生徒指導問題について、各回の情報交換を行ったほか、有効な連携の在り方について協議した。 2 「いじめ防止標語・心のメッセージ集」の作成・配布 いじめ防止標語（小）、いじめ防止メッセージ（中・高）を募集し、メッセージ集を作成して各学校や関係機関に配布し、意識啓発に努めた。 3 「S t o p ! いじめ石巻市子どもサミット」は、市内全中学校のいじめの防止の取組について、オンラインにて行った。 4 いじめの重大事案に対応するため、石巻市いじめ問題対策調査委員会を設置し、情報交換、重大事態が起きた際の対応検討等を行った。 5 いじめ問題対策連絡協議会主催で「いじめの認知力を高める～現状を理解し効果的な対策を」と題して11月に教育講演会を実施した。																																																			
成 果	【いじめ認知件数の推移】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年 度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小学校</td> <td>認知件数</td> <td>263件</td> <td>77件</td> <td>186件</td> <td>96件</td> <td>92件</td> </tr> <tr> <td>解消率</td> <td>82.10%</td> <td>66.20%</td> <td>85.50%</td> <td>62.50%</td> <td>72.83%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中学校</td> <td>認知件数</td> <td>82件</td> <td>46件</td> <td>39件</td> <td>36件</td> <td>39件</td> </tr> <tr> <td>解消率</td> <td>61.00%</td> <td>47.80%</td> <td>76.90%</td> <td>77.78%</td> <td>53.85%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合 計</td> <td>認知件数</td> <td>345件</td> <td>123件</td> <td>225件</td> <td>132件</td> <td>131件</td> </tr> <tr> <td>解消率</td> <td>77.10%</td> <td>59.30%</td> <td>84.00%</td> <td>66.67%</td> <td>67.18%</td> </tr> </tbody> </table> ・令和5年度のいじめの認知件数は、令和4年度と同程度である。 ※『いじめが「解消している」状態とは、①いじめに係る行為が止んでいること、被害者に対する心理的又は物理的な影響を与える行為が止んでいる状態が相当の期間継続していること。この相当の期間とは、少なくとも3か月を目安とする。②被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと、いじめに係る行為が止んでいるかどうかを判断する時点において、被害児童生徒がいじめの行為により心身の苦痛を感じていないと認められること。』 平成25年10月11日文科科学大臣決定（最終改定 平成29年3月14日）いじめの防止等のための基本的な方針より抜粋						年 度		R1	R2	R3	R4	R5	小学校	認知件数	263件	77件	186件	96件	92件	解消率	82.10%	66.20%	85.50%	62.50%	72.83%	中学校	認知件数	82件	46件	39件	36件	39件	解消率	61.00%	47.80%	76.90%	77.78%	53.85%	合 計	認知件数	345件	123件	225件	132件	131件	解消率	77.10%	59.30%	84.00%	66.67%	67.18%
年 度		R1	R2	R3	R4	R5																																														
小学校	認知件数	263件	77件	186件	96件	92件																																														
	解消率	82.10%	66.20%	85.50%	62.50%	72.83%																																														
中学校	認知件数	82件	46件	39件	36件	39件																																														
	解消率	61.00%	47.80%	76.90%	77.78%	53.85%																																														
合 計	認知件数	345件	123件	225件	132件	131件																																														
	解消率	77.10%	59.30%	84.00%	66.67%	67.18%																																														
成果に係る評価	いじめの認知を高めるために、各校では、いじめアンケートの実施に加え、児童生徒の見守りや早期発見・解決といった取組を組織的に行っている。12月以降、解消率が小・中学校ともに高まることから、いじめ認知後の指導及び経過観察を丁寧に行っている成果であると考えられる。 また、解消できなかった案件については、進級及び進学での引き継ぎがなされ、指導を継続することで解消に努めている。 今後も、未然防止に向けての取組が必要であり、いじめについては積極的に認知し、学校全体で組織的に解決、解消に努めることが大切である。学校外におけるSNSやオンラインゲーム等を起因とするトラブルも見られることから、児童生徒同士の望ましい人間関係づくりの推進や道徳教育の充実に向けて、引き続き各校に働き掛けていく。																																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																																			
予算額	1,291,000	決算額	決算額の財源内訳																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																														
		547,765				547,765																																														

予算科目	10 款	教育費	事業名		スクールカウンセラー配置事業																																																																																																															
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																																																																																															
	3 目	教育指導奨励費		第 3 節	いのちを守る防災教育の推進																																																																																																															
	事業	スクールカウンセラー配置事業費		(1)	心のケアや相談体制の充実を図る																																																																																																															
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 94																																																																																																																
目的及び事業内容	カウンセラーの相談活動により、児童生徒・保護者・教職員の心理面における安定を図るとともに、児童生徒の健全育成に資する。 1 スクールカウンセラーの配置 2 児童生徒・保護者・教職員からの要望に応じたカウンセリングの実施 3 カウンセラーを活用してのカウンセリング研修等の実施																																																																																																																			
取組実績	1 スクールカウンセラーの配置（小・中学校カウンセラーの任用は宮城県で行い、人件費も県より支出する。なお、桜坂高校は、任用も人件費の負担も市で行っている。） ・34人のカウンセラーを全小・中・高等学校に配置した。 2 カウンセラーの配置状況 (1) 1人あたり 小学校各校年間8～48回、中学校各校年間31～48回、桜坂高校60回 (2) 1回あたりの時間 5～6時間 3 カウンセラーの活動内容 ・面談・カウンセリング研修等の実施・カウンセリングルームの環境整備 ・各学級巡回・各種ケース会議・おたよりの作成 等																																																																																																																			
成 果	全小・中学校、桜坂高校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒、保護者、教職員が相談できる体制を整えることができた。相談者が専門的なカウンセリングを受けることによって、震災後の心のケアも含め、学校や家族の内在的な問題等の解決の一助としての役割を担った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区分</th> <th>相談</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小学校</td> <td>件数</td> <td>3,055件</td> <td>3,111件</td> <td>3,540件</td> <td>3,409件</td> <td>3,031件</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>3,242人</td> <td>3,669人</td> <td>3,743人</td> <td>3,490人</td> <td>3,211人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中学校</td> <td>件数</td> <td>2,681件</td> <td>1,950件</td> <td>2,199件</td> <td>2,515件</td> <td>2,270件</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2,816人</td> <td>2,052人</td> <td>2,138人</td> <td>2,648人</td> <td>2,423人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">桜坂高校</td> <td>件数</td> <td>252件</td> <td>229件</td> <td>224件</td> <td>236件</td> <td>189件</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>340人</td> <td>349人</td> <td>350人</td> <td>348人</td> <td>307人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区分</th> <th>相談人数内訳</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">小学校</td> <td>児童</td> <td>2,186人</td> <td>2,549人</td> <td>2,566人</td> <td>2,449人</td> <td>2,454人</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>509人</td> <td>602人</td> <td>597人</td> <td>444人</td> <td>295人</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>547人</td> <td>518人</td> <td>580人</td> <td>597人</td> <td>462人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中学校</td> <td>生徒</td> <td>1,918人</td> <td>1,460人</td> <td>1,376人</td> <td>1,594人</td> <td>1,428人</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>529人</td> <td>369人</td> <td>398人</td> <td>702人</td> <td>708人</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>369人</td> <td>223人</td> <td>364人</td> <td>352人</td> <td>287人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">桜坂高校</td> <td>生徒</td> <td>140人</td> <td>221人</td> <td>231人</td> <td>146人</td> <td>105人</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>194人</td> <td>126人</td> <td>112人</td> <td>197人</td> <td>202人</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>6人</td> <td>2人</td> <td>7人</td> <td>5人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>						学校区分	相談	R1	R2	R3	R4	R5	小学校	件数	3,055件	3,111件	3,540件	3,409件	3,031件	人数	3,242人	3,669人	3,743人	3,490人	3,211人	中学校	件数	2,681件	1,950件	2,199件	2,515件	2,270件	人数	2,816人	2,052人	2,138人	2,648人	2,423人	桜坂高校	件数	252件	229件	224件	236件	189件	人数	340人	349人	350人	348人	307人	学校区分	相談人数内訳	R1	R2	R3	R4	R5	小学校	児童	2,186人	2,549人	2,566人	2,449人	2,454人	教職員	509人	602人	597人	444人	295人	保護者	547人	518人	580人	597人	462人	中学校	生徒	1,918人	1,460人	1,376人	1,594人	1,428人	教職員	529人	369人	398人	702人	708人	保護者	369人	223人	364人	352人	287人	桜坂高校	生徒	140人	221人	231人	146人	105人	教職員	194人	126人	112人	197人	202人	保護者	6人	2人	7人	5人	0人
学校区分	相談	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																														
小学校	件数	3,055件	3,111件	3,540件	3,409件	3,031件																																																																																																														
	人数	3,242人	3,669人	3,743人	3,490人	3,211人																																																																																																														
中学校	件数	2,681件	1,950件	2,199件	2,515件	2,270件																																																																																																														
	人数	2,816人	2,052人	2,138人	2,648人	2,423人																																																																																																														
桜坂高校	件数	252件	229件	224件	236件	189件																																																																																																														
	人数	340人	349人	350人	348人	307人																																																																																																														
学校区分	相談人数内訳	R1	R2	R3	R4	R5																																																																																																														
小学校	児童	2,186人	2,549人	2,566人	2,449人	2,454人																																																																																																														
	教職員	509人	602人	597人	444人	295人																																																																																																														
	保護者	547人	518人	580人	597人	462人																																																																																																														
中学校	生徒	1,918人	1,460人	1,376人	1,594人	1,428人																																																																																																														
	教職員	529人	369人	398人	702人	708人																																																																																																														
	保護者	369人	223人	364人	352人	287人																																																																																																														
桜坂高校	生徒	140人	221人	231人	146人	105人																																																																																																														
	教職員	194人	126人	112人	197人	202人																																																																																																														
	保護者	6人	2人	7人	5人	0人																																																																																																														
成果に係る評価	平成29年度から全小・中学校、桜坂高校にスクールカウンセラーを配置している。相談活動、情報交換やケース会議、相談しやすい環境づくり等も実施し、教職員の力量の向上や組織的かつ適切な対応のための組織づくりに生かすことができた。諸問題の未然防止と早期対応、震災後の心のケア、複合化する問題の解決の面からも、スクールカウンセラーによる相談体制の充実と連携を図っていくことが引き続き重要である。令和5年度の大きな成果は、教職員向けの研修を全校で開催できたことである。多様化する生徒の悩みを受入れ、ともに解決の糸口や対処法を考えていくスクールカウンセラー配置事業の効果は大きく、今後も継続が必要である。小・中学校カウンセラーの任用は宮城県で行い、人件費も県より支出していることから、引き続き、県に有資格者による継続配置を求めていく。																																																																																																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																																																																																																			
予算額	2,355,000	決算額	決算額の財源内訳																																																																																																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																														
		2,243,253				2,243,253																																																																																																														

予算科目	10 款	教育費	事業名	スクールソーシャルワーカー配置事業																																							
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																						
	3 目	教育指導奨励費		第 3 節	いのちを守る防災教育の推進																																						
	事業	スクールソーシャルワーカー配置事業費		(1)	心のケアや相談体制の充実を図る																																						
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P94																																							
目的及び事業内容		小・中学校及び高等学校における相談体制や関係機関との連携体制の充実を図り、不登校対応を中心に、暴力行為、児童虐待などの問題行動の早期対応や早期解決を図る。 1 問題を抱える児童生徒が置かれた環境（家庭や学校等）を考慮し、面談などの働きかけを行う。 2 児童相談所などの関係諸機関とのネットワークを構築し、連携や調整に努める。 3 小・中学校及び高等学校において、校内で支援体制やチーム体制を整備することを支援する。 4 小・中学校及び高等学校の教職員・保護者への相談や研修会等での啓発活動・情報提供に努める。																																									
取組実績		1 スクールソーシャルワーカーについて（令和5年度:8名配置） 児童生徒や家庭の状況を踏まえ、ケースごとに児童相談所や市の相談機関などの関係機関と連携し対応した。また、震災やコロナ禍の影響等が見られる児童生徒の心のケアについても、スクールカウンセラーや児童精神科医とも連携し、専門的な知見を基にした適切な対応を働きかけた。 2 8名の配置状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>拠点校</th> <th>担当校（拠点校含）</th> <th>勤務時間、日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>石巻小、石巻市教育委員会</td> <td>小学校9校、中学校4校</td> <td>1日 6時間、週2.5日</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>向陽小、河南東中</td> <td>小学校7校、中学校2校</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>桃生中</td> <td>小学校3校、中学校1校</td> <td>1日 6時間、週1日</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>万石浦中</td> <td>小学校5校、中学校3校</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>渡波中、稲井中</td> <td>小学校3校、中学校2校</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>飯野川中</td> <td>小学校3校、中学校3校</td> <td>1日 6時間、週1日</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>坂坂高、青葉中</td> <td>小学校2校、中学校2校、高校1校</td> <td>1日 6時間、週2日</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>学びサポートセンター</td> <td>小学校1校、中学校1校、センター</td> <td>1日 6時間、週1日</td> </tr> </tbody> </table> 3 連携した機関 子ども・家庭、福祉の関係機関（107件）、保健・医療の関係機関（51件）、教育支援センター等の学校外の教育機関（24件）、フリースクール等（32件）、その他の機関（64件） 合計278件							拠点校	担当校（拠点校含）	勤務時間、日数	1	石巻小、石巻市教育委員会	小学校9校、中学校4校	1日 6時間、週2.5日	2	向陽小、河南東中	小学校7校、中学校2校	1日 6時間、週2日	3	桃生中	小学校3校、中学校1校	1日 6時間、週1日	4	万石浦中	小学校5校、中学校3校	1日 6時間、週2日	5	渡波中、稲井中	小学校3校、中学校2校	1日 6時間、週2日	6	飯野川中	小学校3校、中学校3校	1日 6時間、週1日	7	坂坂高、青葉中	小学校2校、中学校2校、高校1校	1日 6時間、週2日	8	学びサポートセンター	小学校1校、中学校1校、センター	1日 6時間、週1日
	拠点校	担当校（拠点校含）	勤務時間、日数																																								
1	石巻小、石巻市教育委員会	小学校9校、中学校4校	1日 6時間、週2.5日																																								
2	向陽小、河南東中	小学校7校、中学校2校	1日 6時間、週2日																																								
3	桃生中	小学校3校、中学校1校	1日 6時間、週1日																																								
4	万石浦中	小学校5校、中学校3校	1日 6時間、週2日																																								
5	渡波中、稲井中	小学校3校、中学校2校	1日 6時間、週2日																																								
6	飯野川中	小学校3校、中学校3校	1日 6時間、週1日																																								
7	坂坂高、青葉中	小学校2校、中学校2校、高校1校	1日 6時間、週2日																																								
8	学びサポートセンター	小学校1校、中学校1校、センター	1日 6時間、週1日																																								
成果		1 スクールソーシャルワーカーの業務内容が学校及び関係機関に理解され、連携がスムーズになった。 2 学校、学びサポートセンター、保健福祉部関係課、国府台病院児童精神科で勤務経験のある開業医、関係団体等と連携を図ることにより、問題を抱える児童生徒等に対し、家庭訪問や巡回相談、支援関係者会議等で速やかにケース対応することができた。 3 ワーカーを1名増員し、全ての学校に継続的、定期的に巡回するとともに、学びサポートセンターにも配置することで、教職員・家庭への認知度や信頼関係が高まり、ケースの掘り起こしを含め、丁寧に対応することができた。 ○相談後の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>問題が解決</th> <th>支援中で好転</th> <th>支援中</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5年度相談件数（計530件）</td> <td>54件</td> <td>224件</td> <td>188件</td> <td>64件</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>10%</td> <td>42%</td> <td>36%</td> <td>12%</td> </tr> </tbody> </table> ○令和5年度活動の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">訪問回数</th> <th colspan="2">ケース会議</th> </tr> <tr> <th>学校</th> <th>家庭</th> <th>関係機関等</th> <th>教職員等</th> <th>関係機関等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>998回</td> <td>433回</td> <td>101回</td> <td>45回（47件）</td> <td>42回（36件）</td> </tr> </tbody> </table>							問題が解決	支援中で好転	支援中	その他	R5年度相談件数（計530件）	54件	224件	188件	64件	割合	10%	42%	36%	12%	訪問回数			ケース会議		学校	家庭	関係機関等	教職員等	関係機関等	998回	433回	101回	45回（47件）	42回（36件）						
	問題が解決	支援中で好転	支援中	その他																																							
R5年度相談件数（計530件）	54件	224件	188件	64件																																							
割合	10%	42%	36%	12%																																							
訪問回数			ケース会議																																								
学校	家庭	関係機関等	教職員等	関係機関等																																							
998回	433回	101回	45回（47件）	42回（36件）																																							
成果に係る評価		令和5年度においても相談件数のうち最も多いのは家庭環境（児童虐待を含む）であり、次に多いのが不登校と、令和4年度と同様の傾向であった。複合的な問題を抱えるケースも多く、関係機関と連携した件数は278件で、関係機関との連携強化が児童生徒及び家庭への適切な支援につながっている。問題が解決・好転した件数の割合は、令和4年度より高くなった。 また、スクールソーシャルワーカーが、県のスクールソーシャルワーカースーパーバイザーより助言を受けることにより、問題に応じて環境への働きかけを柔軟に行うことができた点も成果である。 不登校対応をはじめとして、暴力行為、児童虐待などの問題の未然防止や、ヤングケアラー等の今日的な問題の早期解決のためにも、今後も事業を継続する必要がある。																																									
予算の執行状況		（単位：円） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国（県）支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18,040,000</td> <td>16,299,650</td> <td>12,875,599</td> <td></td> <td></td> <td>3,424,051</td> </tr> </tbody> </table>						予算額	決算額	決算額の財源内訳				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	18,040,000	16,299,650	12,875,599			3,424,051																				
予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
		国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																						
18,040,000	16,299,650	12,875,599			3,424,051																																						

予算科目	10 款	教育費	事業名	防災教育充実事業																					
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																				
	3 目	教育指導奨励費		第 3 節	いのちを守る防災教育の推進																				
	事業	学校安全推進費、防災教育充実事業費、学校安全総合支援事業費		(2)	防災教育の充実を図る																				
担当部課	教育委員会学校安全推進課	実施計画掲載ページ		P95																					
目的及び事業内容		地域ぐるみの防災教育を通して、非常時においても地域との絆が生かされる基盤を形成し、子どもにとって安心・安全な学校環境づくりを進めるとともに、教材等の作成を通して、児童生徒が災害と向き合い、たくましく生きる災害対応力の育成を促進する。 1 地域ぐるみの防災教育の推進 2 児童生徒の災害対応力を育成するための教材等の作成																							
取組実績		1 学校防災推進会議 大学教授等有識者、学校関係者、市担当部局、関係機関担当で構成する学校防災推進会議において、本市の学校防災の今後を守り抜くための協議を行った。また、学校防災について、より専門的に調査・研究するため、3つのワーキンググループを設置し、学校防災の推進に向けた活動を行った。 【取組内容】 WG1「防災研修」：安全担当主幹や防災主任を対象とした研修会の実施、学校防災フォーラムの開催、クロスロード石巻版児童生徒編の活用、復興・防災マップの広域化 WG2「防災管理」：学校安全マニュアルの点検及び改善指導、大川小学校事故検証報告書の提言に関する取組状況調査の実施、地域防災連絡会の活動促進と充実 WG3「防災教育」：防災合言葉の募集、防災教育副読本の活用を促進及び活用状況の確認 2 緊急地震速報受信機を活用した避難訓練 児童生徒が災害から命を守り抜くための「主体的に行動する態度」を育成するため、緊急地震速報受信機を導入し、緊急地震速報を活用した実践的な避難訓練を実施した。 3 防災教育副読本を活用した授業実践 本市の実態に即した防災教育推進のため、市内全ての小・中学校で防災教育副読本を活用した防災教育を展開した。（副読本の内容は令和2年度に全面改訂し、その後毎年一部改訂を実施） 〈防災教育副読本発行部数〉 小学校：1年生1,000冊、4年生1,150冊 中学校：1年生1,150冊																							
成果		<table border="1"> <thead> <tr> <th>〈区 分〉</th> <th>〈実績等〉</th> <th>〈成 果〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 学校防災推進会議 WG1「防災研修」</td> <td>学校防災フォーラム開催 （参加者：171名） 防災主任研修会開催 （4回）</td> <td>県内から多数参加者を迎え、当市の学校防災の取り組みを広く発信することができた。 東北大学教授等の有識者を講師に招き、災害リスクや危機管理等についての理解を深めた。</td> </tr> <tr> <td>WG2「防災管理」</td> <td>学校安全マニュアルの点検及び改善の指導</td> <td>各校の学校安全マニュアルを点検・指導し、より実践的な内容でマニュアル整備ができた。</td> </tr> <tr> <td>WG3「防災教育」</td> <td>防災合言葉コンクールの開催</td> <td>優秀作品を市報に掲載することで、児童生徒だけでなく、市全体の防災意識の高揚が図られた。</td> </tr> <tr> <td>2 緊急地震速報受信機を活用した避難訓練</td> <td>緊急地震速報受信機設置校全てで実施（43校）</td> <td>受信機を活用することで、臨場感のあるより実践的な避難訓練が行われ、迅速な避難行動につながっている。</td> </tr> <tr> <td>3 防災教育副読本を活用した授業の実践</td> <td>全小・中学校で活用（小学校：32校、中学校：17校）</td> <td>発達段階に応じた指導により、児童生徒に必要な知識や能力を身に付けさせることができた。</td> </tr> </tbody> </table>						〈区 分〉	〈実績等〉	〈成 果〉	1 学校防災推進会議 WG1「防災研修」	学校防災フォーラム開催 （参加者：171名） 防災主任研修会開催 （4回）	県内から多数参加者を迎え、当市の学校防災の取り組みを広く発信することができた。 東北大学教授等の有識者を講師に招き、災害リスクや危機管理等についての理解を深めた。	WG2「防災管理」	学校安全マニュアルの点検及び改善の指導	各校の学校安全マニュアルを点検・指導し、より実践的な内容でマニュアル整備ができた。	WG3「防災教育」	防災合言葉コンクールの開催	優秀作品を市報に掲載することで、児童生徒だけでなく、市全体の防災意識の高揚が図られた。	2 緊急地震速報受信機を活用した避難訓練	緊急地震速報受信機設置校全てで実施（43校）	受信機を活用することで、臨場感のあるより実践的な避難訓練が行われ、迅速な避難行動につながっている。	3 防災教育副読本を活用した授業の実践	全小・中学校で活用（小学校：32校、中学校：17校）	発達段階に応じた指導により、児童生徒に必要な知識や能力を身に付けさせることができた。
〈区 分〉	〈実績等〉	〈成 果〉																							
1 学校防災推進会議 WG1「防災研修」	学校防災フォーラム開催 （参加者：171名） 防災主任研修会開催 （4回）	県内から多数参加者を迎え、当市の学校防災の取り組みを広く発信することができた。 東北大学教授等の有識者を講師に招き、災害リスクや危機管理等についての理解を深めた。																							
WG2「防災管理」	学校安全マニュアルの点検及び改善の指導	各校の学校安全マニュアルを点検・指導し、より実践的な内容でマニュアル整備ができた。																							
WG3「防災教育」	防災合言葉コンクールの開催	優秀作品を市報に掲載することで、児童生徒だけでなく、市全体の防災意識の高揚が図られた。																							
2 緊急地震速報受信機を活用した避難訓練	緊急地震速報受信機設置校全てで実施（43校）	受信機を活用することで、臨場感のあるより実践的な避難訓練が行われ、迅速な避難行動につながっている。																							
3 防災教育副読本を活用した授業の実践	全小・中学校で活用（小学校：32校、中学校：17校）	発達段階に応じた指導により、児童生徒に必要な知識や能力を身に付けさせることができた。																							
成果に係る評価		震災から13年が経過し、震災を経験していない児童生徒・教職員が増える一方、街の復興がほぼ完了し、目に見える震災の爪痕がほとんどなくなった現在の状況で、児童生徒らに震災の実事や教訓を語り継ぎ、風化させない必要がある。また、防災教育副読本やクロスロード石巻版等の教材を活用した防災教育の推進、児童生徒の主体的な行動を伴った実践的な避難訓練の実施等を今後も継続し、児童生徒及び教職員の防災意識及び災害対応力の向上を図るとともに、児童生徒が「自分の命は自分で守る」ことができるように活動していくことが不可欠である。今後も、学校と地域が一体となった防災活動を推進し、地域ぐるみの防災体制の強化及び防災教育の拡充を図る必要がある。																							
予算の執行状況		（単位：円） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国（県）支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,540,000</td> <td>5,080,535</td> <td>1,496,000</td> <td></td> <td></td> <td>3,584,535</td> </tr> </tbody> </table>						予算額	決算額	決算額の財源内訳				国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	5,540,000	5,080,535	1,496,000			3,584,535		
予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
		国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																				
5,540,000	5,080,535	1,496,000			3,584,535																				

予算科目	10 款	教育費	事業名	特別支援教育支援員配置事業																																																													
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																																												
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																																												
	事業	特別支援教育事業費		(1)	学校教育の充実を図る																																																												
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 90																																																													
目的及び事業内容	通常の学級に在籍している特別な配慮を必要とする児童生徒の日常生活支援及び学習指導補助を行うため、学校に特別支援教育支援員を配置する。 1 小・中学校への特別支援教育支援員の配置 2 当該児童生徒への日常生活支援及び学習指導補助																																																																
取組実績	1 特別支援教育支援員の配置状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 訳</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">小学校</td> <td>希望校数</td> <td>30校</td> <td>29校</td> <td>29校</td> <td>30校</td> </tr> <tr> <td>支援を要する児童</td> <td>445人</td> <td>566人</td> <td>567人</td> <td>677人</td> </tr> <tr> <td>配置希望（最低人数）A</td> <td>149人</td> <td>117人</td> <td>128人</td> <td>137人</td> </tr> <tr> <td>配置人数 B</td> <td>71人</td> <td>72人</td> <td>73人</td> <td>76人</td> </tr> <tr> <td>充足率 B/A</td> <td>47.7%</td> <td>61.5%</td> <td>57.0%</td> <td>55.5%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">中学校</td> <td>希望校数</td> <td>13校</td> <td>14校</td> <td>15校</td> <td>15校</td> </tr> <tr> <td>支援を要する生徒</td> <td>104人</td> <td>93人</td> <td>116人</td> <td>169人</td> </tr> <tr> <td>配置希望（最低人数）C</td> <td>27人</td> <td>25人</td> <td>34人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>配置人数 D</td> <td>17人</td> <td>19人</td> <td>21人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>充足率 D/C</td> <td>63.0%</td> <td>76.0%</td> <td>61.8%</td> <td>66.7%</td> </tr> </tbody> </table> 【通常の学級における当該児童生徒への支援】 ・校内就学支援委員会等で特別支援教育支援員の配置が必要であると認められた児童生徒は846人であり、そのうち学校からの配置希望人数170人に対して、特別支援教育支援員98名を配置した。年々、特別な配慮を必要とする児童生徒は増加傾向にある。 ・校内就学支援委員会において、学級担任や特別支援教育コーディネーター等と特別支援教育支援員が、どのような連携・協力を要するのか事前に決め、学級担任と連携しながら、児童生徒の状況に合わせた支援を行った。 【特別支援教育支援員研修会（年2回）】 ・年度初めに「特別支援教育支援員としての心構え」について、中間期に「教育現場での発達に気になる子への関わり」についての研修を行い、指導力の向上を図った。							区 分	内 訳	R2	R3	R4	R5	小学校	希望校数	30校	29校	29校	30校	支援を要する児童	445人	566人	567人	677人	配置希望（最低人数）A	149人	117人	128人	137人	配置人数 B	71人	72人	73人	76人	充足率 B/A	47.7%	61.5%	57.0%	55.5%	中学校	希望校数	13校	14校	15校	15校	支援を要する生徒	104人	93人	116人	169人	配置希望（最低人数）C	27人	25人	34人	33人	配置人数 D	17人	19人	21人	22人	充足率 D/C	63.0%	76.0%	61.8%	66.7%
区 分	内 訳	R2	R3	R4	R5																																																												
小学校	希望校数	30校	29校	29校	30校																																																												
	支援を要する児童	445人	566人	567人	677人																																																												
	配置希望（最低人数）A	149人	117人	128人	137人																																																												
	配置人数 B	71人	72人	73人	76人																																																												
	充足率 B/A	47.7%	61.5%	57.0%	55.5%																																																												
中学校	希望校数	13校	14校	15校	15校																																																												
	支援を要する生徒	104人	93人	116人	169人																																																												
	配置希望（最低人数）C	27人	25人	34人	33人																																																												
	配置人数 D	17人	19人	21人	22人																																																												
	充足率 D/C	63.0%	76.0%	61.8%	66.7%																																																												
成 果	・小・中学校に特別支援教育支援員を配置し、特別な配慮を必要とする児童生徒が通常学級で他の児童生徒と共に学ぶ際に特別支援教育支援員からの声かけなどの支援により、特別な配慮を必要とする子と要しない子の両方の困り感が和らぎ、充実した学習や生活が送ることができるようになった。 ・困り感やその原因、指導内容と支援の進め方などについて十分理解したことにより、特別支援教育支援員との人間的な触れ合いを支えに支援の対象となる児童生徒が学校生活における問題を克服した事例があった。児童生徒を十分に理解した特別支援教育支援員が、自分の活動の切り替えができない子への声かけを行ったり、自分の思いを伝えられない子の代弁者になったりしたことで、安心して学校生活が送れるようになった。 ・特別支援教育支援員の役割は、対象となる児童生徒の支援が第一義的な役割であるが、特別な配慮を必要とする児童生徒が通常の学級の中で必要な支援を受けて学校生活を送っていくためには、周囲の児童生徒の理解が不可欠でもある。支援を受ける本人以外の児童生徒も特別支援教育支援員が何のために教室に入っているかを理解するようになった。																																																																
成果に係る評価	・支援を必要とする児童生徒の増加に伴い、特別支援教育支援員が学級や学年の枠を超えて一人で複数の児童生徒を支援しなければならないケースが増加している。医師の診断を受けた児童生徒も増え、診断に基づいた一人一人の特性に合った支援が求められている。 ・学級担任等は、特別支援教育支援員に対して、学級経営の方針や特別な支援が必要な児童生徒の授業及び生活指導などにおけるねらいを情報共有し、その理解を踏まえた対応ができるよう連携を図っていくことが大切である。																																																																
予算の執行状況	（単位：円）																																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																											
	152,961,830	149,478,026	660,000			148,818,026																																																											

予算科目	10 款	教育費	事業名	定住外国人就学支援事業																					
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																				
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																				
	事業	定住外国人就学支援事業費		(1)	学校教育の充実を図る																				
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 91																					
目的及び事業内容	石巻市に転入し、就学を希望する外国籍の児童生徒を市立小中学校において円滑に受け入れるため、外国語を話すことができる定住外国人就学支援員を必要とする学校に配置し、当該児童生徒の通訳及び言語習得や学校生活等のサポートを行う。																								
取組実績	1 定住外国人就学支援員の配置 支援を要する外国籍の児童生徒に対し、意志疎通が図れる定住外国人就学支援員を配置し、学校での通訳や簡単な日本語指導により、当該児童生徒の学習及び日常生活の支援を行った。 2 定住外国人就学支援員研修会の実施（年2回） 研修会では、定住外国人の児童生徒の実態や支援の在り方について研修を行った。また、定住外国人就学支援員の方々の悩みや不安を解消できるように、情報交換会を設定した。																								
成 果	令和5年度は、支援を必要とする児童生徒8人（小学校7校、中学校1校）全員に定住外国人就学支援員を配置し、学校生活におけるコミュニケーションの手伝いや簡単な日本語指導を行い、当該児童生徒及びその家族の不安を取り除くことができた。また、定住外国人就学支援員研修会を年2回行い、それぞれの取組の成功事例や悩み等を定住外国人就学支援員同士で共有することができた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）</td> <td>9人（5校）</td> <td>8人（6校）</td> <td>8人（7校）</td> <td>5人（4校）</td> <td>8人（8校）</td> </tr> <tr> <td>配置した支援員数</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>8人</td> <td>5人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table> 支援を要する児童生徒の母国語は、タガログ語（1人）、英語（5人）、中国語（2人）であった。							主な指標項目	R1	R2	R3	R4	R5	支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）	9人（5校）	8人（6校）	8人（7校）	5人（4校）	8人（8校）	配置した支援員数	5人	4人	8人	5人	8人
主な指標項目	R1	R2	R3	R4	R5																				
支援を必要とする外国籍の児童生徒数（校数）	9人（5校）	8人（6校）	8人（7校）	5人（4校）	8人（8校）																				
配置した支援員数	5人	4人	8人	5人	8人																				
成果に係る評価	令和5年度は配置を希望するすべての学校に定住外国人就学支援員を配置し、日本語を話すことができない児童生徒の学校生活を支援することができた。 定住外国人は年々増加傾向にあり、今後も就学支援員を必要とする児童生徒が増えることが予想されるが、国籍も様々であり、支援が必要な児童生徒のニーズに十分な対応ができないケースが想定されるため、地域の国際サークルや宮城県国際化協会等の関係機関と連携を密にしながら広く人材を発掘していく必要がある。																								
予算の執行状況	（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																			
	5,655,000	4,616,478				4,616,478																			

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校図書館担当職員配置事業																											
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																										
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																										
	事業	学校図書館担当配置事業費		(1)	学校教育の充実を図る																										
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P91																											
目的及び事業内容	各校の図書館担当教諭と協働し、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童生徒及び教員による学校図書館利用に係る一層の促進に資する。 1 学校図書館担当職員（学校司書）の配置 2 学校図書館担当職員（学校司書）研修等の実施																														
取組実績	平成28年度から学校司書の配置を開始し、令和5年度は市内全小中学校（49校）に17人を配置した。 1 学校図書館担当職員（学校司書）の配置状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>学 校 数</td> <td>36</td> <td>41</td> <td>44</td> <td>48</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>内 訳</td> <td>小27・中9</td> <td>小30・中11</td> <td>小31・中13</td> <td>小33・中15</td> <td>小32・中17</td> </tr> </tbody> </table> ※学校図書館担当職員1名あたり2校～3校を兼務。 2 学校図書館担当職員（学校司書）研修等の実施 市図書館司書を講師とした全体研修会等を開催し、技能向上に努めた。 内容：初任者研修（実務研修含む）1回 全体研修（実技、情報共有等）5回							年 度	R1	R2	R3	R4	R5	人 数	12	14	15	16	17	学 校 数	36	41	44	48	49	内 訳	小27・中9	小30・中11	小31・中13	小33・中15	小32・中17
年 度	R1	R2	R3	R4	R5																										
人 数	12	14	15	16	17																										
学 校 数	36	41	44	48	49																										
内 訳	小27・中9	小30・中11	小31・中13	小33・中15	小32・中17																										
成 果	1 学校図書館担当職員（学校司書）1名を増員し、全小中学校に配置した。 2 初任学校司書を対象とした研修を実施し、基礎的知識の習得を図った。また、全体研修会を開催し、他の学校司書の事例を検討していくことにより、資質及び技能の向上を図った。 3 学校司書の配置により図書館機能が向上し、前年度より図書の貸出数を増やすことができた。 ○図書貸出実績 R1年度 106,123 冊 R2年度 133,048 冊 R3年度 156,910 冊 R4年度 168,191 冊 R5年度 201,530 冊																														
成果に係る評価	R5年度より全小中学校に学校司書の配置が完了した。図書分類による整理や新刊・推奨本コーナーの設置、授業で使用する図書の相談・準備など、司書業務により学校図書館の利用環境や機能が向上し、児童生徒の貸出冊数の増加や図書館担当教諭の業務軽減を図ることができた。 今後も、学校図書館に求められる3つの役割「①読書活動の拠点となること（読書センター）」「②授業に役立つ資料を備え、学習支援を行うこと（学習センター）」「③情報活用能力を育むこと（情報センター）」が果たせるよう、引き続き学校司書の能力の向上を図るため、研修会等の実施に努める。																														
予算の執行状況	（単位：円）																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																									
	33,233,000	31,664,540				31,664,540																									

予算科目	10 款	教育費	事業名	サイエンスラボ事業																					
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																				
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																				
	事業	サイエンスラボ事業費		(1)	学校教育の充実を図る																				
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P91																					
目的及び事業内容	児童生徒が科学への興味・関心をもち、問題解決の力や自然を愛する心情を育てるとともに、教員の理科指導力の向上を通して、石巻市の理科教育の充実を図る。 1 科学巡回教室、科学イベントの実施 2 教材・教具の開発及び教員への提供 3 学校・教員に対する相談活動・研修会の実施 4 「親と子の科学教室」の実施 5 企業や研究機関との連携																								
取組実績	1 科学巡回教室、科学イベントの実施 令和5年度は、科学巡回教室、科学イベントを、26小学校、3中学校、6幼稚園・こども園、その他1施設等において延べ74回実施し、実施校及び回数が増加している。 2 教材・教具の開発及び教員への提供 原子・分子の模型の作製を行い、各学校での授業に活用した。 3 学校・教員に対する相談活動・研修会の実施 「科学巡回教室」で学校を訪問した際に、担当教師と情報交換を行った。 4 夏季休業に、小中学校教職員を対象にした研修会を実施した。 5 企業や研究機関との連携 日本電子株式会社の子会社電子顕微鏡を活用した出前授業を実施した。																								
成 果	1 市内小学校に加え、中学校、幼稚園、こども園、学びサポートセンターなどで、幅広く科学巡回教室や科学イベントを開催した。分かりやすく楽しいプログラムを作成し、事後アンケートでは「楽しかった」「分かった」と肯定的な意見が多かった。アンケート結果は、下表のとおりである。 2 原子・分子の模型は、子どもたちにその世界をイメージさせるのに有効であった。 3 サイエンススーパーバイザーが、地域の要請に応じて科学イベントを行い、科学への興味・関心を高めることができた。 4 日本電子株式会社が、小学校5校に、ポータブル電子顕微鏡を用いた出前授業を行い、普段見ることができないミクロの世界に触れ、科学への興味・関心を高めることができた。 アンケートにおける「楽しかった」「分かった」の項目と、肯定的な回答をした児童生徒の割合は次のとおり。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>楽しかった</td> <td>96.9%</td> <td>97.6%</td> <td>98.2%</td> <td>97.9%</td> <td>97.1%</td> </tr> <tr> <td>分かった</td> <td>96.8%</td> <td>97.4%</td> <td>96.9%</td> <td>95.7%</td> <td>95.3%</td> </tr> </tbody> </table>								R1	R2	R3	R4	R5	楽しかった	96.9%	97.6%	98.2%	97.9%	97.1%	分かった	96.8%	97.4%	96.9%	95.7%	95.3%
	R1	R2	R3	R4	R5																				
楽しかった	96.9%	97.6%	98.2%	97.9%	97.1%																				
分かった	96.8%	97.4%	96.9%	95.7%	95.3%																				
成果に係る評価	○科学巡回教室や科学イベントの実施が、小学校に加え、中学校や幼稚園、こども園、学びサポートセンターなど幅広い世代で活用されている。平成28年度より開始された本事業は、来年度10年目を迎えることから、実施内容をリニューアルするなどして、児童生徒の理科教育への興味・関心を高め、教員の指導力向上を図る事業を展開していく。 ○2人のサイエンススーパーバイザーが見通しを持って業務に従事している。教材教具の開発や、教員への相談活動と研修会についても、充実が図られてきている。 ○関係機関との連携により、事業に広がりや深まりを持たせることができた。 今後も企業等と連携し、子どもたちに科学や自然の魅力を伝えるとともに、理科教育の充実へ資する取組を展開していく。																								
予算の執行状況	（単位：円）																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																			
	5,778,321	5,680,053			4,000,000	1,680,053																			

予算科目	10 款	教育費	事業名	コミュニティ・スクール推進事業																									
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																								
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																								
	事業	コミュニティ・スクール推進事業費		(1)	学校教育の充実を図る																								
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P91																									
目的及び事業内容		石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会を設置し、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進体制の構築、学校間、地域間の連携を構築する。全ての小中学校にコミュニティ・スクールを導入し、地域とともにある学校づくりを推進する。																											
取組実績		1 石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会 教育委員会におけるコミュニティ・スクールの導入及び運営に関することや各コミュニティ・スクール間の活動の共有、連絡、調整等において意見や助言を求めるために、学識経験者、小・中学校長会代表、父母教師会代表、地域防災関係者、家庭教育関係者、学校支援地域コーディネーター、学校運営協議会会長による石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会を組織し、年4回会議を実施している。 2 各校の学校運営協議会 学校運営協議会は、学校や子ども、家庭・地域社会の課題を地域ぐるみで解決し、子どもたちの健全な成長及び質の高い学校教育の実現を目指している。地教法第47条に規定されている3つの機能（①学校運営基本方針の承認②学校運営に対する意見を述べること③教職員の任用について意見を述べること）を協議して学校運営協議会ごとのアクションプラン作成に取り組んでいる。 3 リーフレットを作成し、児童・生徒、保護者、地域への周知 リーフレットをコミュニティ・スクール導入校に配布し、保護者等へのコミュニティ・スクールへの理解を深めている。 4 コミュニティ・スクール推進フォーラムの実施 地域とともにある学校づくり推進フォーラムを実施し、石巻市内の学校関係者から多くの方の参加を得て、コミュニティ・スクールについての理解を深めた。																											
成果		【導入実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">CS導入校数</th> <th rowspan="2">組織率</th> <th rowspan="2">新規導入校</th> </tr> <tr> <th>新規</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>9校</td> <td>11校</td> <td>21.56%</td> <td>釜小、稲井小、前谷地小、鹿又小、雄勝小、湊中、河南東中、河南西中、雄勝中</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>8校</td> <td>19校</td> <td>37.25%</td> <td>湊小、蛇田小、向陽小、広瀬小、須江小、住吉中、蛇田中、山下中</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>13校</td> <td>32校</td> <td>64.0%</td> <td>石巻小、山下小、渡波小、大街道小、中里小、鹿妻小、和瀬小、北上小、石巻中、渡波中、稲井中、北上中、牡鹿中</td> </tr> </tbody> </table> ※令和6年度まで、すべての学校にコミュニティ・スクール（CS）を導入予定である。 令和5年度は新たに市内の13校が学校運営協議会を設置し、地域とともにある学校づくりを推進した。また、石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会を4回実施し、石巻市のコミュニティ・スクールの導入や運営について検討するとともに、各コミュニティ・スクールの活動状況について情報交換を行った。11月には石巻市コミュニティ・スクール推進フォーラムを開催した。また、次年度コミュニティ・スクール導入校18校に対する説明会も行った。						年度	CS導入校数		組織率	新規導入校	新規	累計	R3	9校	11校	21.56%	釜小、稲井小、前谷地小、鹿又小、雄勝小、湊中、河南東中、河南西中、雄勝中	R4	8校	19校	37.25%	湊小、蛇田小、向陽小、広瀬小、須江小、住吉中、蛇田中、山下中	R5	13校	32校	64.0%	石巻小、山下小、渡波小、大街道小、中里小、鹿妻小、和瀬小、北上小、石巻中、渡波中、稲井中、北上中、牡鹿中
年度	CS導入校数		組織率	新規導入校																									
	新規	累計																											
R3	9校	11校	21.56%	釜小、稲井小、前谷地小、鹿又小、雄勝小、湊中、河南東中、河南西中、雄勝中																									
R4	8校	19校	37.25%	湊小、蛇田小、向陽小、広瀬小、須江小、住吉中、蛇田中、山下中																									
R5	13校	32校	64.0%	石巻小、山下小、渡波小、大街道小、中里小、鹿妻小、和瀬小、北上小、石巻中、渡波中、稲井中、北上中、牡鹿中																									
成果に係る評価		導入校においては、教職員や学校運営協議会委員の間で、コミュニティ・スクールに対する理解が深まり、地域ぐるみで学校や子どもたちの課題を解決していこうとする意識の高まりが見られた。また、各校の学校運営協議会においては、学校や子どもたちの抱える課題を共有し、それらを解決するための具体的なアクションプランを作成し、学校、家庭、地域がそれぞれ果たすべき役割を明確化することができた。 今後は市内全ての学校における学校運営協議会設置に向けて、「石巻市立小・中学校学区再編計画」を考慮しながらの推進が必要である。また、学校運営協議会の設置と一体的に進める必要のある地域学校協働活動（地域学校協働本部の設置）を生涯学習課と連携を取りながら推進する必要がある。																											
予算の執行状況		（単位：円） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国(県)支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6,225,685</td> <td>5,869,808</td> <td>338,000</td> <td></td> <td></td> <td>5,531,808</td> </tr> </tbody> </table>						予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	6,225,685	5,869,808	338,000			5,531,808						
予算額	決算額	決算額の財源内訳																											
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																								
6,225,685	5,869,808	338,000			5,531,808																								

予算科目	10 款	教育費	事業名	学力向上推進事業																			
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																		
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																		
	事業	学力向上推進事業費		(1)	学校教育の充実を図る																		
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P91																			
目的及び事業内容		学力向上のための授業方法に係るPDCAサイクルを確立し、本市の小・中学校における学力の全体的な底上げを図るもの。 1 学力向上推進委員会の開催 2 標準学力調査の結果分析を通じた授業改善 3 基礎・基本の定着を図るタブレットドリルの活用 4 株式会社山大教職員等研修基金を活用した教員の指導力向上研修の実施																					
取組実績		1 「学力向上推進委員会」による課題等の検討 (1) 実施回数 年3回 (2) 構 成 員 有識者、学校長、市PTA代表他 (3) 内 容 ・保護者リーフレットの原案や市の取組について意見聴取を行った。 2 「標準学力調査」の実施と分析 (1) 実 施 日 第1回令和5年4月下旬、第2回令和5年12月上旬 (2) 対 象 者 第1回小学校第2学年～中学校第3学年、第2回小・中学校全学年 (3) 内 容 ・小学校は、国語、算数、中学校は、国語、数学の調査を行った。 ・各校調査結果を基にした分析を行い、課題を洗い出した。 ・第1回目の調査結果における課題を基に、各校においてPDCAシートを作成し、授業改善の手立てを考え、授業改善を行った。 3 「タブレットドリル」の活用 (1) 対 象 者 小・中学校全学年に導入 (2) 導入教科 国語、算数・数学、英語 (3) 活用状況 授業や宿題でのタブレットドリル活用 4 株式会社山大教職員等研修基金を活用した教員の指導力向上研修の実施 (1) 先進地視察研修 参加者：11校 13人（うち2人は教育委員会指導主事） 視察先：北海道、秋田県、福島県、神奈川県、静岡県、千葉県、埼玉県、富山県、長野県 (2) 管理職等を対象とした研修 ア 組織的授業改善のための研修 講師：大学教授 参加者数：230人 イ 指導力（表現力）向上研修 講師：わらび座 参加者：50人																					
成果		1 学力向上推進委員会における意見聴取や提言により、市全体の学力の課題等についてきめ細かな洗い出しを行うことができた。その結果を市内全小中学校で共有し、各校での分析と共に授業改善を行った結果、全国学力・学習状況調査における算数・数学の平均正答率が県平均以上の学校の割合が目標値を上回った。 【全国学力・学習状況調査における算数・数学の平均正答率が県平均（仙台市を除く）以上の学校の割合】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>33.0%</td> <td>35.0%</td> <td>106.1%</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>45.0%</td> <td>46.9%</td> <td>104.2%</td> </tr> </tbody> </table> 2 タブレットドリルは、国語科、算数・数学科、外国語・英語科ともに授業で学んだことの習熟のために、授業や家庭での学習等で活用が図られた。 3 株式会社山大教職員等研修基金を活用した教職員の研修事業により、組織的授業改善の活性化や、次世代リーダーを担う若手教員等の指導力の向上が図られた。						年度	目標値	実績	達成率	R4	33.0%	35.0%	106.1%	R5	45.0%	46.9%	104.2%				
年度	目標値	実績	達成率																				
R4	33.0%	35.0%	106.1%																				
R5	45.0%	46.9%	104.2%																				
成果に係る評価		・学力向上プランにより、授業改善の方向を示し、さらに、標準学力調査結果を受け、各校指導方法を改善することで、学力向上のためのPDCAサイクルの構築を推し進めることができた。今後は、各校の実態に応じた授業の改善を一層進めていく必要がある。 ・タブレットドリルに関しては、学校、学級による活用差が見られたので、更なる活用を促していく必要がある。 ・研修の実施により、授業内外で指導の改善が見られた。さらに、児童生徒の学力の底上げを行うためには、研修等の積極的実施を図り、指導力の向上を図っていく必要がある。																					
予算の執行状況		（単位：円） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">予算額</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th colspan="4">決算額の財源内訳</th> </tr> <tr> <th>国(県)支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23,965,000</td> <td>21,978,238</td> <td>8,199,994</td> <td></td> <td>10,976,377</td> <td>2,801,867</td> </tr> </tbody> </table>						予算額	決算額	決算額の財源内訳				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	23,965,000	21,978,238	8,199,994		10,976,377	2,801,867
予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
23,965,000	21,978,238	8,199,994		10,976,377	2,801,867																		

予算科目	10 款	教育費	事業名	心のケア充実事業（震災心のサポート事業）〔復興基金〕			
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち		
	3 目	教育指導奨励費		第 3 節	いのちを守る防災教育の推進		
	事業	震災心のサポート事業費（東日本大震災関係分）		(1)	心のケアや相談体制の充実を図る		
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P94			
目的及び事業内容		1 震災心の支援室業務 震災により、死亡又は行方不明となった児童生徒の御遺族に対して、相談員、臨床心理士による個別相談等の支援活動を実施する。 2 児童精神科医による子ども支援関係者会議、個別相談等 震災により、心に深い傷を受けた園児、児童生徒等に対し、医療専門家等を交えた子ども支援関係者会議や個別相談等を行い、よりきめ細やかな心のケアを実施する。					
取組実績		1 震災心の支援室業務 (1) 相談員・臨床心理士による個別訪問や電話、来室による相談を継続して行った。 (2) 支援室だよりの発行 (3) 支援室会議を月1回、サポート会議を5回（5月、7月、9月、11月、1月）開催 2 児童精神科医による子ども支援関係者会議、個別相談、心のケア研修会 (1) 園児、児童生徒等の心のケアに携わる者が一体となった心の支援体制の確立 関係機関が集まり、児童精神科の医師がスーパーバイザーとなって問題を抱える子どもたちの支援を検討するケース会議を1回行った。また、児童生徒本人や保護者、学校関係者を対象とした個別相談を17回行った。 (2) 心のケアに関する専門的な研修 児童精神の専門医を講師に、教職員等を対象に研修会を2回開催した。					
成 果		1 震災心の支援室業務 (1) 個別訪問、電話、来室により御遺族から継続的に話を聞くことができた。 (2) 3月を除く奇数月にサポート会議を開催し精神科医等から助言を得ることで、御遺族の心情に添った適切なサポートを行うことができた。 2 児童精神科医による子ども支援関係者会議及び個別相談 (1) 子ども支援関係者会議及び個別相談 7月13日、11月9日、1月25日の計3日間開催し、対面式で児童生徒、保護者、職員などの個別相談を行ったり、関係者が参集した子ども支援関係者会議を実施し、事案の解決に向けて具体的な心のケアについて考えた。 (メンバー) 国府台病院児童精神科にて勤務経験のある開業医、総合相談センター、スクールソーシャルワーカー、社会福祉関係機関、学校教育課、当該学校職員、児童生徒本人、その保護者等 (2) 心のケア研修会 6月8日、9月7日、講師に国府台病院児童精神科勤務経験のある牛島洋景氏をお迎えし、6月はオンラインで58名を対象にコロナ禍の影響について、9月は対面式で教職員等59名が参加し、愛着障害についての研修を行った。					
成果に係る評価		1 震災心の支援室業務 御遺族の生活状況においては、高齢化や独居等の懸念があるため、今後も、精神科医からの助言を得ながら、他の機関と連携し、状況に応じたきめ細やかなサポートを継続していく必要がある。 2 児童精神科医による子ども関係者会議及び個別相談 児童精神科医による子ども関係者会議、個別相談では、県内では専門医のいない疾病等や、配慮を要する児童生徒の対応方法について意見や助言を得ることができることから、保護者や教員等の支援者にとって有用かつ効果的であるため、今後も事業を継続していく必要がある。					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,553,000		1,284,006			1,206,259	77,747

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校わくわくプラン事業																											
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																										
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																										
	事業	学校わくわくプラン事業費		(1)	学校教育の充実を図る																										
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P91																											
目的及び事業内容		児童生徒の主体的に生きる力を育成するために、子供たちの学習や活動意欲を高める取組、学校と家庭・地域が連携した活動、教員の指導力向上の視点から、推進地区ごとに小・中学校が連携しながらわくわくする学校づくりを実施する。																													
取組実績		1 学校わくわくプラン推進会議の開催 8名（各2名の校長・教頭・教諭・保護者代表）により構成し、4回行った。 2 学校わくわくプラン推進地区（8地区）ごとの取組 地区ごとに計画して、講演会や研修会等を実施した。 3 学校わくわくプラン事業報告書・実践事例集の作成・発行 年度末に発行し、推進地区ごとの取組と教科等指導員による協同学習の実践例を共有した。 4 学習指導の改善を図る研修会の実施 「指導力向上研修」として、広島大学大学院栗原慎二教授による※MLA理論（マルチレベルアプローチ）を基にした研修会を2回、栗原慎二教授による学校訪問コンサルテーションを2回行った。 5 わくわくフェスティバルの開催 いしのまき観光大使 武藤真也 様を講師に招き、マルホンまきあーとテラス大ホールにて、小学3年生から6年生を対象にした「みんなでHIPHOPダンスにチャレンジ！」を開催した。 6 タブドリ祭りの実施 タブレットドリルの利用促進を図るため、11月に実施した。 ※MLA理論（マルチレベルアプローチ） SEL：コミュニケーション力を育む ・対人・意志決定スキルの向上等 ピア・サポート：思いやりの心を育む ・小中連携や縦割り活動の取組・ボランティア活動の実践等 PBIS：夢や志を育む ・小中学校9年間の見通しを持った活動・各校、各中学校区での異年齢交流活動等 協同学習：主体的に学ぶ力を育む ・協同学習の実践子どもたちの学習意欲の向上																													
成 果		石巻市教育施策アンケートにおける「学校は楽しいですか」の項目に、肯定的な回答（楽しい、まあまあ楽しい）をした児童生徒の割合は次のとおり。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>85.2%</td> <td>84.0%</td> <td>92.9%</td> <td>92.4%</td> <td>92.5%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>78.2%</td> <td>79.5%</td> <td>89.4%</td> <td>90.0%</td> <td>91.7%</td> </tr> <tr> <td>合 算</td> <td>82.9%</td> <td>82.5%</td> <td>91.7%</td> <td>91.2%</td> <td>92.2%</td> </tr> </tbody> </table>							R1	R2	R3	R4	R5	小学校	85.2%	84.0%	92.9%	92.4%	92.5%	中学校	78.2%	79.5%	89.4%	90.0%	91.7%	合 算	82.9%	82.5%	91.7%	91.2%	92.2%
	R1	R2	R3	R4	R5																										
小学校	85.2%	84.0%	92.9%	92.4%	92.5%																										
中学校	78.2%	79.5%	89.4%	90.0%	91.7%																										
合 算	82.9%	82.5%	91.7%	91.2%	92.2%																										
成果に係る評価		「非認知能力※」を高め、子どもたちを「主体的な学習者」に育てていくため、多くの児童生徒が「学ぶ土台」として意欲や自信を高められるような事業内容の工夫・改善が必要である。 ※意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、自制心、創造性、コミュニケーション能力といった、測定できない個人の特性による能力。 本事業で取り組んでいるMLA理論（マルチレベルアプローチ）を基にした取組は、平成26年度から、広島大学大学院栗原慎二教授を講師に招き市内全小中学校で実施しており、教員の指導力と「学校は楽しい」と答える児童生徒の割合の向上に寄与している。 わくわくフェスティバルの参加は、市内小学校8校からの参加にとどまったため、フェスティバルの周知方法や、各校への参加の働き掛けなどを工夫する必要がある。																													
（単位：円）																															
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
	1,982,540		1,243,806			1,000,000	243,806																								

予算科目	10 款	教育費	事業名		石巻市学びサポートセンター事業																							
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																							
	3 目	教育指導奨励費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																							
	事業	学びサポートセンター事業費		(1)	学校教育の充実を図る																							
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 92																								
目的及び事業内容	学校生活への不安や心配がある児童生徒、不登校状態にある児童生徒に対する相談・支援の充実を図り、不登校児童生徒の未然防止や早期解決に資するとともに、通所やアウトリーチ、関係機関との連携など児童生徒に応じた支援を行うことで学習機会の確保と社会的自立を目指す。 1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 2 児童生徒の実態に応じた学習指導 3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実																											
取組実績	1 通所児童生徒との教育相談及び学校、保護者との連携 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">保護者相談 件数</td> <td>来所</td> <td>26件</td> <td>51件</td> <td>186件</td> </tr> <tr> <td>学校訪問</td> <td>7件</td> <td>3件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>家庭訪問</td> <td>27件</td> <td>44件</td> <td>51件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>60件</td> <td>98件</td> <td>240件</td> </tr> </tbody> </table> ※R3、R4は適応指導教室の実績 2 児童生徒の実態に応じた学習指導 (1) 通所児童生徒の実態や学年を踏まえて時間割を作り、個に応じた指導・支援を行った。 (2) 在籍校との連携を深め、連絡を密に行った。懇談会の開催や学びサポートセンターでの学力調査、定期考査の実施、学校で使用しているプリントでの学習などにより、学校と児童生徒との結び付きを強化しながら指導・支援を行った。 3 望ましい人間関係、仲間づくりを目的とした体験活動の充実 絵手紙教室、英会話教室、書道教室、調理実習、スポーツ教室、さつまいもの収穫、調理実習等の体験活動を通して仲間とともに活動する楽しさや一体感の醸成が図られた。						年度		R3	R4	R5	保護者相談 件数	来所	26件	51件	186件	学校訪問	7件	3件	3件	家庭訪問	27件	44件	51件	合計	60件	98件	240件
年度		R3	R4	R5																								
保護者相談 件数	来所	26件	51件	186件																								
	学校訪問	7件	3件	3件																								
	家庭訪問	27件	44件	51件																								
	合計	60件	98件	240件																								
成 果	令和5年度から石巻市学びサポートセンター【コイル】を開設し、これまでの通所型の適応指導教室、アウトリーチによる心のサポートの機能に、学校生活に不安や悩みを抱える児童生徒、保護者の相談・支援を行う機能を加えて総合的に児童生徒の学びのサポートを行うとともに、情報を一元化して、学校、関係機関との連携を迅速に進め、よりスムーズに対応ができるようになった。 石巻市学びサポートセンター【コイル】では、通所する児童生徒の学習や生活状況に関する相談に応じ、また、通所児童生徒の個々の進度に応じた学習支援を行うことにより、学力の向上を図り、学習することの楽しさを学ばせることができた。不登校児童生徒が通所し、様々な体験活動を通して、仲間とともに活動することによって、連帯感や協調性のすばらしさを感じ、また、他者とのコミュニケーション能力や社会性を高めることができた。なお、学校を交えた年3回の定期的な懇談会の開催や、保護者及び在籍校と密に連携を図ることにより、児童生徒の些細な変化に迅速に対応することができた。																											
成果に係る評価	通所型の適応指導教室とアウトリーチ型の子どものサポートハウスを統合し、「石巻市学びサポートセンター」を設置したことにより、それぞれの特徴を生かした不登校等児童生徒への支援を展開することができた。 また、令和5年度の【コイル】は234日開所し、児童生徒の通所数も年々増加しているが、学校復帰のみを目指すのではなく、不登校状態にある児童生徒や学習に不安を抱える児童生徒への学習機会の確保と社会的自立に向けた支援の場として提供することができた。																											
予算の執行状況	(単位：円)																											
予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
24,612,098	24,009,971	2,141,000			21,868,971																							

予算科目	10 款	教育費	事業名		震災奨学金給付事業																									
	1 項	教育総務費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																									
	6 目	奨学資金基金費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																									
	事業	奨学資金基金費(東日本大震災関係分)		(3)	有能な人材を育成支援する																									
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 93																										
目的及び事業内容	東日本大震災により親が死亡又は行方不明となり、父母のない児童生徒に対して震災奨学金を給付することにより、安定した修学の機会を提供し、もって有能な人材を育成する。																													
取組実績	1 対象者への給付 4月と9月に月額金、2月に高校3年生に一時金を給付した。 (1) 対象者 震災当時石巻市内に住所を有していた親が、震災により死亡又は行方不明となり、両親がいなくなった小・中・高校生。 (2) 給付額 ア 月額(年額) 小学校等に在学する者 10,000円(120,000円) 中学校等に在学する者 20,000円(240,000円) 高等学校等に在学する者 30,000円(360,000円) イ 一時金 高校3年生 500,000円 (3) 給付の期間 対象者が高等学校等を卒業するまで給付する。ただし、学校教育法に規定する修業年限内とする。																													
成 果	令和5年度は中学生2名、高校生2名の計4名の震災孤児に奨学金を給付した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生</td> <td>2人</td> <td>480,000円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>2人</td> <td>720,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4人</td> <td>1,200,000円</td> </tr> </tbody> </table> 一時金として、高校生1名の震災孤児に給付をした。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>給付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生</td> <td>0人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>1人</td> <td>500,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1人</td> <td>500,000円</td> </tr> </tbody> </table>						区分	人数	給付額	中学生	2人	480,000円	高校生	2人	720,000円	合計	4人	1,200,000円	区分	人数	給付額	中学生	0人	0円	高校生	1人	500,000円	合計	1人	500,000円
区分	人数	給付額																												
中学生	2人	480,000円																												
高校生	2人	720,000円																												
合計	4人	1,200,000円																												
区分	人数	給付額																												
中学生	0人	0円																												
高校生	1人	500,000円																												
合計	1人	500,000円																												
成果に係る評価	震災奨学金を給付することにより、震災孤児の修学を経済的に支援するとともに、安定した修学機会の提供に寄与することができた。今後も事業計画に基づき給付事業を継続する必要がある。																													
予算の執行状況	(単位：円)																													
予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
		国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
1,700,000	1,700,000				1,700,000																									

予算科目	10 款	教育費	事業名	遠距離通学支援事業（小学校）																																						
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																					
	1 目	学校管理費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																					
	事業	小学校管理費（教育総務課）		(4)	就学に係る支援を強化する																																					
担当部課	教育委員会教育総務課	実施計画掲載ページ		P 93																																						
目的及び事業内容	小学校の統廃合等により遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。 ・スクールバス等の運行 ・遠距離通学費補助金の交付																																									
取組実績	遠距離通学となる児童に対し、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施した。 1 スクールバス等の運行 (1) 遠距離通学となる10校に対し、バス16台、タクシー6台（雄勝中と共用の4台含む）、ポート1台の運行を行った。 ※スクールバス等対象校（R5） 稲井小学校、飯野川小学校、二俣小学校、雄勝小学校、万石浦小学校、中津山第一小学校、桃生小学校、北上小学校、鮎川小学校、大原小学校 2 遠距離通学費補助金の交付 (1) 公共交通機関等を利用して通学している2校29人に対し、補助金を交付した。 ※遠距離通学費補助金対象校（R5） 大谷地小学校、二俣小学校																																									
成果	小学校の統廃合等により通学区域の学校までの通学距離が遠距離となった児童のため、スクールバス等の運行や公共交通機関等の利用に係る負担額への助成を実施することにより、登下校中の安全・安心の確保及び保護者の経済的負担の軽減が図られた。 1 スクールバス等の運行 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">スクールバス等</td> <td>R3</td> <td>11校</td> <td>419人</td> <td>120,589,478 円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>11校</td> <td>383人</td> <td>120,771,028 円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>10校</td> <td>359人</td> <td>114,165,362 円</td> </tr> </tbody> </table> 2 遠距離通学費補助金の交付 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">遠距離通学費補助金</td> <td>R3</td> <td>2校</td> <td>37人</td> <td>1,649,840 円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2校</td> <td>37人</td> <td>1,280,400 円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>2校</td> <td>29人</td> <td>1,246,770 円</td> </tr> </tbody> </table>						区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	R3	11校	419人	120,589,478 円	R4	11校	383人	120,771,028 円	R5	10校	359人	114,165,362 円	区分	年度	学校数	対象人数	補助額	遠距離通学費補助金	R3	2校	37人	1,649,840 円	R4	2校	37人	1,280,400 円	R5	2校	29人	1,246,770 円
区分	年度	学校数	対象人数	事業費																																						
スクールバス等	R3	11校	419人	120,589,478 円																																						
	R4	11校	383人	120,771,028 円																																						
	R5	10校	359人	114,165,362 円																																						
区分	年度	学校数	対象人数	補助額																																						
遠距離通学費補助金	R3	2校	37人	1,649,840 円																																						
	R4	2校	37人	1,280,400 円																																						
	R5	2校	29人	1,246,770 円																																						
成果に係る評価	通学区域の学校までの通学距離が遠距離となる児童の安全・安心の確保及び保護者の経済的負担の軽減を図るため、地域の実情に配慮しながら、引き続き適正な通学支援を実施することが必要である。																																									
予算の執行状況	（単位：円）																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	127,113,280	115,412,132	4,957,000			110,455,132																																				

予算科目	10 款	教育費	事業名	小学校外国語指導補助員活用事業																				
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																			
	1 目	学校管理費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																			
	事業	小学校管理費（学校教育課）		(2)	外国語教育を推進する																			
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P 92																				
目的及び事業内容	小学校に外国語指導補助員を配置することによって、3・4学年の外国語活動及び学習指導要領の改訂に伴って教科化された5・6年生の外国語科の学習の充実と教員の指導力向上を図る。																							
取組実績	1 児童の興味・関心の向上 (1) 外国語が堪能で異文化に対する理解も深い補助員と一緒に外国語の活動に取り組むことで、児童の外国語学習に対する興味・関心を高め、外国語によるコミュニケーションに対して積極的な態度を養うことができた。 (2) 担任と補助員が外国語を使う自然な場面設定を行い、デモンストレーションを行うことで、児童は英語を使う具体的なイメージをもって活動に取り組むことができた。 2 コミュニケーション能力の向上 学級担任と補助員の協働による授業は、実際の場面で使われる生きた英語を聞くことや話す機会を増やし、児童のコミュニケーション能力を向上させる上で効果的であった。 3 担任の指導力の向上 補助員と学級担任が授業の構想や進め方について意見交換をすることで、お互いのアイデアをよりよいものにすることができ、学級担任の指導力の向上を図ることができた。																							
成果	外国語及び外国語活動の授業においては、各補助員が自らの高い英語力を生かし、担任と連携しながら、創意工夫ある授業づくりに努めた。また、教師と良い関係を築くとともに、自分から積極的に授業のアイデアを提供し、児童のコミュニケーションへの意欲を高めることができた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配置校数</td> <td>29校</td> <td>28校</td> <td>25校</td> <td>23校</td> <td>22校</td> </tr> <tr> <td>配置した補助員数</td> <td>12名</td> <td>12名</td> <td>12名</td> <td>12名</td> <td>12名</td> </tr> </tbody> </table>						年 度	R1	R2	R3	R4	R5	配置校数	29校	28校	25校	23校	22校	配置した補助員数	12名	12名	12名	12名	12名
年 度	R1	R2	R3	R4	R5																			
配置校数	29校	28校	25校	23校	22校																			
配置した補助員数	12名	12名	12名	12名	12名																			
成果に係る評価	授業では、外国語及び外国語活動について、児童が良く理解できるよう分かりやすい授業を行うことができた。また、課題としては、小学校外国語専科教員の増加、デジタル教科書やタブレット教材の充実により、補助員の必要性が薄れてきている。 令和6年度限りの事業ではあるが、年2回の研修会の中で、英語教育における最先端の情報や先進的な取組を積極的に紹介していくとともに、補助員同士で悩みや実践例を共有し合う情報交換の場を設定していく。																							
予算の執行状況	（単位：円）																							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																		
	6,736,000	5,767,150				5,767,150																		

予算科目	10 款	教育費	事業名	教材備品整備事業（小学校）												
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち											
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進											
	事業	小学校一般教材費		(1)	充実した教育を行うための環境を整備する											
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 87												
目的及び事業内容	文部科学省策定の「教材整備指針」に基づき、本市で策定した「石巻市小・中学校教材整備方針」の整備目標達成と教材の整備充実を図るため、新規教材の購入及び老朽化した教材の計画的な更新を行う。 良好で質の高い教育環境のため、教育内容や指導方法について対応した教材の購入や老朽化した教材の計画的な更新を進める。															
取組実績	学校要望の教材について、年間を通して購入し、年度末には翌年度新設の特別支援学級用備品などにも対応した。 購入に際しては見積合わせ等を行い、予算を有効活用した。また、理科教材については、理科教育設備整備費等補助金（1/2）制度を活用した。 ＜小学校の教材整備数（備品購入費分のみ）＞ <table border="1"> <thead> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>628個</td> <td>539個</td> <td>584個</td> <td>666個</td> <td>453個</td> </tr> </tbody> </table>						R1	R2	R3	R4	R5	628個	539個	584個	666個	453個
R1	R2	R3	R4	R5												
628個	539個	584個	666個	453個												
成果	学校が要望する学習指導要領に対応した教材備品を年間を通して整備をしたことで、学習環境が整えられた。 教材を用いた授業により、興味が持て、内容の理解が進み、活発な学習活動が行えた。 ＜小学校の教材充足率＞ <table border="1"> <thead> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>79.9%</td> <td>87.6%</td> <td>83.9%</td> <td>84.0%</td> <td>87.5%</td> </tr> </tbody> </table> ※学校整備目標に対する充足率（消耗品を含む。） ◎教材整備指針、教材整備方針について 文部科学省で定めた教材毎の整備数の目安を示した「教材整備指針」を参考に「石巻市小・中学校教材整備方針」を策定、各学校ごと教科ごと教材整備目標数を設定、教材整備を進めている。						R1	R2	R3	R4	R5	79.9%	87.6%	83.9%	84.0%	87.5%
R1	R2	R3	R4	R5												
79.9%	87.6%	83.9%	84.0%	87.5%												
成果に係る評価	新しい教材の購入に加え、老朽化や破損した教材の買い替えもあったが、充足率は順調に推移した。 教材により、授業の理解が得られやすくなり学習活動の充実が図られるため、今後も学習指導要領に対応した教材の整備を進めていきたい。															
予算の執行状況	（単位：円）															
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源										
	17,000,000	16,998,494	1,883,000		400,000	14,715,494										

予算科目	10 款	教育費	事業名	情報教育環境整備事業（小学校）																						
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																					
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																					
	事業	小学校教育用コンピューター関係費		(1)	充実した教育を行うための環境を整備する																					
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 87																						
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備するため、文部科学省が推奨する「教育の ICT 化に向けた環境整備5か年計画」及び「G I G A スクール構想」に基づき、機器の整備等を行う。																									
取組実績	小学校教育用コンピューター及び周辺機器の整備として以下を実施した。 1 大型提示装置の整備 全普通教室へ大型提示装置の整備を継続している。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>整備対象校</th> <th>整備台数</th> <th>整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 5</td> <td>小学校6校</td> <td>55台</td> <td>電子黒板</td> </tr> </tbody> </table> 2 一人一台端末の整備 一人一台端末は、令和2年度に全校への整備が完了している。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>整備対象校</th> <th>整備台数</th> <th>整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R 2</td> <td>小学校33校</td> <td>6,312台</td> <td>タブレット端末</td> </tr> </tbody> </table>						実施年度	整備対象校	整備台数	整備内容	R 5	小学校6校	55台	電子黒板	実施年度	整備対象校	整備台数	整備内容	R 2	小学校33校	6,312台	タブレット端末				
実施年度	整備対象校	整備台数	整備内容																							
R 5	小学校6校	55台	電子黒板																							
実施年度	整備対象校	整備台数	整備内容																							
R 2	小学校33校	6,312台	タブレット端末																							
成果	大型提示装置の小学校全普通教室への整備は令和元年度から実施している。 令和5年度までに延べ24校に整備した。 大型提示装置の全普通教室への整備に係る達成率（整備済み学校数） <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象校</th> <th>整備年度</th> <th>整備済学校数（累計）</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">小学校全33校 （統廃合含む）</td> <td>R 1</td> <td>小学校 2校</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>R 2</td> <td>—</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>R 3</td> <td>小学校10校</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>R 4</td> <td>小学校18校</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>R 5</td> <td>小学校24校</td> <td>73%</td> </tr> </tbody> </table>						対象校	整備年度	整備済学校数（累計）	達成率	小学校全33校 （統廃合含む）	R 1	小学校 2校	6%	R 2	—	6%	R 3	小学校10校	30%	R 4	小学校18校	55%	R 5	小学校24校	73%
対象校	整備年度	整備済学校数（累計）	達成率																							
小学校全33校 （統廃合含む）	R 1	小学校 2校	6%																							
	R 2	—	6%																							
	R 3	小学校10校	30%																							
	R 4	小学校18校	55%																							
	R 5	小学校24校	73%																							
成果に係る評価	大型提示装置の全普通教室への整備を円滑に進めることができた。 大型提示装置は、一人一台端末を接続してその画面を表示することができ、端末に組み込んでいるアプリの画面を提示することにより授業で利用する教材の表現力を大幅に向上できる。 表現力向上によって本市の学力向上に資するため大型提示装置の整備については積極的に継続していく必要がある。今後も、現在の水準を維持していくだけでなく、機器更新時には、新技術の導入や社会情勢の変化に対応した機材の採用を検討していく必要がある。																									
予算の執行状況	（単位：円）																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																				
	194,268,000	189,121,403				189,121,403																				

予算科目	10 款	教育費	事業名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（小学校）																																							
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																						
	2 目	教育振興費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																						
	事業	小学校教育振興援助費		(4)	就学に係る支援を強化する																																						
担当部課	教育委員会教育総務課	実施計画掲載ページ		P 93																																							
目的及び事業内容	経済的な理由により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者に対して、必要な援助を行うことにより経済的な負担を軽減し、児童の就学の機会を確保する。 ・就学援助費の助成 ・特別支援教育就学奨励費の助成																																										
取組実績	1	就学援助費	【参考】被災児童就学援助費																																								
	認定者数 942名 / 児童数 5,911名 (15.94%) <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>11,372,550 円</td><td>学用品費</td><td>10,844,715 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>2,124,809 円</td><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>2,239,894 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>392,580 円</td><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>492,935 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>19,630 円</td><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>1,189,320 円</td><td>新入学学用品費</td><td>1,243,380 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>5,192,460 円</td><td>新入学準備金</td><td>4,165,380 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>3,399,213 円</td><td>修学旅行費</td><td>2,855,681 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>42,153,108 円</td><td>給食費</td><td>39,949,889 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>181,750 円</td><td>医療費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>66,025,420 円</td><td>計</td><td>61,791,874 円</td></tr> </table>		学用品費	11,372,550 円	学用品費	10,844,715 円	校外活動費（宿泊なし）	2,124,809 円	校外活動費（宿泊なし）	2,239,894 円	校外活動費（宿泊あり）	392,580 円	校外活動費（宿泊あり）	492,935 円	通学費	19,630 円	通学費	0 円	新入学学用品費	1,189,320 円	新入学学用品費	1,243,380 円	新入学準備金	5,192,460 円	新入学準備金	4,165,380 円	修学旅行費	3,399,213 円	修学旅行費	2,855,681 円	給食費	42,153,108 円	給食費	39,949,889 円	医療費	181,750 円	医療費	0 円	計	66,025,420 円	計	61,791,874 円	
学用品費	11,372,550 円	学用品費	10,844,715 円																																								
校外活動費（宿泊なし）	2,124,809 円	校外活動費（宿泊なし）	2,239,894 円																																								
校外活動費（宿泊あり）	392,580 円	校外活動費（宿泊あり）	492,935 円																																								
通学費	19,630 円	通学費	0 円																																								
新入学学用品費	1,189,320 円	新入学学用品費	1,243,380 円																																								
新入学準備金	5,192,460 円	新入学準備金	4,165,380 円																																								
修学旅行費	3,399,213 円	修学旅行費	2,855,681 円																																								
給食費	42,153,108 円	給食費	39,949,889 円																																								
医療費	181,750 円	医療費	0 円																																								
計	66,025,420 円	計	61,791,874 円																																								
2	特別支援教育就学奨励費	認定者数 203名 / 児童数 5,911名 (3.43%) <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>444,745 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>47,103 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>14,952 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>440,172 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>255,550 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>125,208 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>1,882,385 円</td></tr> <tr><td>交流学习交通費</td><td>30,829 円</td></tr> <tr><td>通級指導教室通学費</td><td>159,644 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>3,400,588 円</td></tr> </table>				学用品費	444,745 円	校外活動費（宿泊なし）	47,103 円	校外活動費（宿泊あり）	14,952 円	通学費	440,172 円	新入学学用品費	255,550 円	修学旅行費	125,208 円	給食費	1,882,385 円	交流学习交通費	30,829 円	通級指導教室通学費	159,644 円	計	3,400,588 円																		
学用品費	444,745 円																																										
校外活動費（宿泊なし）	47,103 円																																										
校外活動費（宿泊あり）	14,952 円																																										
通学費	440,172 円																																										
新入学学用品費	255,550 円																																										
修学旅行費	125,208 円																																										
給食費	1,882,385 円																																										
交流学习交通費	30,829 円																																										
通級指導教室通学費	159,644 円																																										
計	3,400,588 円																																										
成果	経済的な理由により就学が困難な児童の保護者又は特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し助成を行うことにより、経済的な負担を軽減することができた。 また、新入学準備金については、91名の児童の保護者に助成を行うとともに、支給時期を早めたことにより、就学前の経済的不安の解消が図られた。																																										
成果に係る評価	経済的な理由により就学が困難な児童や特別支援学級へ就学する児童の保護者に対し、経済的な援助を行うことは、すべての児童の就学の機会を確保するために重要なことであり、今後も法令に則り必要な支援を継続していく必要がある。																																										
予算の執行状況	(単位：円)																																										
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	71,846,000	69,426,008	1,870,375			67,555,633																																					

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校図書整備事業（小学校）〔復興基金〕																																												
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																											
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																																											
	事業	小学校図書整備事業費		(1)	充実した教育を行うための環境を整備する																																											
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 87																																												
目的及び事業内容	文部科学省は、令和4年度から令和8年度を対象期間とする第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」を策定、平成5年に定めた「学校図書館図書標準」の達成のための新たな図書の購入と古い図書の計画的な更新を行い、学校図書館の整備充実を図ることとしている。 学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るため、市内小学校の学校図書を整備するもの。																																															
取組実績	令和5年度予算としては、各小学校へ蔵書を更新するための予算を配当した。 令和5年度においては、前年度と比較して整備冊数が増え、児童の読書活動や学びに役立つ図書を購入することができた。																																															
	<小学校図書の整備冊数> <table border="1"> <tr> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>19,722冊</td> <td>18,436冊</td> <td>16,924冊</td> <td>14,910冊</td> <td>16,073冊</td> </tr> </table> ※ 寄贈含む。						R1	R2	R3	R4	R5	19,722冊	18,436冊	16,924冊	14,910冊	16,073冊																																
R1	R2	R3	R4	R5																																												
19,722冊	18,436冊	16,924冊	14,910冊	16,073冊																																												
成果	学校図書館図書標準に対する充足率を維持でき、学校図書の整備充実に努めたことにより、児童の成長段階に応じた図書が整備ができ、読書活動や学習活動に積極的に活用され、読む力、考える力が養われた。 <小学校図書充足率達成状況> <table border="1"> <tr> <td>充足率</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>100%以上(A)</td> <td>31校</td> <td>30校</td> <td>33校</td> <td>32校</td> <td>32校</td> </tr> <tr> <td>75%以上-100%未満</td> <td>2校</td> <td>3校</td> <td>0校</td> <td>1校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>50%以上-75%未満</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>合計(B)</td> <td>33校</td> <td>33校</td> <td>33校</td> <td>33校</td> <td>32校</td> </tr> </table> 100%以上達成校の割合(A/B) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>93.94%</td> <td>90.91%</td> <td>100.00%</td> <td>96.97%</td> <td>100.00%</td> </tr> </table> ※各年度末時点 ◎学校図書館図書標準に対する充足率について 平成5年に文部科学省で定めた学校図書館の図書整備を図る際の目標として定められた学校図書館図書標準（学級数に応じて積算）に対する学校保有冊数の割合である。						充足率	R1	R2	R3	R4	R5	100%以上(A)	31校	30校	33校	32校	32校	75%以上-100%未満	2校	3校	0校	1校	0校	50%以上-75%未満	0校	0校	0校	0校	0校	50%未満	0校	0校	0校	0校	0校	合計(B)	33校	33校	33校	33校	32校		93.94%	90.91%	100.00%	96.97%	100.00%
充足率	R1	R2	R3	R4	R5																																											
100%以上(A)	31校	30校	33校	32校	32校																																											
75%以上-100%未満	2校	3校	0校	1校	0校																																											
50%以上-75%未満	0校	0校	0校	0校	0校																																											
50%未満	0校	0校	0校	0校	0校																																											
合計(B)	33校	33校	33校	33校	32校																																											
	93.94%	90.91%	100.00%	96.97%	100.00%																																											
成果に係る評価	令和5年度はすべての学校が充足率100%となった。 廃棄を行う学校は徐々に増えているものの、まだまだ古い蔵書の割合が高いことから、今後も老朽化した図書や古い内容の図書について継続的・計画的に更新し、児童が興味を持ち、自ら学び、豊かな心が育まれるよう学校図書の一層の充実を図っていきたい。																																															
予算の執行状況	(単位：円)																																															
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	22,000,000	21,993,741				21,993,741																																										

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校施設改築事業																																																										
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																									
	3 目	学校建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																																																									
	事業	須江小学校屋内運動場改築事業費、前谷地小学校屋内運動場改築事業費		(2)	安全安心な学校施設整備を推進する																																																									
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 88																																																										
目的及び事業内容	須江小学校屋内運動場は、昭和48年度に建設され建設後50年が経過しており、老朽化が著しく、応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況となっているため、屋内運動場の改築工事を実施することにより、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができるよう整備を図る。 前谷地小学校屋内運動場は、昭和45年度に建設され、度重なる地震による地盤沈下が原因で床に歪みが出る等、施設の構造耐力が著しく低下している状況と、建設後の経過年数から、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」に基づき、改築の計画を行う。																																																													
取組実績	・須江小学校屋内運動場改築事業費 令和5年度は、改築工事を実施した。 1 全体事業 (1) 令和3年度 測量業務、基本計画 (2) 令和4年度 地質調査、実施設計 (3) 令和5年度から令和6年度 改築工事																																																													
	2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内訳</th> <th colspan="2">R5予算額</th> <th colspan="2">R5事業費</th> <th colspan="2">R6繰越</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施設計</td> <td>19,263,000</td> <td>19,263,000</td> <td>0</td> <td>17,968,133</td> <td>17,968,133</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>100,000</td> <td>0</td> <td>100,000</td> <td>100,000</td> <td>0</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>2,047,000</td> <td>0</td> <td>2,047,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2,000,000</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>227,923,267</td> <td>0</td> <td>227,923,267</td> <td>101,037,712</td> <td>0</td> <td>101,037,712</td> </tr> <tr> <td>借上料</td> <td>3,000,000</td> <td>0</td> <td>3,000,000</td> <td>2,220,900</td> <td>0</td> <td>2,220,900</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>252,333,267</td> <td>19,263,000</td> <td>233,070,267</td> <td>121,326,745</td> <td>17,968,133</td> <td>103,358,612</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	R5予算額		R5事業費		R6繰越		繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	実施設計	19,263,000	19,263,000	0	17,968,133	17,968,133	0	消耗品費	100,000	0	100,000	100,000	0	100,000	監理	2,047,000	0	2,047,000	0	0	2,000,000	工事	227,923,267	0	227,923,267	101,037,712	0	101,037,712	借上料	3,000,000	0	3,000,000	2,220,900	0	2,220,900	計	252,333,267	19,263,000	233,070,267	121,326,745	17,968,133	103,358,612
	内訳	R5予算額		R5事業費		R6繰越																																																								
繰越分		現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分																																																								
実施設計	19,263,000	19,263,000	0	17,968,133	17,968,133	0																																																								
消耗品費	100,000	0	100,000	100,000	0	100,000																																																								
監理	2,047,000	0	2,047,000	0	0	2,000,000																																																								
工事	227,923,267	0	227,923,267	101,037,712	0	101,037,712																																																								
借上料	3,000,000	0	3,000,000	2,220,900	0	2,220,900																																																								
計	252,333,267	19,263,000	233,070,267	121,326,745	17,968,133	103,358,612																																																								
・前谷地小学校屋内運動場改築事業費 令和5年度は、耐力度調査、測量業務を実施した。 1 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>R5予算額</th> <th>R5事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>7,125,000</td> <td>7,107,100</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,125,000</td> <td>7,107,100</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	R5予算額	R5事業費	委託料	7,125,000	7,107,100	計	7,125,000	7,107,100																																															
内訳	R5予算額	R5事業費																																																												
委託料	7,125,000	7,107,100																																																												
計	7,125,000	7,107,100																																																												
成果	老朽化が著しく進行している須江小学校屋内運動場については、改築工事に着手し、前谷地小学校屋内運動場については、耐力度調査、測量業務を実施したことにより、改築工事へ向けた準備が図られた。																																																													
成果に係る評価	市内の学校施設は、建設後相当年数が経過しており、老朽化が進行している。今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」に基づき、計画的に整備を図っていく必要がある。																																																													
予算の執行状況	(単位：円)																																																													
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																								
130,573,267	128,433,845	14,829,000	81,800,000	4,400,000	27,404,845																																																									

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校施設プール改築事業																																																			
	2 項	小学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																		
	3 目	学校建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																																																		
	事業	小学校施設プール改築事業費、前谷地小学校水泳プール改築事業費、須江小学校水泳プール改築事業費		(2)	安全安心な学校施設整備を推進する																																																		
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 89																																																			
目的及び事業内容	前谷地小学校水泳プールは、昭和44年度に建設され建設後54年が経過しており、給排水設備を含む施設の老朽化が著しく、応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況となっているため、水泳プール施設全体の改築工事を実施することにより、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができるよう整備を図る。 須江小学校水泳プールは、昭和53年度に建設され、給排水設備を含む施設の老朽化が著しく、応急的な修繕やメンテナンスによる維持管理が困難な状況となっているため、水泳プール施設全体の改築工事を実施することにより、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができるよう整備を図る。																																																						
取組実績	・前谷地小学校水泳プール改築事業費 令和5年度は、改築工事を実施した。 1 全体事業 (1) 令和3年度 地質調査、実施設計 (2) 令和4年度から令和5年度 改築工事																																																						
	2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内訳</th> <th colspan="2">R5予算額</th> <th colspan="2">R5事業費</th> <th colspan="2">R6繰越</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計・監理</td> <td>4,700,000</td> <td>1,700,000</td> <td>3,000,000</td> <td>3,850,000</td> <td>1,700,000</td> <td>2,150,000</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>198,102,400</td> <td>69,863,400</td> <td>128,239,000</td> <td>197,319,100</td> <td>69,080,100</td> <td>128,239,000</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>156,600</td> <td>156,600</td> <td>0</td> <td>75,300</td> <td>75,300</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>借上料</td> <td>700,000</td> <td>700,000</td> <td>0</td> <td>699,600</td> <td>699,600</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>203,659,000</td> <td>72,420,000</td> <td>131,239,000</td> <td>201,944,000</td> <td>71,555,000</td> <td>130,389,000</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	R5予算額		R5事業費		R6繰越		繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	設計・監理	4,700,000	1,700,000	3,000,000	3,850,000	1,700,000	2,150,000	工事	198,102,400	69,863,400	128,239,000	197,319,100	69,080,100	128,239,000	使用料	156,600	156,600	0	75,300	75,300	0	借上料	700,000	700,000	0	699,600	699,600	0	計	203,659,000	72,420,000	131,239,000	201,944,000	71,555,000	130,389,000
	内訳	R5予算額		R5事業費		R6繰越																																																	
繰越分		現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分																																																	
設計・監理	4,700,000	1,700,000	3,000,000	3,850,000	1,700,000	2,150,000																																																	
工事	198,102,400	69,863,400	128,239,000	197,319,100	69,080,100	128,239,000																																																	
使用料	156,600	156,600	0	75,300	75,300	0																																																	
借上料	700,000	700,000	0	699,600	699,600	0																																																	
計	203,659,000	72,420,000	131,239,000	201,944,000	71,555,000	130,389,000																																																	
・須江小学校水泳プール改築事業費 令和5年度は、改築工事に着手した。 1 全体事業 (1) 令和4年度 地質調査、実施設計 (2) 令和5年度から令和6年度 改築工事																																																							
2 科目別予算額・事業費内訳 (単位：円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内訳</th> <th colspan="2">R5予算額</th> <th colspan="2">R5事業費</th> <th colspan="2">R6繰越</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>60,000</td> <td>0</td> <td>60,000</td> <td>60,000</td> <td>0</td> <td>60,000</td> </tr> <tr> <td>設計・監理</td> <td>4,932,000</td> <td>4,208,000</td> <td>724,000</td> <td>4,931,028</td> <td>4,207,767</td> <td>723,261</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>44,130,733</td> <td>0</td> <td>44,130,733</td> <td>44,130,733</td> <td>0</td> <td>44,130,733</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>49,122,733</td> <td>4,208,000</td> <td>44,914,733</td> <td>49,121,761</td> <td>4,207,767</td> <td>44,913,994</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	R5予算額		R5事業費		R6繰越		繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	消耗品費	60,000	0	60,000	60,000	0	60,000	設計・監理	4,932,000	4,208,000	724,000	4,931,028	4,207,767	723,261	工事	44,130,733	0	44,130,733	44,130,733	0	44,130,733	計	49,122,733	4,208,000	44,914,733	49,121,761	4,207,767	44,913,994								
内訳	R5予算額		R5事業費		R6繰越																																																		
	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分																																																	
消耗品費	60,000	0	60,000	60,000	0	60,000																																																	
設計・監理	4,932,000	4,208,000	724,000	4,931,028	4,207,767	723,261																																																	
工事	44,130,733	0	44,130,733	44,130,733	0	44,130,733																																																	
計	49,122,733	4,208,000	44,914,733	49,121,761	4,207,767	44,913,994																																																	
成果	老朽化が著しく進行している前谷地小学校水泳プールについて改築工事を実施し、児童が安全・安心かつ良好な学習環境が整備された。須江小学校水泳プールについては、児童が安全・安心かつ良好な環境で学習できるよう改築工事を実施した。																																																						
成果に係る評価	市内の学校施設は、建設後相当年数が経過しており、老朽化が進行している。今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」を基に、計画的な整備を図っていくとともに、併せて、今後の学校水泳プールのあり方等について検討が必要となっている。																																																						
予算の執行状況	(単位：円)																																																						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																	
252,781,733	251,065,761	34,844,000	192,700,000	5,000,000	18,521,761																																																		

予算科目	10 款	教育費	事業名	遠距離通学支援事業（中学校）																					
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																				
	1 目	学校管理費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																				
	事業	中学校管理費（教育総務課）		(4)	就学に係る支援を強化する																				
担当部課	教育委員会教育総務課	実施計画掲載ページ		P93																					
目的及び事業内容	中学校の統廃合等により遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等を運行することにより、安全かつ安心して通学できる仕組みを提供する。 ・スクールバス等の運行																								
取組実績	遠距離通学となる生徒に対し、スクールバス等の運行を実施した。 1 スクールバス等の運行 (1) 遠距離通学となる5校に対し、バス3台、タクシー3台（雄勝小と共用の4台は含めない）の運行を行った。 ※スクールバス等対象校（R5） 万石浦中学校、河北中学校、雄勝中学校、北上中学校、牡鹿中学校																								
成果	中学校の統廃合等により通学区域の学校までの通学距離が遠距離となった生徒のため、スクールバス等の運行を実施することにより、登下校中の安全・安心の確保及び保護者の経済的負担の軽減が図られた。 1 スクールバス等の運行 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年度</th> <th>学校数</th> <th>対象人数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">スクールバス等</td> <td>R3</td> <td>6校</td> <td>54人</td> <td>62,331,154 円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>6校</td> <td>57人</td> <td>61,525,124 円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>5校</td> <td>56人</td> <td>61,242,334 円</td> </tr> </tbody> </table>							区分	年度	学校数	対象人数	事業費	スクールバス等	R3	6校	54人	62,331,154 円	R4	6校	57人	61,525,124 円	R5	5校	56人	61,242,334 円
区分	年度	学校数	対象人数	事業費																					
スクールバス等	R3	6校	54人	62,331,154 円																					
	R4	6校	57人	61,525,124 円																					
	R5	5校	56人	61,242,334 円																					
成果に係る評価	通学区域の学校までの通学距離が遠距離となる生徒の安全・安心の確保及び保護者の経済的負担の軽減を図るため、地域の実情に配慮しながら、引き続き適正な通学支援を実施することが必要である。																								
予算の執行状況	（単位：円）																								
予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
		国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																				
66,183,264	61,242,334	2,232,000			59,010,334																				

予算科目	10 款	教育費	事業名	中学校における部活動指導員の配置支援事業																					
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																				
	1 目	学校管理費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進																				
	事業	部活動指導員配置支援事業費		(1)	地域で支える教育活動を支援する																				
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P96																					
目的及び事業内容	主に休日の部活動を顧問教員と実施することにより、教員の負担軽減を図るとともに、生徒のニーズを踏まえた充実した部活動を実施する。 将来的には、指導員単独で、休日だけでなく、平日の部活動指導や各種大会引率を行えるようにする。																								
取組実績	○部活動指導員の配置 部活動指導員配置人数 8部（運動部6部、文化部2部） 配置校数 6校 【内訳】 <table border="0"> <tr> <td>運動部：蛇田中学校</td> <td>ソフトボール部</td> </tr> <tr> <td>蛇田中学校</td> <td>陸上部</td> </tr> <tr> <td>渡波中学校</td> <td>卓球部</td> </tr> <tr> <td>青葉中学校</td> <td>サッカー部</td> </tr> <tr> <td>河南東中学校</td> <td>サッカー部</td> </tr> <tr> <td>牡鹿中学校</td> <td>剣道部</td> </tr> <tr> <td>文化部：蛇田中学校</td> <td>吹奏楽部</td> </tr> <tr> <td>桃生中学校</td> <td>吹奏楽部</td> </tr> </table> ○部活動指導員の役割 ・休日の部活動指導を行う。 ・生徒のニーズを踏まえた充実した活動を行い、教員の負担軽減を図る。 ・できるだけ短時間に、合理的かつ効率的・効果的な活動を行う。							運動部：蛇田中学校	ソフトボール部	蛇田中学校	陸上部	渡波中学校	卓球部	青葉中学校	サッカー部	河南東中学校	サッカー部	牡鹿中学校	剣道部	文化部：蛇田中学校	吹奏楽部	桃生中学校	吹奏楽部		
運動部：蛇田中学校	ソフトボール部																								
蛇田中学校	陸上部																								
渡波中学校	卓球部																								
青葉中学校	サッカー部																								
河南東中学校	サッカー部																								
牡鹿中学校	剣道部																								
文化部：蛇田中学校	吹奏楽部																								
桃生中学校	吹奏楽部																								
成果	○部活動指導員の配置 ※第2期教育振興基本計画実施計画 活動指標 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>8人</td> <td>8人</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> ○部活動指導員より指導を受けて技術が向上したと感じた生徒の割合 ※第2期教育振興基本計画実施計画 成果指標 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>80.0%</td> <td>66.9%</td> <td>83.6%</td> </tr> </tbody> </table>							年度	目標値	実績値	達成率	R5	8人	8人	100.0%	年度	成果指標		達成率	目標値	実績値	R5	80.0%	66.9%	83.6%
年度	目標値	実績値	達成率																						
R5	8人	8人	100.0%																						
年度	成果指標		達成率																						
	目標値	実績値																							
R5	80.0%	66.9%	83.6%																						
成果に係る評価	国庫の補助事業を活用しながら、部活動指導員の配置について目標を達成することができた。技術の向上については、配置初年度ということもあり、66.9%の割合にとどまっている。 宮城県では、令和8年度から休日の学校部活動は行わないことを目標としており、部活動の地域移行の受け皿となる団体の創設・確保が必要となる。 今後も引き続き補助金を活用しながら部活動指導員の配置拡大を進めていきたい。																								
予算の執行状況	（単位：円）																								
予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
		国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																				
1,446,000	1,145,886	490,000			655,886																				

予算科目	10 款	教育費	事業名		教材備品整備事業（中学校）											
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち											
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進											
	事業	中学校一般教材費		(1)	充実した教育を行うための環境を整備する											
担当部課	教育委員会学校管理課		実施計画掲載ページ		P87											
目的及び事業内容	文部科学省策定の「教材整備指針」に基づき、本市で策定した「石巻市小・中学校教材整備方針」の整備目標達成と教材の整備充実を図るため、新規教材の購入及び老朽化した教材の計画的な更新を行う。 良好で質の高い教育環境のため、教育内容や指導方法について対応した教材の購入や老朽化した教材の計画的な更新を進める。															
取組実績	学校要望の教材について、年間を通して購入や破損等の急な買い替えなど学校ごとに対応した。購入に際しては見積合わせ等を行い、予算を有効活用した。また、理科教材については、理科教育設備整備費等補助金（1/2）制度を活用した。 <中学校の教材整備数（備品購入費のみ）> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>389個</td> <td>339個</td> <td>557個</td> <td>495個</td> <td>392個</td> </tr> </tbody> </table>						R1	R2	R3	R4	R5	389個	339個	557個	495個	392個
R1	R2	R3	R4	R5												
389個	339個	557個	495個	392個												
成果	学校が要望する、学習指導要領に対応した教材備品を年間を通して整備をしたことで、学習環境が整えられた。 教材を用いることで、授業の理解が深まり、学習活動がより充実した。 <中学校の教材充足率> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50.5%</td> <td>50.9%</td> <td>49.0%</td> <td>49.9%</td> <td>52.0%</td> </tr> </tbody> </table> ※学校整備目標に対する充足率（消耗品を含む。） ◎教材整備指針、教材整備方針について 文部科学省で定めた教材毎の整備数の目安を示した「教材整備指針」を参考に「石巻市小・中学校教材整備方針」を策定、各学校ごと教科ごと教材整備目標数を設定、教材整備を進めている。						R1	R2	R3	R4	R5	50.5%	50.9%	49.0%	49.9%	52.0%
R1	R2	R3	R4	R5												
50.5%	50.9%	49.0%	49.9%	52.0%												
成果に係る評価	新しい教材の購入に加え、老朽化や破損した教材の買い替えもあったが、充足率は順調に推移した。教材により、授業の理解が得られやすくなり学習活動の充実が図られるため、今後も学習指導要領に対応した教材の整備を進めていきたい。															
予算の執行状況	（単位：円）															
	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源										
	16,000,000	15,997,740	2,329,000		300,000	13,368,740										

予算科目	10 款	教育費	事業名		情報教育環境整備事業（中学校）																					
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																					
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																					
	事業	中学校教育用コンピューター関係費		(1)	充実した教育を行うための環境を整備する																					
担当部課	教育委員会学校管理課		実施計画掲載ページ		P87																					
目的及び事業内容	国際化、高度情報化、技術革新等社会情勢の変化に対応した情報教育環境を計画的に整備するため、文部科学省が推奨する「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」及び「GIGAスクール構想」に基づき、機器の整備等を行う。																									
取組実績	中学校教育用コンピュータ及び周辺機器の整備として以下を実施した。 1 大型提示装置の整備 全普通教室へ大型提示装置の整備を継続している。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>整備対象校</th> <th>整備台数</th> <th>整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>中学校3校</td> <td>21台</td> <td>電子黒板</td> </tr> </tbody> </table> 2 一人一台端末の整備 一人一台端末は、令和2年度に全校への整備が完了している。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>整備対象校</th> <th>整備台数</th> <th>整備内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>中学校19校</td> <td>3,325台</td> <td>タブレット端末</td> </tr> </tbody> </table>						実施年度	整備対象校	整備台数	整備内容	R5	中学校3校	21台	電子黒板	実施年度	整備対象校	整備台数	整備内容	R2	中学校19校	3,325台	タブレット端末				
実施年度	整備対象校	整備台数	整備内容																							
R5	中学校3校	21台	電子黒板																							
実施年度	整備対象校	整備台数	整備内容																							
R2	中学校19校	3,325台	タブレット端末																							
成果	大型提示装置の中学校全普通教室への整備は平成30年度から実施している。令和5年度までに延べ15校に整備した。 大型提示装置の全普通教室への整備に係る達成率（整備済み学校数） <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象校</th> <th>整備年度</th> <th>整備済学校数（累計）</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">中学校全19校 （統廃合含む）</td> <td>R1</td> <td>中学校10校</td> <td>52%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>—</td> <td>52%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>中学校12校</td> <td>63%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>—</td> <td>63%</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>中学校15校</td> <td>78%</td> </tr> </tbody> </table>						対象校	整備年度	整備済学校数（累計）	達成率	中学校全19校 （統廃合含む）	R1	中学校10校	52%	R2	—	52%	R3	中学校12校	63%	R4	—	63%	R5	中学校15校	78%
対象校	整備年度	整備済学校数（累計）	達成率																							
中学校全19校 （統廃合含む）	R1	中学校10校	52%																							
	R2	—	52%																							
	R3	中学校12校	63%																							
	R4	—	63%																							
	R5	中学校15校	78%																							
成果に係る評価	生徒一人ひとりに整備したタブレット端末の効果的な利用を図るため、今後も大型提示装置の全普通教室への整備を継続していく。 今後は、現在の水準を維持していただくだけでなく、機器更新時には、新技術の導入や社会情勢の変化に対応した機材の採用を検討していく必要がある。 また、コンピュータ教室パソコンの整備については、タブレット端末を整備したことにより、生徒が使用するコンピュータ端末をタブレット端末へ集約する方向で、検討を進めていく必要がある。																									
予算の執行状況	（単位：円）																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																							
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																				
	103,715,000	97,185,920				97,185,920																				

予算科目	10 款	教育費	事業名	就学援助・特別支援教育就学奨励事業（中学校）																																							
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																						
	2 目	教育振興費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																						
	事業	中学校教育振興援助費		(4)	就学に係る支援を強化する																																						
担当部課	教育委員会教育総務課	実施計画掲載ページ		P 93																																							
目的及び事業内容	経済的な理由により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対して、必要な援助を行うことにより経済的な負担を軽減し、生徒の就学の機会を確保する。 ・就学援助費の助成 ・特別支援教育就学奨励費の助成																																										
取組実績	1	就学援助費	【参考】被災生徒就学援助費																																								
	認定者数 546名 / 生徒数 3,130名 (17.44%) <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>11,954,380 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>137,019 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>537,851 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>2,772,000 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>8,064,000 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>11,499,887 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>27,935,368 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>92,780 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>62,993,285 円</td></tr> </table>		学用品費	11,954,380 円	校外活動費（宿泊なし）	137,019 円	校外活動費（宿泊あり）	537,851 円	通学費	0 円	新入学学用品費	2,772,000 円	新入学準備金	8,064,000 円	修学旅行費	11,499,887 円	給食費	27,935,368 円	医療費	92,780 円	計	62,993,285 円	認定者数 457名 (14.60%) <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>11,024,280 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>145,501 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>487,193 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>2,646,000 円</td></tr> <tr><td>新入学準備金</td><td>6,489,000 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>8,933,046 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>26,464,012 円</td></tr> <tr><td>医療費</td><td>0 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>56,189,032 円</td></tr> </table>		学用品費	11,024,280 円	校外活動費（宿泊なし）	145,501 円	校外活動費（宿泊あり）	487,193 円	通学費	0 円	新入学学用品費	2,646,000 円	新入学準備金	6,489,000 円	修学旅行費	8,933,046 円	給食費	26,464,012 円	医療費	0 円	計
学用品費	11,954,380 円																																										
校外活動費（宿泊なし）	137,019 円																																										
校外活動費（宿泊あり）	537,851 円																																										
通学費	0 円																																										
新入学学用品費	2,772,000 円																																										
新入学準備金	8,064,000 円																																										
修学旅行費	11,499,887 円																																										
給食費	27,935,368 円																																										
医療費	92,780 円																																										
計	62,993,285 円																																										
学用品費	11,024,280 円																																										
校外活動費（宿泊なし）	145,501 円																																										
校外活動費（宿泊あり）	487,193 円																																										
通学費	0 円																																										
新入学学用品費	2,646,000 円																																										
新入学準備金	6,489,000 円																																										
修学旅行費	8,933,046 円																																										
給食費	26,464,012 円																																										
医療費	0 円																																										
計	56,189,032 円																																										
2	特別支援教育就学奨励費	認定者数 78名 / 生徒数 3,130名 (2.49%) <table border="1"> <tr><td>学用品費</td><td>407,430 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊なし）</td><td>3,465 円</td></tr> <tr><td>校外活動費（宿泊あり）</td><td>21,503 円</td></tr> <tr><td>通学費</td><td>204,842 円</td></tr> <tr><td>新入学学用品費</td><td>243,920 円</td></tr> <tr><td>修学旅行費</td><td>318,116 円</td></tr> <tr><td>給食費</td><td>983,850 円</td></tr> <tr><td>交流学习交通費</td><td>29,300 円</td></tr> <tr><td>職場実習交通費</td><td>6,219,812 円</td></tr> <tr><td>計</td><td>8,432,238 円</td></tr> </table>				学用品費	407,430 円	校外活動費（宿泊なし）	3,465 円	校外活動費（宿泊あり）	21,503 円	通学費	204,842 円	新入学学用品費	243,920 円	修学旅行費	318,116 円	給食費	983,850 円	交流学习交通費	29,300 円	職場実習交通費	6,219,812 円	計	8,432,238 円																		
学用品費	407,430 円																																										
校外活動費（宿泊なし）	3,465 円																																										
校外活動費（宿泊あり）	21,503 円																																										
通学費	204,842 円																																										
新入学学用品費	243,920 円																																										
修学旅行費	318,116 円																																										
給食費	983,850 円																																										
交流学习交通費	29,300 円																																										
職場実習交通費	6,219,812 円																																										
計	8,432,238 円																																										
成果	経済的な理由により就学が困難な生徒の保護者又は特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し助成を行うことにより、経済的な負担を軽減することができた。 また、新入学準備金については、128名の生徒の保護者に助成を行うとともに、支給時期を早めたことにより、就学前の経済的不安の解消が図られた。																																										
成果に係る評価	経済的な理由により就学が困難な生徒や特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対し、経済的な援助を行うことは、すべての生徒の就学の機会を確保するために重要なことであり、今後も法令に則り必要な支援を継続していく必要がある。																																										
予算の執行状況	(単位：円)																																										
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	73,216,000	71,425,523	4,617,890			66,807,633																																					

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校図書整備事業（中学校）〔復興基金〕																																						
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																					
	2 目	教育振興費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																																					
	事業	中学校図書整備事業費		(1)	充実した教育を行うための環境を整備する																																					
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 87																																						
目的及び事業内容	文部科学省は、令和4年度から令和8年度を対象期間とする第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」を策定、平成5年に定めた「学校図書館図書標準」の達成のための新たな図書の購入と古い図書の計画的な更新を行い、学校図書館の整備充実を図ることとしている。 学校教育の中で、学校図書を積極的に活用し、児童生徒の読書活動を一層推進することにより豊かな人格形成、基礎的な言語力を育む等、学習効果の向上を図るため、市内中学校の学校図書を整備するもの。																																									
取組実績	令和5年度予算としては、各中学校へ蔵書を更新するための予算を配当した。 令和5年度においては、前年度と比較して整備冊数は減ったものの、生徒の読書活動や学習活動に役立つ質の高い図書を購入することができた。																																									
	<中学校図書の整備冊数> <table border="1"> <tr> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>19,821冊</td> <td>10,007冊</td> <td>9,343冊</td> <td>8,916冊</td> <td>8,523冊</td> </tr> </table> ※ 寄贈含む。						R1	R2	R3	R4	R5	19,821冊	10,007冊	9,343冊	8,916冊	8,523冊																										
R1	R2	R3	R4	R5																																						
19,821冊	10,007冊	9,343冊	8,916冊	8,523冊																																						
成果	学校図書館図書標準に対する充足率は老朽化した図書の廃棄により1校未達成となったが、生徒の読書活動、学習活動に役立つ優良な図書を購入できた。 整備した図書や資料の利用により、知識が広がり学習活動が充実した。																																									
成果に係る評価	<中学校図書充足率達成状況> <table border="1"> <tr> <td>充足率</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>100%以上（A）</td> <td>16校</td> <td>19校</td> <td>17校</td> <td>17校</td> <td>16校</td> </tr> <tr> <td>75%以上-100%未満</td> <td>3校</td> <td>校</td> <td>1校</td> <td>1校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>50%以上-75%未満</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>50%未満</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> <td>0校</td> </tr> <tr> <td>合計（B）</td> <td>19校</td> <td>19校</td> <td>18校</td> <td>18校</td> <td>17校</td> </tr> </table>						充足率	R1	R2	R3	R4	R5	100%以上（A）	16校	19校	17校	17校	16校	75%以上-100%未満	3校	校	1校	1校	1校	50%以上-75%未満	0校	0校	0校	0校	0校	50%未満	0校	0校	0校	0校	0校	合計（B）	19校	19校	18校	18校	17校
	充足率	R1	R2	R3	R4	R5																																				
100%以上（A）	16校	19校	17校	17校	16校																																					
75%以上-100%未満	3校	校	1校	1校	1校																																					
50%以上-75%未満	0校	0校	0校	0校	0校																																					
50%未満	0校	0校	0校	0校	0校																																					
合計（B）	19校	19校	18校	18校	17校																																					
◎学校図書館図書標準に対する充足率について ※各年度末時点 平成5年に文部科学省で定めた学校図書館の図書整備を図る際の目標として定められた学校図書館図書標準（学級数に応じて積算）に対する学校保有冊数の割合である。																																										
成果に係る評価	昨年度充足率未達成となった1校が引き続き未達成となった。 廃棄を行う学校は徐々に増えているものの、まだまだ古い蔵書の割合が高いことから、今後も老朽化した図書や古い内容の図書について継続的・計画的に更新し、生徒にとって最新の知識や正しい情報の資料により学習効果が得られるよう学校図書の一層の充実を図っていきたい。																																									
予算の執行状況	(単位：円)																																									
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																				
	15,000,000	15,000,000				15,000,000																																				

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校施設長寿命化改良事業																																																																																					
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																																																				
	3 目	学校建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																																																																																				
	事業	石巻中学校改修事業費、石巻中学校屋内運動場改修事業費、蛇田中学校校舎改修事業費		(2)	安全安心な学校施設整備を推進する																																																																																				
担当部課	教育委員会学校管理課		実施計画掲載ページ	P 88																																																																																					
目的及び事業内容	石巻中学校校舎等は経年劣化により老朽化が著しいため、外壁、内壁、電気設備、機械設備や屋上防水の改修工事等を実施し、施設の長寿命化を図る。併せて、段差解消や多目的トイレ設置等のバリアフリー対策を行い、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができるよう整備を図る。 蛇田中学校校舎は経年劣化により老朽化が著しいため、外壁、内壁、電気設備、機械設備や屋上防水の改修工事等を実施し、施設の長寿命化を図る。併せて、段差解消や多目的トイレ設置等のバリアフリー対策を行い、生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習活動ができるよう整備を図る。																																																																																								
取組実績	・石巻中学校改修事業費・石巻中学校屋内運動場改修事業費 1 全体事業 (1) 令和2年度 耐力度調査 (2) 令和3年度 設計(令和4年度へ繰越) (3) 令和4年度から令和5年度 改修工事 2 科目別予算額・事業費内訳 ・石巻中学校改修事業費 (単位:円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内訳</th> <th colspan="2">R5予算額</th> <th colspan="2">R5事業費</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>100,000</td> <td>0</td> <td>100,000</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>20,434,000</td> <td>0</td> <td>19,654,212</td> <td>19,654,212</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>1,772,498,000</td> <td>8,475,000</td> <td>1,772,402,530</td> <td>1,763,932,530</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,793,032,000</td> <td>8,475,000</td> <td>1,792,156,742</td> <td>1,783,686,742</td> </tr> </tbody> </table> ・石巻中学校屋内運動場改修事業費 (単位:円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内訳</th> <th colspan="2">R5予算額</th> <th colspan="2">R5事業費</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>50,000</td> <td>0</td> <td>50,000</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>2,863,000</td> <td>0</td> <td>2,862,088</td> <td>2,862,088</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>256,099,000</td> <td>0</td> <td>256,098,170</td> <td>256,098,170</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>259,012,000</td> <td>0</td> <td>259,010,258</td> <td>259,010,258</td> </tr> </tbody> </table> ・蛇田中学校校舎改修事業費 1 全体事業 (1) 令和3年度 構造体劣化調査 (2) 令和4年度 実施設計・地質調査 (3) 令和5年度 仮設校舎建設 (4) 令和6年度から令和7年度 改修工事 2 科目別予算額・事業費内訳 (単位:円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内訳</th> <th colspan="2">R5予算額</th> <th colspan="2">R5事業費</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施設計</td> <td>41,290,000</td> <td>41,290,000</td> <td>41,181,200</td> <td>41,181,200</td> </tr> <tr> <td>借上料</td> <td>2,400,000</td> <td>0</td> <td>319,000</td> <td>319,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>43,690,000</td> <td>41,290,000</td> <td>41,500,200</td> <td>41,500,200</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	R5予算額		R5事業費		繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	消耗品費	100,000	0	100,000	100,000	監理	20,434,000	0	19,654,212	19,654,212	工事	1,772,498,000	8,475,000	1,772,402,530	1,763,932,530	計	1,793,032,000	8,475,000	1,792,156,742	1,783,686,742	内訳	R5予算額		R5事業費		繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	消耗品費	50,000	0	50,000	50,000	監理	2,863,000	0	2,862,088	2,862,088	工事	256,099,000	0	256,098,170	256,098,170	計	259,012,000	0	259,010,258	259,010,258	内訳	R5予算額		R5事業費		繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	実施設計	41,290,000	41,290,000	41,181,200	41,181,200	借上料	2,400,000	0	319,000	319,000	計	43,690,000	41,290,000	41,500,200	41,500,200
	内訳	R5予算額		R5事業費																																																																																					
		繰越分	現年度分	繰越分	現年度分																																																																																				
	消耗品費	100,000	0	100,000	100,000																																																																																				
監理	20,434,000	0	19,654,212	19,654,212																																																																																					
工事	1,772,498,000	8,475,000	1,772,402,530	1,763,932,530																																																																																					
計	1,793,032,000	8,475,000	1,792,156,742	1,783,686,742																																																																																					
内訳	R5予算額		R5事業費																																																																																						
	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分																																																																																					
消耗品費	50,000	0	50,000	50,000																																																																																					
監理	2,863,000	0	2,862,088	2,862,088																																																																																					
工事	256,099,000	0	256,098,170	256,098,170																																																																																					
計	259,012,000	0	259,010,258	259,010,258																																																																																					
内訳	R5予算額		R5事業費																																																																																						
	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分																																																																																					
実施設計	41,290,000	41,290,000	41,181,200	41,181,200																																																																																					
借上料	2,400,000	0	319,000	319,000																																																																																					
計	43,690,000	41,290,000	41,500,200	41,500,200																																																																																					
成果	老朽化が著しく進行している石巻中学校校舎等について改修工事を実施し、生徒の安全・安心かつ良好な学習環境の整備が図られた。蛇田中学校校舎においては、設計を実施、仮設校舎を建設し、令和6年度に着手する改修工事に向けた準備が図られた。																																																																																								
成果に係る評価	市内の学校施設は、建設後相当年数が経過しており、老朽化が進行している。今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」に基づき、計画的に整備を図っていく必要がある。																																																																																								
予算の執行状況	(単位:円)																																																																																								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																			
	2,095,734,000	2,092,667,200	653,941,000	1,361,800,000	61,000,000	15,926,200																																																																																			

予算科目	10 款	教育費	事業名	学校施設大規模改造事業																																												
	3 項	中学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																											
	3 目	学校建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進																																											
	事業	青葉中学校大規模改造事業費		(2)	安全安心な学校施設整備を推進する																																											
担当部課	教育委員会学校管理課		実施計画掲載ページ	P 88																																												
目的及び事業内容	青葉中学校校舎は、平成2年に建設され30年以上経過し老朽化が進行しているため、将来的に長寿命化を図る建物を健全な状態に保つための予防的な工事の実施と、バリアフリー化を併せて行う。																																															
取組実績	令和5年度は、大規模改造改築工事に着手した。 1 全体事業 (1) 令和3年度から令和4年度 改修設計 (2) 令和5年度から令和6年度 大規模改造工事 2 科目別予算額・事業費内訳 (単位:円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内訳</th> <th colspan="2">R5予算額</th> <th colspan="2">R5事業費</th> <th colspan="2">R6繰越分</th> </tr> <tr> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> <th>繰越分</th> <th>現年度分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>100,000</td> <td>0</td> <td>100,000</td> <td>100,000</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>監理</td> <td>1,810,000</td> <td>0</td> <td>1,810,000</td> <td>1,810,000</td> <td>0</td> <td>1,810,000</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>167,000,000</td> <td>93,688,500</td> <td>93,688,500</td> <td>73,311,000</td> <td>73,311,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>168,910,000</td> <td>93,688,500</td> <td>93,788,500</td> <td>75,121,000</td> <td>75,121,000</td> <td>1,810,000</td> </tr> </tbody> </table>							内訳	R5予算額		R5事業費		R6繰越分		繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	消耗品費	100,000	0	100,000	100,000	0	0	監理	1,810,000	0	1,810,000	1,810,000	0	1,810,000	工事	167,000,000	93,688,500	93,688,500	73,311,000	73,311,000	0	計	168,910,000	93,688,500	93,788,500	75,121,000	75,121,000	1,810,000
	内訳	R5予算額		R5事業費		R6繰越分																																										
		繰越分	現年度分	繰越分	現年度分	繰越分	現年度分																																									
	消耗品費	100,000	0	100,000	100,000	0	0																																									
監理	1,810,000	0	1,810,000	1,810,000	0	1,810,000																																										
工事	167,000,000	93,688,500	93,688,500	73,311,000	73,311,000	0																																										
計	168,910,000	93,688,500	93,788,500	75,121,000	75,121,000	1,810,000																																										
成果	老朽化が著しく進行している青葉中学校校舎について、大規模改造改築工事に着手した。																																															
成果に係る評価	市内の学校施設は、建設後相当年数が経過しており、老朽化が進行している。今後も、令和2年度に策定した「学校施設整備保全計画」を基に、計画的な整備を図っていく。																																															
予算の執行状況	(単位:円)																																															
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	93,789,000	93,788,500	25,515,000	64,700,000	0	3,573,500																																										

予算科目	10 款	教育費	事業名	桜坂高等学校の魅力ある学校づくり事業																																			
	4 項	高等学校費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																		
	1 目	学校管理費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実																																		
	事業	魅力ある学校づくり事業費		(1)	学校教育の充実を図る																																		
担当部課	教育委員会学校教育課	実施計画掲載ページ		P91																																			
目的及び事業内容		【事業内容】生徒の人間力を高め、一人一人の夢を実現させるために、桜坂高校が掲げる教育の三本柱である「品格教育」、「キャリア教育」、「学力保証」を実践し、必要な事業を実施する。 【事業目的】県内唯一の公立女子高等学校として、特色ある教育活動に取り組むことで、石巻市の未来を担う人材の育成・輩出を目指す。																																					
取組実績		1 各種講座等 <table border="0"> <tr> <td>(1) 小笠原流礼法指導</td> <td>全学年 各1回実施</td> </tr> <tr> <td>(2) 進学・就職のための各種講座</td> <td>年間 14回実施</td> </tr> <tr> <td>ア 模擬面接</td> <td>14回実施</td> </tr> <tr> <td>イ お仕事サロン (1、2学年)</td> <td>5回実施</td> </tr> <tr> <td>ウ ビジネスマナー講座</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(3) 先輩の話を聞く会 (1、2学年)</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(4) 親教育講話 (3学年)</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(5) 桜坂タイム関連講座 (全学年)</td> <td>39回実施</td> </tr> <tr> <td>ア フィールドワーク (1学年)</td> <td>8回実施</td> </tr> <tr> <td>イ 個人探究活動 (2学年)</td> <td>26回実施</td> </tr> <tr> <td>ウ ミライプラリー (3学年)</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>エ SDGs で地方創生を考える (1学年)</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>オ 働く意義「職業人に聞く」 (3学年)</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>カ 探究講話 (1学年)</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>キ アカデミックインターンシップ (2学年)</td> <td>1回実施</td> </tr> <tr> <td>(6) 高大連携出前講座 (1、2、3学年)</td> <td>1回実施</td> </tr> </table> 2 進路ガイダンス参加 ※ハローワーク主催の合同企業説明会1回、桜坂高校独自に合同企業説明会を1回開催 3 大学・短大見学会 施設見学及び模擬授業受講 (1学年) 1日実施						(1) 小笠原流礼法指導	全学年 各1回実施	(2) 進学・就職のための各種講座	年間 14回実施	ア 模擬面接	14回実施	イ お仕事サロン (1、2学年)	5回実施	ウ ビジネスマナー講座	1回実施	(3) 先輩の話を聞く会 (1、2学年)	1回実施	(4) 親教育講話 (3学年)	1回実施	(5) 桜坂タイム関連講座 (全学年)	39回実施	ア フィールドワーク (1学年)	8回実施	イ 個人探究活動 (2学年)	26回実施	ウ ミライプラリー (3学年)	1回実施	エ SDGs で地方創生を考える (1学年)	1回実施	オ 働く意義「職業人に聞く」 (3学年)	1回実施	カ 探究講話 (1学年)	1回実施	キ アカデミックインターンシップ (2学年)	1回実施	(6) 高大連携出前講座 (1、2、3学年)	1回実施
(1) 小笠原流礼法指導	全学年 各1回実施																																						
(2) 進学・就職のための各種講座	年間 14回実施																																						
ア 模擬面接	14回実施																																						
イ お仕事サロン (1、2学年)	5回実施																																						
ウ ビジネスマナー講座	1回実施																																						
(3) 先輩の話を聞く会 (1、2学年)	1回実施																																						
(4) 親教育講話 (3学年)	1回実施																																						
(5) 桜坂タイム関連講座 (全学年)	39回実施																																						
ア フィールドワーク (1学年)	8回実施																																						
イ 個人探究活動 (2学年)	26回実施																																						
ウ ミライプラリー (3学年)	1回実施																																						
エ SDGs で地方創生を考える (1学年)	1回実施																																						
オ 働く意義「職業人に聞く」 (3学年)	1回実施																																						
カ 探究講話 (1学年)	1回実施																																						
キ アカデミックインターンシップ (2学年)	1回実施																																						
(6) 高大連携出前講座 (1、2、3学年)	1回実施																																						
成果		1 各種講座等について ・女子校としての特色を生かす地域人材の積極的な活用により、魅力ある学校づくりを推進し、多様な進路の実現を目指す「品格教育」、「キャリア教育」、「学力保証」の充実を図ることができた。 ・進路に関する講座を通じて、勤労観・職業観を育み、「自己実現力」の向上を図ることができた。 ・「桜坂タイム」では、地域資源を活用し、地域社会に貢献できる人材の育成を図ることができた。 ・女子校としての特色を生かす地域人材の積極的な活用により、魅力ある学校づくりが推進できた。 2 進路ガイダンスの参加について ・桜坂高校独自の企業説明会は好評であり、学校と地元企業との良好な信頼関係を構築できた。 ・就職指導支援員の活用により、就職内定率は100%、管内企業への就職率は、51.3%であった。 3 大学・短大見学会について 1年次から大学見学や高等教育の授業を聴講することにより、進学に対する意欲の発揚を促し、主体的に学びに向かう態度を育成することができた。																																					
成果に係る評価		本事業を通じて、桜坂高校の教育の三本柱である「品格教育」、「キャリア教育」、「学力保証」を実践することにより「魅力ある学校づくり」を推進することができた。一方で、令和6年度入学者選抜においては、定員充足率が74.4%と前年比10%増加に転じたが、定員割れが続いている。更なる「学校の魅力向上」を目指すために、多様な進路の実現と地元へ貢献する人材の育成を目指し、進路学習の一層の充実を図る。併せて、小中学校との交流やオープンキャンパス等を通じて「女子校の特色を前面に出した魅力の発信」に努め、定員の確保につなげる必要がある。																																					
(単位：円)																																							
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																		
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	3,429,000		3,034,251				3,000,000	34,251																															

予算科目	10 款	教育費	事業名	私立幼稚園運営費助成事業															
	5 項	幼稚園費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち														
	1 目	幼稚園費		第 2 節	社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実														
	事業	私立幼稚園運営費助成費		(4)	就学に係る支援を強化する														
担当部課	教育委員会教育総務課	実施計画掲載ページ		P93															
目的及び事業内容		市内で開園している私立幼稚園の設置者に対し、運営費の一部を助成することにより、義務教育就学前の幼児教育振興に寄与している私立幼稚園の健全な経営及び保護者の負担軽減を図る。 ・私立幼稚園運営費の助成 <table border="0"> <tr> <td>幼稚園割</td> <td>1園</td> <td>160,000円</td> </tr> <tr> <td>職員割</td> <td>1人</td> <td>30,000円</td> </tr> <tr> <td>園児割</td> <td>1人</td> <td>1,200円</td> </tr> </table>						幼稚園割	1園	160,000円	職員割	1人	30,000円	園児割	1人	1,200円			
幼稚園割	1園	160,000円																	
職員割	1人	30,000円																	
園児割	1人	1,200円																	
取組実績		市内で開園している私立幼稚園設置者に対し、運営費の一部の助成を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>運営費補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>法山寺幼稚園</td> <td>487,600円</td> </tr> <tr> <td>石巻みづほ幼稚園</td> <td>844,000円</td> </tr> <tr> <td>ひばり幼稚園</td> <td>1,159,600円</td> </tr> <tr> <td>長浜幼稚園</td> <td>721,600円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,212,800円</td> </tr> </tbody> </table>						区分	運営費補助金	法山寺幼稚園	487,600円	石巻みづほ幼稚園	844,000円	ひばり幼稚園	1,159,600円	長浜幼稚園	721,600円	合計	3,212,800円
区分	運営費補助金																		
法山寺幼稚園	487,600円																		
石巻みづほ幼稚園	844,000円																		
ひばり幼稚園	1,159,600円																		
長浜幼稚園	721,600円																		
合計	3,212,800円																		
成果		義務教育就学前の幼児教育を担う私立幼稚園の健全な運営及び保護者の負担軽減に資することができた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>運営費補助金</th> <th>園数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>3,496,000円</td> <td>4園</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>3,259,600円</td> <td>4園</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>3,212,800円</td> <td>4園</td> </tr> </tbody> </table>						年度	運営費補助金	園数	R3	3,496,000円	4園	R4	3,259,600円	4園	R5	3,212,800円	4園
年度	運営費補助金	園数																	
R3	3,496,000円	4園																	
R4	3,259,600円	4園																	
R5	3,212,800円	4園																	
成果に係る評価		私立幼稚園の健全な運営と施設の充実を図るとともに、幼児教育の質の向上を図るため、今後も継続して本事業を実施し、本市の義務教育就学前における幼児教育を推進する必要がある。																	
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳														
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
	3,904,000		3,212,800					3,212,800											

予算科目	10 款	教育費	事業名	家庭教育支援事業				
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち			
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進			
	事業	社会教育事務費		(1)	地域で支える教育活動を支援する			
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P97				
目的及び事業内容								
子育てサポーター及び子育てサポーターリーダーなどの身近な人たちによる「家庭教育支援チーム」を組織し、子育ての悩みを抱えるなど孤立しがちな保護者や家庭に対する支援を行い、保護者が自ら進んで子育てを学ぶことの出来る環境を整える。								
取組実績	1 親子参加型の活動（子育てサロン）							
	年度	実施期間	実施回数	参加人数				
	R3	R3.5～R4.3	16回	延べ	87組	200人		
	R4	R4.5～R5.3	20回	延べ	159組	362人		
	R5	R5.5～R6.3	19回	延べ	137組	344人		
	2 親の学び講座（親対象）							
	年度	実施期間	実施回数	参加人数	備 考			
	R3	開催中止	—	—	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため			
	R4	R4.9～R4.11	8回	延べ 45人				
	R5	R5.9～R5.11	11回	延べ 56人	体験講座3回含む			
3 親のみちしるべ講座								
年度	実施期間	実施回数	参加人数	備 考				
R3	R3.10～R3.12	2回	延べ 13人					
R4	開催中止	—	—	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため				
R5	R5.6～R6.2	1回	6人					
4 子育てサポーター養成講座								
年度	実施期間	実施回数	参加人数					
R3	R3.5～R3.6	3回	延べ	15人				
R4	R4.5～R4.6	3回	延べ	18人				
R5	R5.5～R5.6	3回	延べ	3人				
成 果	「子育てサロン」は、新型コロナウイルス感染症の5類移行もあり、参加者数も増加する見込みであったが、他のイベントとの重複等もあり、前年度より減少した。しかしながら、事業の縮小等がなかったことから、定期的な子育てサロンの開催により、子育て世代の悩み相談や孤立防止が図られた。「親の学び講座」は、8週連続で集中的に学ぶ子育て講座として開催。受講者が意欲的に参加しており、気分転換のために簡単なゲームなどを行いつつ、お互いの近況を話したり困っていることを共有することで、子育てのスキルアップ、親同士の新たなコミュニティ形成などの成果が見られ、子育ての悩みの解消の一助とすることができた。また、体験講座として1回限りの講座を設けることで、より気軽に参加できる機会を提供することができた。「親のみちしるべ講座」は、保護者の心のケアや安心の回復と子育ての孤立等の社会的課題の解決を図り、地域全体で子育て中の親の支援ができる環境づくりを進めるプログラムを実施することができた。「子育てサポーター養成講座」は、県教育委員会と連携し、東部教育事務所管内で実施。子育て支援の専門家の講話等になっており、参加者が子育ての喜びを改めて感じたり悩みの解決方法に気付くことにより、新たなネットワーク構築を図ることができた。							
成果に係る評価	子育て世帯の孤立化解消や親子の心のケア、親同士のコミュニティ形成、次世代の子育て支援・家庭教育支援を担う人材の育成が図られており、また、家庭教育支援チーム員として、参加者を支援者へと繋げる循環型の育成にもつながっており、「家庭はすべての教育の出発点」であるとも言われていることから、今後も継続した取組が必要である。今後は、親の道しるべ講座等を学校と共催し、より多くの市民に事業を周知していくとともに、子育て団体との連携も深めながら対応していく。							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	553,000	394,791	262,000			132,791		

予算科目	10 款	教育費	事業名	少年指導者育成事業				
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち			
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進			
	事業	少年指導者育成費		(2)	青少年の健全な成長を支援する			
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P97				
目的及び事業内容								
子ども会活動等地域における望ましい体験活動の指導・支援を行う青年ボランティアとしてのジュニア・リーダー及びインリーダーの育成を通して、青少年の健全育成を図る。宮城県教育委員会が定める「ジュニア・リーダー初級研修内容」に準拠した研修会を開催し、ジュニア・リーダー（中学生）を養成するとともに、受講修了者には宮城県教育委員会が発行するジュニア・リーダー手帳を授与するほか、資質向上のため、各種研修の機会を提供する。								
取組実績	1 ジュニア・リーダー育成のための研修会の実施、支援							
	(1) ジュニア・リーダー初級研修会の主催							
		事業名	開催日		実施場所	修了者		
	1	初級研修会	7月27日(木)～7月28日(金) 1泊2日で開催		花山青少年自然の家	23人		
	(2) ジュニア・リーダー中級研修会及び上級研修会への参加支援							
		事業名	開催日		実施場所	修了者		
	1	中級研修会	8月17日(木)・18日(金) 1泊2日で開催		松島自然の家	6人		
	2	上級研修会	12月23日(土)～25日(月) 2泊3日で開催		志津川自然の家	3人		
	2 ジュニア・リーダーのボランティア活動支援							
	各地区のサークルに所属するジュニア・リーダーは、市内子ども会育成会や各種団体等から派遣の要請を受け、子どもたちの指導を行っている。団体による申請数：31回 派遣したジュニア・リーダー数(延べ)：76人 会員数：27人							
3 ジュニア・リーダー会員の募集支援								
市内全中学校の生徒に初級研修会の募集要項を配布したほか、会員による口コミ活動を修了者に実施するとともに、各サークルにおいて新規会員募集チラシを配布した。								
成 果	令和4年度と比較し、初級研修会の受講生が大幅に増加した。また、初級研修会をはじめ、各種研修会を開催することにより、ジュニア・リーダー相互の交流と資質向上が図られた。各サークルへの派遣要請も令和4年度よりも増え、徐々に活動の範囲も広がってきたことにより、子どもや地域の人たちと関わる様々な体験活動や研修等を通して、地域活動へ積極的に参加していく意欲と実践力を身に付けることに寄与しており、また、相互に学び合う機会が増え、各種団体からの派遣要請及び公民館事業に積極的に関わることで、活動内容の充実と資質の向上へとつながっている。							
成果に係る評価	ジュニア・リーダーの活動は、派遣事業においてスタッフとともに来訪者への対応や地域住民への働きかけなど積極的な姿勢が見られ、子どもたちの健全育成及び子ども会活動の活性化を図ることにつながっているため、今後も事業を継続する必要がある。そのため、令和5年度は、社会教育主事有資格者のいる学校への打診や、校長会等を通じて参加への呼び掛けを強化した。今後も、ジュニア・リーダー会員の新規獲得に向けた周知の強化、なかまづくりの広域化を視野に入れ、効果的な活動を推進するため、学校や各公民館ジュニア・リーダー担当者に加え、各市町の担当者とも連携を図りながら事業を展開していく。							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	419,000	349,462				349,462		

予算科目	10 款	教育費	事業名	街なか文化・芸術活動活性化助成金交付事業																		
	6 項	社会教育費	総合計画	第 4 章	多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち																	
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域資源を活かした観光事業の振興																	
	事業	芸術文化振興費		(1)	地域資源を活用した観光誘客を推進する																	
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 79																		
目的及び事業内容	中心市街地において文化・芸術活動を行う団体に対し活動費用の助成を行うことにより、中心市街地の文化芸術活動の拠点としての機能強化を図る。																					
取組実績	令和4年度に引き続き募集を行い、対象となる活動に対し、助成率3/4以内、10万円を上限に助成金を交付した。 【交付実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>助成件数</th> <th>助成金額</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>4件</td> <td>343,000円</td> <td>329人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>8件</td> <td>799,000円</td> <td>1,169人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>11件</td> <td>1,061,000円</td> <td>1,095人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	助成件数	助成金額	参加人数	R3	4件	343,000円	329人	R4	8件	799,000円	1,169人	R5	11件	1,061,000円	1,095人
年度	助成件数	助成金額	参加人数																			
R3	4件	343,000円	329人																			
R4	8件	799,000円	1,169人																			
R5	11件	1,061,000円	1,095人																			
成果	助成金の交付により、上映会やアートパフォーマンス、ワークショップなどが開催され、中心市街地における芸術文化活動の活性化の一助となった。																					
成果に係る評価	年々、本事業の認知度が上がり、活用実績が伸びてきており、中心市街地における文化芸術活動の活性化が図られてきている。 今後は、類似事業との統合に向け調整を進めるとともに、統合後も中心市街地における文化活動の支援を継続できるよう、関係機関との連携に努めていく。																					
予算の執行状況	(単位：円)																					
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
	2,000,000	1,061,000				1,061,000																

予算科目	10 款	教育費	事業名	市美術展実施事業																																
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																															
	1 目	社会教育総務費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																															
	事業	芸術文化振興費		(1)	生涯学習環境を強化する																															
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 98																																
目的及び事業内容	美術を通して、本市における芸術文化の向上と市民の教養を高めるため、県内外から書・洋画・日本画・彫刻・陶芸の5部門において作品を公募する美術展を開催する。																																			
取組実績	○第38回石巻市美術展の概要 1 開催期間 令和5年10月1日(日)～10月9日(月・祝) 2 開催場所 マルホンまきあーとテラス (小ホール、小ホールホワイエ、市民ギャラリー、アトリエ) 3 出品点数 244点(書133点・洋画53点・日本画35点・彫刻6点・陶芸17点) 4 観覧者数 2,083人 5 審査日 令和5年9月26日(火) 6 受賞者 48人 7 開場式 令和5年10月1日(日)午前10時 (会場：マルホンまきあーとテラス 小ホールホワイエ前) 8 授賞式 令和5年10月1日(日)午前10時半 (会場：マルホンまきあーとテラス 大研修室)																																			
成果	美術展の開催により、多くの市民等へ作品発表の場及び芸術鑑賞の機会を提供することができた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>出品数</th> <th>観覧者数</th> <th>開催日数</th> <th>1日平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>237点</td> <td>912人</td> <td>6日</td> <td>152人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">中止</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>252点</td> <td>1,961人</td> <td>8日</td> <td>245人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>223点</td> <td>1,966人</td> <td>9日</td> <td>218人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>244点</td> <td>2,083人</td> <td>9日</td> <td>231人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	出品数	観覧者数	開催日数	1日平均	R1	237点	912人	6日	152人	R2	中止				R3	252点	1,961人	8日	245人	R4	223点	1,966人	9日	218人	R5	244点	2,083人	9日	231人
年度	出品数	観覧者数	開催日数	1日平均																																
R1	237点	912人	6日	152人																																
R2	中止																																			
R3	252点	1,961人	8日	245人																																
R4	223点	1,966人	9日	218人																																
R5	244点	2,083人	9日	231人																																
成果に係る評価	多くの方々に出品いただき、また、多くの方々に観覧いただいており、芸術文化活動の振興と鑑賞体験による教養の深化が図られてきている。 今後は、さらに、より多くの市民に芸術文化に触れていただけるよう、事業周知を強化していきたい。																																			
予算の執行状況	(単位：円)																																			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																														
	360,000	360,000				360,000																														

予算科目	10 款	教育費	事業名	青少年文化芸術鑑賞事業			
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち		
	1 目	社会教育総務費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進		
	事業	芸術文化振興費		(1)	生涯学習環境を強化する		
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 98			
目的及び事業内容							
芸術鑑賞の機会に恵まれない地域の児童生徒に対し、優れた芸術を鑑賞、体験してもらうことにより、豊かな情操を養うため、青少年劇場小公演、巡回小劇場、文化芸術による子供の育成事業により、希望する小中学校に対して、本物の芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供する。							
取組実績	1 巡回小劇場						
	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数			
	10月17日	河北中学校	「ハンガリーの風」コンサート	河北中学校（生徒115人）			
	10月18日	蛇田小学校	「ハンガリーの風」コンサート	蛇田小学校（児童233人）			
	10月18日	桃生中学校	「ハンガリーの風」コンサート	桃生中学校（生徒153人）			
	2 青少年劇場小公演						
	開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数			
	9月25日	広瀬小学校	「オーボエとヴァイオリン」デュオコンサート	広瀬小学校（児童94人）			
	11月2日	大街道小学校	はなしの伝統芸能「落語」	大街道小学校（児童58人）			
	11月2日	中津山第二小	はなしの伝統芸能「落語」	中津山第二小（児童100人）			
3 文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）							
開催日	場所	公演内容	鑑賞学校・鑑賞人数				
6月28日	大谷地小学校	オペラ「口はロボットの口」	大谷地小学校（児童102人）				
11月14日	貞山小学校	バレエ「クラシックバレエの世界へようこそ」	貞山小学校（児童153人）				
成果							
プロの生演奏や芝居といった優れた文化芸術を生で鑑賞する機会を提供することから、実施校からは高い評価を得ており、児童生徒が鑑賞する楽しさや表現することの喜びを体験し、豊かな情操を育むことができた。 また、実施校からの報告書、鑑賞した児童生徒の様子、事後アンケートの内容からは、座学では学ぶことのできない学びが得られた、表現力や語彙力、さらには聞いた物語を想像する力の大切さを教えていただくなど、今後の教育活動にも生かすことができる力を学ぶことができたという記載もあるなど、それぞれの公演内容の教育的効果から、高い評価が得られている。							
成果に係る評価							
関係団体との連携により、子供の育成事業において、質の高い文化芸術を児童生徒に提供することができた。 本事業は、優れた文化芸術を生で鑑賞するよい機会であり、子どもたちの豊かな情操を育むためにも継続が必要な事業であることから、今後も関係団体等との連携により、継続して実施していく。							
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,439,000	1,326,000			1,000,000	326,000	

予算科目	10 款	教育費	事業名	文化芸術事業			
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち		
	1 目	社会教育総務費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進		
	事業	芸術文化振興費		(1)	生涯学習環境を強化する		
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 99			
目的及び事業内容							
芸術文化振興を図るとともに、芸術文化がもたらす心豊かで活力ある地域づくりなど、社会に貢献できる活動を推進するため、本市の文化芸術事業を牽引し、そのノウハウに長けた公益財団法人石巻市芸術文化振興財団へ業務委託し、良質な芸術鑑賞等の文化活動を展開する。							
取組実績	○ 事業内容						
	事業名		内容	回数	参加人数		
	1 公演鑑賞事業		コンサート等	4回	1,393人		
	2 移動鑑賞事業		歌舞伎鑑賞	1回	40人		
	3 育成事業		演劇ワークショップ、演奏体験等	38回	2,736人		
	・クリスタルピアノ体験演奏会事業						
	・小中高等学校等アウトリーチ事業						
	・まきあーとテラス舞台スタッフ体験事業 など						
	合 計			43回	4,169人		
	成果						
市民に質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供し、また、市民の参加・体験を通じた意欲の醸成により、芸術文化の活性化が図られた。							
年度		実施回数			参加人数		
	目標値	実績等	達成率	目標値	実績等	達成率	
R3	25回	16回	64.0%	4,500人	3,698人	82.1%	
R4	25回	22回	88.0%	4,500人	4,346人	96.5%	
R5	25回	43回	172.0%	4,500人	4,169人	92.6%	
成果に係る評価							
事業実施回数については、目標値を大きく超えたものの、参加者数は目標値を下回っていることから、事業内容について、市民ニーズを踏まえ、芸術文化活動推進に取り組んでいく。							
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	5,000,000	4,999,500			4,999,500		

予算科目	10 款	教育費	事業名	市民の文化芸術活動に対するサポート事業					
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち				
	1 目	社会教育総務費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進				
	事業	芸術文化振興費		(1)	生涯学習環境を強化する				
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 99					
目的及び事業内容	芸術文化は、感動や生きる喜びをもたらす、人生を豊かにするものであるとともに、市民の郷土に対する愛着や誇りの醸成にも大きな役割を果たすものであることから、伝統文化の継承をはじめ、文化活動の振興のほか、市民の芸術文化の向上のための活動を行っている石巻市文化協会を支援し、活動の活性化に資する。								
取組実績	1 石巻市文化協会の概要								
	名称		設立年月日	設立趣意					
	石巻市文化協会		平成17年6月18日	石巻圏の伝統文化の継承・文化活動の振興・文化創造の推進・市民の芸術文化の向上					
	2 主な事業								
開催日		事業内容							
5月28日		カンタータ「大いなる故郷 石巻」							
7月16日		第40回「県北合唱祭」							
11月11日～12日		第26回「みやぎ県民文化祭」							
11月18日		石巻地区文連「研修会」							
12月6日		第42回宮城県文連「運営研修会」							
3月23日～24日		令和5年度第28回「石巻芸術文化祭」・第14回「石巻市合同文化祭」							
3 補助金交付 市内7地区の文化協会への運営補助金として、統括する石巻市文化協会へ補助金を交付した。									
成果	補助金を交付することで石巻市文化協会の運営のための会員を確保することができ、芸術文化の普及、振興と向上に寄与するための活動を行う人々のサポートが図れた。								
	1 各地区ごとの団体数及び会員数								
	地区	石巻		河北		雄勝		河南	
		団体	会員	団体	会員	団体	会員	団体	会員
R1	57団体	1,591人	29団体	252人	9団体	93人	28団体	380人	
R2	57団体	1,557人	30団体	277人	9団体	88人	25団体	335人	
R3	51団体	1,284人	29団体	254人	10団体	96人	23団体	438人	
R4	54団体	1,305人	25団体	220人	8団体	114人	18団体	340人	
R5	55団体	1,319人	20団体	146人	8団体	105人	16団体	387人	
地区	桃生		北上		牡鹿		合計		
	団体	会員	団体	会員	団体	会員	団体	会員	
R1	22団体	286人	8団体	41人	5団体	78人	158団体	2,721人	
R2	23団体	329人	8団体	41人	5団体	87人	157団体	2,714人	
R3	22団体	273人	8団体	41人	5団体	87人	148団体	2,473人	
R4	19団体	258人	5団体	30人	5団体	87人	134団体	2,354人	
R5	18団体	245人	3団体	33人	5団体	87人	125団体	2,322人	
成果に係る評価	石巻圏域の芸術文化活動、芸術文化の発展を推進するため、今後も継続して支援していく必要がある。会員の高齢化や後継者不足の加速、コロナ禍による活動制限を起因とした、活動再開へのハードルなどがあることから、加盟団体数の増加を促すとともに、芸術文化活動の発展へ向け、その活動を支援していく。								
予算の執行状況	(単位：円)								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
	1,619,000	1,618,250					1,618,250		

予算科目	10 款	教育費	事業名	家庭教育学級開設事業				
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進			
	事業	家庭教育学級開設費		(1)	地域で支える教育活動を支援する			
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 97				
目的及び事業内容	保護者等を対象に家庭や親のあり方、子育て、子どもの心身の成長、家庭環境等に関する学習機会を提供し、家庭における教育力の向上を図るとともに、参加者相互の交流を通して連帯意識の高揚を図る。 実施機関（幼稚園、保育所・学校単位）ごとに、中学校は1回以上、他の実施機関は複数回の開催とする。講話、講演、討議、実技など多様な学習方法により、親のあり方や発達段階に応じて正しい指導ができるようにするなどの学習内容とするとともに、受講生の学習ニーズに配慮し開設する。							
取組実績	学校や地域との連携を深め、地域のニーズに対応した講師や内容を検討し、充実した効果的な事業を行うことで、子育てのあり方や家庭教育の重要性について認識が深まった。 1 開設機関 各地区（石巻、河北、雄勝、河南、桃生、北上、牡鹿）の公民館等 2 実施機関 各地区の幼稚園（私立含む）、保育所（私立含む）、小学校、中学校 3 開設状況							
	開設機関区分		実施機関数	実施回数	参加者数			
	石巻地区		33 機関	73 回	4,741 人			
	河北地区		6 機関	10 回	522 人			
雄勝地区		2 機関	3 回	72 人				
河南地区		11 機関	20 回	949 人				
桃生地区		5 機関	12 回	387 人				
北上地区		3 機関	4 回	187 人				
牡鹿地区		4 機関	5 回	122 人				
計		64 機関	127 回	6,980 人				
成果	前年度と比較すると実施機関は4機関の増、実施回数も25回の増であった。受講生の評価ポイントも高く、目標値を概ね達成した。							
	年度	活動指標（実施機関数）		達成率				
		目標値	実績					
	R4	88機関	60機関	68.1%				
R5	88機関	64機関	72.7%					
年度	成果指標（受講生評価ポイント）		達成率					
	目標値	実績						
R4	95ポイント	93.8ポイント	98.7%					
R5	95ポイント	93.6ポイント	98.5%					
成果に係る評価	本事業は、身近な地域における家庭教育支援の基盤となる事業であり、実施機関では年間行事を踏まえ、それぞれ工夫しながら学習会を開催している状況である。 活動指標としている実施機関数は目標値に達しないものの前年度より4機関増加しており、目標達成に向け今後も未開設の公立保育所及び私立幼稚園・保育園への働き掛けを継続していくこととしている。 また、これまでも事業内容については工夫や改善を検討しているが、受講生の評価ポイントが若干低下したことから、更なる工夫と魅力ある講座内容を引き続き検討する。							
予算の執行状況	(単位：円)							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	980,000	528,000	352,000			176,000		

予算科目	10 款	教育費	事業名	ブックスタート事業															
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち														
	1 目	社会教育総務費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進														
	事業	子ども読書活動推進費		(2)	読書の推進・環境を整備する														
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 100															
目的及び事業内容		乳幼児期からの家庭における読書活動の推進方策の一環として、3・4か月児健診の機会に乳幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせを行い、絵本を介して赤ちゃんと家族のコミュニケーションを豊かにし、子どもの言語能力と豊かな心を育てる。また、保護者に対して絵本の選び方や読み聞かせの方法について啓発資料等を配布し、読書活動の啓発を図る。 3・4か月児健診（本庁、河北、河南地区）時にボランティアの読み聞かせを実施し、ブックスタートバック（絵本、読書の手引き、図書館の案内等）を配布するとともに、ボランティアのスキルアップを図るための研修会を開催する。																	
取組実績		新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、健康推進課で行っている3・4か月児健診において、乳児と保護者に対するボランティアによる読み聞かせを令和2年度から中止していたが、令和5年6月から再開し、併せてブックスタートバックを配布した。 また、読み聞かせに関する基本的知識と技能の習得を通して、子どもの読書活動を推進する担い手の資質向上、地域における子どもの読書活動を推進する関係者間のネットワークづくりのため、ボランティア向け研修会を3回開催した。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブックスタートバック配布数</td> <td>700セット</td> <td>670セット</td> <td>582セット</td> </tr> <tr> <td>ブックスタートボランティア会員数</td> <td>18人</td> <td>17人</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table>						年 度	R3	R4	R5	ブックスタートバック配布数	700セット	670セット	582セット	ブックスタートボランティア会員数	18人	17人	18人
年 度	R3	R4	R5																
ブックスタートバック配布数	700セット	670セット	582セット																
ブックスタートボランティア会員数	18人	17人	18人																
成 果		ボランティアによる読み聞かせやブックスタートバックの配布により、保護者に対して乳幼児期からの読書活動の啓蒙が図られた。配布時のアンケートによると「ブックスタートにより、子どもへの読み聞かせにつながる」と100%の保護者が回答している。																	
成果に係る評価		乳幼児期からの家庭における読書活動の推進に向けて、今後も引き続き事業を継続する必要がある。また、これまで、スタートバック配布時のアンケートのみ実施していたため、その後、実際に子どもの読み聞かせが継続していることの確認ができていなかったことから、アンケートの実施時期を改めて調査していくこととしている。																	
(単位：円)																			
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳															
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
		1,465,000	1,255,280	28,000		1,000,000	227,280												

予算科目	10 款	教育費	事業名	協働教育推進事業																																																																
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																																															
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進																																																															
	事業	協働教育推進事業費		(1)	地域で支える教育活動を支援する																																																															
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 96																																																																
目的及び事業内容		「子どもたちの抱えるいじめ、不登校、学力や体力の低下等の諸問題の解決」並びに「生きる力をはぐくむ教育活動の充実・改善」という課題解決に向け、「学校・地域・家庭が、それぞれの機能を果たしながら協働し、社会の中でたくましく生きる子どもたちを地域全体ではぐくむ協働教育」を推進するとともに、学校・地域・家庭を繋ぎ、協働した教育活動を実施する。																																																																		
取組実績		○ 協働教育推進事業 活動実績（市内10小学校区推進協議会で実施） <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>学校区名</th> <th>事業内容</th> <th>事業回数</th> <th>参加ボランティア延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>須江小学校区</td><td>須江獅子舞伝承活動、盲導犬体験、内モンゴル交流活動</td><td>59回</td><td>260人</td></tr> <tr><td>2</td><td>北村小学校区</td><td>旭山首頭練習会、手作り弁当調理実習、まち探検</td><td>70回</td><td>348人</td></tr> <tr><td>3</td><td>桃生小学校区</td><td>稲作体験、はねこ踊り伝承活動、祖父母交流会</td><td>18回</td><td>108人</td></tr> <tr><td>4</td><td>住吉中学校区</td><td>喫煙防止教室、地域の方々の話を聞く会、性教育講話</td><td>10回</td><td>956人</td></tr> <tr><td>5</td><td>湊中学校区</td><td>S D G s を視野に入れた畑作り、魚料理教室、親子奉仕作業</td><td>140回</td><td>235人</td></tr> <tr><td>6</td><td>石巻小学校区</td><td>B F C 活動、サツマイモ苗植え、防災マップ作り</td><td>16回</td><td>36人</td></tr> <tr><td>7</td><td>住吉小学校区</td><td>キャップハンディ体験、プログラミング研修会、科学教室</td><td>229回</td><td>1,257人</td></tr> <tr><td>8</td><td>広瀬小学校区</td><td>鹿嶋ばやし指導、さつまいも栽培、お正月教室</td><td>47回</td><td>105人</td></tr> <tr><td>9</td><td>鮎川小学校区</td><td>子ども七福神舞、牡鹿銀鱧太鼓練習、季節探し（野菜栽培）</td><td>33回</td><td>67人</td></tr> <tr><td>10</td><td>雄勝中学校区</td><td>輪太鼓演奏による表現活動、着衣泳教室、地上絵制作</td><td>34回</td><td>129人</td></tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>合計</td> <td>656回</td> <td>3,501人</td> </tr> </tbody> </table> ○ 協働教育コーディネーターを、市内全32小学校の教職員計32人に委嘱。 ○ 学校支援地域コーディネーターを、市内各小・中学校区の地域住民等計35人に委嘱。							学校区名	事業内容	事業回数	参加ボランティア延べ人数	1	須江小学校区	須江獅子舞伝承活動、盲導犬体験、内モンゴル交流活動	59回	260人	2	北村小学校区	旭山首頭練習会、手作り弁当調理実習、まち探検	70回	348人	3	桃生小学校区	稲作体験、はねこ踊り伝承活動、祖父母交流会	18回	108人	4	住吉中学校区	喫煙防止教室、地域の方々の話を聞く会、性教育講話	10回	956人	5	湊中学校区	S D G s を視野に入れた畑作り、魚料理教室、親子奉仕作業	140回	235人	6	石巻小学校区	B F C 活動、サツマイモ苗植え、防災マップ作り	16回	36人	7	住吉小学校区	キャップハンディ体験、プログラミング研修会、科学教室	229回	1,257人	8	広瀬小学校区	鹿嶋ばやし指導、さつまいも栽培、お正月教室	47回	105人	9	鮎川小学校区	子ども七福神舞、牡鹿銀鱧太鼓練習、季節探し（野菜栽培）	33回	67人	10	雄勝中学校区	輪太鼓演奏による表現活動、着衣泳教室、地上絵制作	34回	129人				合計	656回	3,501人
	学校区名	事業内容	事業回数	参加ボランティア延べ人数																																																																
1	須江小学校区	須江獅子舞伝承活動、盲導犬体験、内モンゴル交流活動	59回	260人																																																																
2	北村小学校区	旭山首頭練習会、手作り弁当調理実習、まち探検	70回	348人																																																																
3	桃生小学校区	稲作体験、はねこ踊り伝承活動、祖父母交流会	18回	108人																																																																
4	住吉中学校区	喫煙防止教室、地域の方々の話を聞く会、性教育講話	10回	956人																																																																
5	湊中学校区	S D G s を視野に入れた畑作り、魚料理教室、親子奉仕作業	140回	235人																																																																
6	石巻小学校区	B F C 活動、サツマイモ苗植え、防災マップ作り	16回	36人																																																																
7	住吉小学校区	キャップハンディ体験、プログラミング研修会、科学教室	229回	1,257人																																																																
8	広瀬小学校区	鹿嶋ばやし指導、さつまいも栽培、お正月教室	47回	105人																																																																
9	鮎川小学校区	子ども七福神舞、牡鹿銀鱧太鼓練習、季節探し（野菜栽培）	33回	67人																																																																
10	雄勝中学校区	輪太鼓演奏による表現活動、着衣泳教室、地上絵制作	34回	129人																																																																
			合計	656回	3,501人																																																															
成 果		令和5年度の実施校は、3年継続した5校が事業から外れ、令和4年度より継続の10校で実施した。実施校では、地域の住民と協働した教育が行われ、児童生徒にとっては、郷土芸能や地場産業などの理解を深める有意義な活動になった。 実施校より提出された成果報告からは、学校と地域が連携・協働することにより、地域の子どもの健やかな成長を支えていることがうかがえた。 協働教育支援会議における実施校の報告及び意見交換は、それぞれの小・中学校区の協働教育を改善・充実させるうえで有益な情報になっている。また、協働教育コーディネーターから提出された各校で実施した協働教育事業について、実践報告集としてとりまとめのうえ、市内全小・中学校に配布しており、協働教育に対する機運向上が図られた。 学校支援地域コーディネーターについては、各種研修会への積極的な参加によるスキルアップを促し、子どもを中心とした地域づくりの担い手としても学校の教育活動の充実に寄与した。																																																																		
成果に係る評価		子どもたちを中心とした多種多様な活動を、学校・家庭・地域が連携して実施していくことで子どもたちの学習活動の質を高め、多様な人との関わりや体験とおした豊かな心の育成が期待出来るだけでなく、普段学校とは関わりの少ない地域住民にも、地域の子どもの存在や学校活動に興味関心をもってもらえる機会でもあり、地域の活性化にも繋がるものであり、継続して取り組んでいく必要がある。 今後は、各小・中学校区に地域コーディネーターとしての資質を備えた人材の配置と育成に努めるとともに、地域学校協働活動をより充実したものにしていくため、学校運営協議会と地域学校協働活動との一体的推進に向けた調整に取り組んでいく。																																																																		
(単位：円)																																																																				
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																													
		2,663,881	1,693,705	1,128,000		565,705																																																														

予算科目	10 款	教育費	事業名	ふるさと子どもカレッジ事業																																								
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																							
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進																																							
	事業	協働教育推進事業費		(1)	地域で支える教育活動を支援する																																							
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P96																																								
目的及び事業内容	地域の企業等の協力のもと、本市の自然・文化・歴史・産業を活かした体験活動を取り入れた講座を開設することにより、子どもたちの豊かな心を育み、自らの故郷について知り、学ぶ機会を創出することを目的とし、市内小学校に通う5・6年生を対象に年間7回程度、各地区の特色を活かした体験活動を実施する。																																											
取組実績	1 参加者数【目標：30人】																																											
	<table border="1"> <tr> <th>地区名</th> <th>石巻</th> <th>河北</th> <th>雄勝</th> <th>河南</th> <th>桃生</th> <th>北上</th> <th>牡鹿</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>17人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>4人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>21人</td> </tr> </table>								地区名	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計	人数	17人	0人	0人	4人	0人	0人	0人	21人																		
地区名	石巻	河北	雄勝	河南	桃生	北上	牡鹿	計																																				
人数	17人	0人	0人	4人	0人	0人	0人	21人																																				
取組実績	2 活動内容等																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>活動内容</th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>開講式 ジュニアリーダーと交流、パークゴルフ体験</td> <td>8/9 (水)</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>地引網漁体験、魚類研究の出前授業</td> <td>8/20 (日)</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>バイオマス発電所見学、発電の仕組みの実験体験</td> <td>9/9 (土)</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>缶詰工場見学、震災復興する企業の出前授業</td> <td>9/30 (土)</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>有機農法の出前授業、サツマイモの収穫作業体験</td> <td>10/7 (土)</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>林業の現場見学と作業体験、森林の役割の出前授業</td> <td>11/11 (土)</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>I C T を活用した石巻市博物館見学 閉講式</td> <td>12/2 (土)</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>合計</td> <td>延べ90人</td> </tr> </tbody> </table>									活動内容	開催日	参加者数	1	開講式 ジュニアリーダーと交流、パークゴルフ体験	8/9 (水)	16人	2	地引網漁体験、魚類研究の出前授業	8/20 (日)	中止	3	バイオマス発電所見学、発電の仕組みの実験体験	9/9 (土)	15人	4	缶詰工場見学、震災復興する企業の出前授業	9/30 (土)	15人	5	有機農法の出前授業、サツマイモの収穫作業体験	10/7 (土)	15人	6	林業の現場見学と作業体験、森林の役割の出前授業	11/11 (土)	13人	7	I C T を活用した石巻市博物館見学 閉講式	12/2 (土)	16人				合計
	活動内容	開催日	参加者数																																									
1	開講式 ジュニアリーダーと交流、パークゴルフ体験	8/9 (水)	16人																																									
2	地引網漁体験、魚類研究の出前授業	8/20 (日)	中止																																									
3	バイオマス発電所見学、発電の仕組みの実験体験	9/9 (土)	15人																																									
4	缶詰工場見学、震災復興する企業の出前授業	9/30 (土)	15人																																									
5	有機農法の出前授業、サツマイモの収穫作業体験	10/7 (土)	15人																																									
6	林業の現場見学と作業体験、森林の役割の出前授業	11/11 (土)	13人																																									
7	I C T を活用した石巻市博物館見学 閉講式	12/2 (土)	16人																																									
			合計	延べ90人																																								
成果	参加者数は、目標に達しなかったが、参加者満足度については目標を達成することができた。本人及び保護者に対して行ったアンケートでは、「参加者同士が学校の壁を超えた交流ができた」、「興味深い内容ばかりで、この事業でなければ体験できなかったことがたくさんあり、参加させて本当に良かった」といった感想が多く、好評を得ている。																																											
	※ 参加者満足度（全活動終了後に行った参加者アンケート結果）【目標値：100%】 ・質問事項 「ふるさと子どもカレッジ」は楽しかったですか？ <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>楽しかった</th> <th>まあまあ楽しかった</th> <th>あまり楽しくなかった</th> <th>楽しくなかった</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回答者数</td> <td>14人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>回答率</td> <td>82.4%</td> <td>17.6%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>満足度</td> <td>100.0%</td> <td colspan="4">全回答のうち「楽しかった」、「まあまあ楽しかった」の割合</td> </tr> </tbody> </table>								選択肢	楽しかった	まあまあ楽しかった	あまり楽しくなかった	楽しくなかった	計	回答者数	14人	3人	0人	0人	17人	回答率	82.4%	17.6%	0.0%	0.0%	100.0%	満足度	100.0%	全回答のうち「楽しかった」、「まあまあ楽しかった」の割合															
選択肢	楽しかった	まあまあ楽しかった	あまり楽しくなかった	楽しくなかった	計																																							
回答者数	14人	3人	0人	0人	17人																																							
回答率	82.4%	17.6%	0.0%	0.0%	100.0%																																							
満足度	100.0%	全回答のうち「楽しかった」、「まあまあ楽しかった」の割合																																										
成果に係る評価	次代を担う子どもたちが、本市の自然・文化・歴史・産業を知り、それに関連した体験をすることは、故郷石巻を知り、考える機会につながっており、また、学校外の集団活動を通して協調性を育むことができるなど、本事業は学校の授業では得られない貴重な経験ができるものであり、継続して実施していく必要がある。 参加した子どもやその保護者には好評である一方、申込者数は目標に達しておらず、周知・申し込み方法や募集対象の見直しのほか、活動内容についても、地域の企業等の協力を得ながら、より魅力的な体験プログラムを提供していく必要がある。																																											
予算の執行状況	(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
	77,119	30,839	18,000		4,410	8,429																																						

予算科目	10 款	教育費	事業名	放課後子ども教室推進事業											
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち										
	1 目	社会教育総務費		第 4 節	地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進										
	事業	放課後子ども教室推進事業費		(1)	地域で支える教育活動を支援する										
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P96											
目的及び事業内容	子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、市内小学校区において公共施設等を活用し、安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得ながら、子どもたちとともに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等に取組むことで、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。														
取組実績	1 和小っ子クラブ（運営：河南地域住民自治協議会和渚地区部会）														
	(1) 対象児童 和渚小学校区児童（主に、和渚小学校1年生～3年生） (2) 活動実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>活動日数</th> <th>参加児童数（延べ）</th> <th>参加ボランティア数（延べ）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体験活動、学習支援など</td> <td>17日</td> <td>234人</td> <td>170人</td> </tr> </tbody> </table>								活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）	体験活動、学習支援など	17日	234人
活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）												
体験活動、学習支援など	17日	234人	170人												
取組実績	2 放課後子ども教室Bremen（運営：放課後こどもクラブBremen）														
	(1) 対象児童 石巻小学校区児童 (2) 活動実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>活動日数</th> <th>参加児童数（延べ）</th> <th>参加ボランティア数（延べ）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体験活動、学習支援など</td> <td>35日</td> <td>444人</td> <td>143人</td> </tr> </tbody> </table>								活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）	体験活動、学習支援など	35日	444人
活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）												
体験活動、学習支援など	35日	444人	143人												
取組実績	3 チャレンジキッズinへびた（運営：CSサポートみやぎ）														
	(1) 対象児童 蛇田小学校区児童 (2) 活動実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>活動日数</th> <th>参加児童数（延べ）</th> <th>参加ボランティア数（延べ）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体験活動、学習支援など</td> <td>9日</td> <td>129人</td> <td>31人</td> </tr> </tbody> </table>								活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）	体験活動、学習支援など	9日	129人
活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）												
体験活動、学習支援など	9日	129人	31人												
取組実績	4 チャレンジキッズinこうよう（運営：CSサポートみやぎ）【令和5年度新規開講】														
	(1) 対象児童 向陽小学校区児童 (2) 活動実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>活動日数</th> <th>参加児童数（延べ）</th> <th>参加ボランティア数（延べ）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体験活動、学習支援など</td> <td>10日</td> <td>117人</td> <td>56人</td> </tr> </tbody> </table>								活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）	体験活動、学習支援など	10日	117人
活動内容	活動日数	参加児童数（延べ）	参加ボランティア数（延べ）												
体験活動、学習支援など	10日	117人	56人												
成果	参加児童数（延べ） 4教室の合計 924人														
	参加ボランティア数（延べ） 400人														
成果	新型コロナウイルス感染症対策を施しながら、概ね予定どおり放課後や休日を活用した各種活動を行うことができた。 教室に参加した子どもたちも、異年齢交流をとおして、思いやりの気持ちが育てられている様子が見られた。 また、放課後の児童の安心・安全な居場所づくりに貢献するだけでなく、異年齢者との交流機会の創出や地域住民同士の交流、地域人材の活用によって、地域活性化の高まりが成果として表れている。活動をとおして、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を育むこと、さらには、地域の大人の積極的な参画により地域コミュニティの充実も図られた。														
成果に係る評価	令和4年度と比較して、実施回数、参加児童数ともに増加しており、地域の方々も協力を惜みず、本事業に参画することに生きがいを見出しているなど、地域の教育力の向上にも繋がることから継続が必要な事業である。 今後も、各教室と連携し、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境を地域の中につくっていくよう地域住民の理解と協力を得て取り組んでいく。														
予算の執行状況	(単位：円)														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源									
	1,421,000	671,754	446,000			225,754									

予算科目	10 款	教育費	事業名	国指定名勝齋藤氏庭園整備事業																													
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																												
	2 目	文化財保護費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																												
	事業	齋藤氏庭園整備事業費		(1)	生涯学習環境を強化する																												
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 99																													
目的及び事業内容		東日本大震災で被災した国指定名勝齋藤氏庭園内の利活用を図るとともに、文化財を次世代に継承する。																															
取組実績		国指定齋藤氏庭園の災害復旧事業は、令和3年度（令和2年度の繰越）に終了したことから、令和3年度より保存整備・利活用を図るため整備を開始し、令和5年度は広間の耐震診断を実施した。当初、令和5年度は、住宅と広間の耐震診断を予定しており、国庫補助（補助率1/2）、県費補助金（補助率1/10）を申請したが、国庫補助が全国的に50～60%削減され、本市も60%削減されたことから、広間のみ耐震診断を実施した。 【保存整備・利活用に関する整備】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">内 容</th> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="3">事業費内訳</th> </tr> <tr> <th>国補助</th> <th>県補助</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>正門の修復</td> <td>7,994,515円</td> <td>3,997,000円</td> <td>—</td> <td>3,997,515円</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>庭園内の灯籠を修復</td> <td>2,046,000円</td> <td>1,432,000円</td> <td>307,000円</td> <td>307,000円</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>広間の耐震診断</td> <td>5,555,000円</td> <td>2,777,000円</td> <td>555,000円</td> <td>2,223,000円</td> </tr> </tbody> </table> ※ R4は福島県沖地震による災害復旧のため補助率は異なる					年度	内 容	事業費	事業費内訳			国補助	県補助	一般財源	R3	正門の修復	7,994,515円	3,997,000円	—	3,997,515円	R4	庭園内の灯籠を修復	2,046,000円	1,432,000円	307,000円	307,000円	R5	広間の耐震診断	5,555,000円	2,777,000円	555,000円	2,223,000円
年度	内 容	事業費	事業費内訳																														
			国補助	県補助	一般財源																												
R3	正門の修復	7,994,515円	3,997,000円	—	3,997,515円																												
R4	庭園内の灯籠を修復	2,046,000円	1,432,000円	307,000円	307,000円																												
R5	広間の耐震診断	5,555,000円	2,777,000円	555,000円	2,223,000円																												
成 果		広間の耐震診断を実施したことにより、保存整備及び利活用のためのデータを得ることができた。																															
成果に係る評価		耐震診断により得られたデータを利活用するため、一般公開施設利活用の方針を定め、整備内容の優先順位を決定したうえで保存活用整備計画を策定し、事業を計画的に進める。																															
(単位：円)																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																											
	9,145,990	5,555,000	3,332,000			2,223,000																											

予算科目	10 款	教育費	事業名	旧観慶丸商店管理運営事業												
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち											
	2 目	文化財保護費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進											
	事業	旧観慶丸商店管理運営費		(1)	生涯学習環境を強化する											
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		—												
目的及び事業内容		市指定文化財である旧観慶丸商店の保護及び保存を図るとともに、本市の歴史文化の展示施設及び中心市街地における市民の文化交流施設として利活用するため、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。														
取組実績		1 施設管理者による施設運営事業 (1) 指定管理者 一般社団法人 I S H I N O M A K I 2.0 (2) 指定管理料 9,768,000円 (3) 指定期間 R5.4.1～R10.3.31 (5年間) 2 施設管理運営事業 ・1階文化交流スペースの貸出利用に特化したパンフレットを作成し、県内の文化施設や学校等に配布した。 ・街角に面した窓部分をギャラリーとして活用し、文化交流スペースの利用者、市内で文化活動を行っている団体と連携し、魅力的な展示や季節に合わせた展示を行った。 ・2階については、石巻市博物館のサテライト展示施設として活用したほか、展示と連動した企画を実施した。 3 利用者の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19,226人</td> <td>4,787人</td> <td>12,957人</td> <td>10,361人</td> <td>9,497人</td> </tr> </tbody> </table>					R1	R2	R3	R4	R5	19,226人	4,787人	12,957人	10,361人	9,497人
R1	R2	R3	R4	R5												
19,226人	4,787人	12,957人	10,361人	9,497人												
成 果		指定管理者による施設の管理運営を行い、施設利用者の利便性向上のための施設案内等に積極的に取り組むなどの運営を行った。しかしながら、大規模イベントの開催延期等の影響により、施設利用者は昨年度を下回る結果となった。														
成果に係る評価		施設利用者の増加に向け、継続したWEBサイトやSNSなどの更新による利用促進に努めていくとともに、指定管理者と定期的に協議を行い、利用者の利便性向上のための休憩スペースの再設置や市内観光情報の提供などに取り組んでいく。														
(単位：円)																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	9,768,000	9,768,000				9,768,000										

予算科目	10 款	教育費	事業名		日本遺産「みちのくGOLD浪漫」普及啓発推進事業			
	6 項	社会教育費	総合計画	第5章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち			
	2 目	文化財保護費		第5節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進			
	事業	みちのくGOLD浪漫普及啓発推進事業費		(1)	生涯学習環境を強化する			
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		P 99				
目的及び事業内容	令和4年7月29日に本市の構成文化財群「金華山詣」「金華山道」が宮城県涌谷町、気仙沼市、南三陸町、岩手県陸前高田市、平泉町の2市3町を構成市町とする日本遺産「みちのくGOLD浪漫」への追加認定を受けたことに伴い、市民をはじめ国内外への「認知」を主眼にした当該事業に係る普及啓発活動を実施する。							
取組実績	普及啓発推進事業のうちソフト事業として、市民講座を実施するとともに、日本遺産5周年記念「みちのくGOLD浪漫」シンポジウム2024を開催。そのほか観光部門と連携しPRイベントへの参加や資料調査等を実施した。また、ハード整備として常夜燈の修復や市内6か所に多言語対応案内板を設置した。							
	1	講座						
		区分	事業費	参加人数	開催日			
		出前講座（牡鹿地区小学生等）	—	12人	10月26日			
	出前講座（一般）	—	15人	11月9日				
	日本遺産5周年記念「みちのくGOLD浪漫」シンポジウム2024	54,000円	113人	2月17日				
2	資料調査							
	区分	事業費	備考					
	金華山道関係絵図撮影業務	286,000円	石巻市図書館所蔵【海岸図】4点					
3	整備事業							
	区分	事業費	備考					
	石巻市指定文化財金華山道標常夜燈修繕	3,520,000円	祝田ふれあい公園に設置					
	多言語対応案内板製作	3,346,200円	市内6か所に設置					
成果	日本遺産構成文化財群である「金華山詣」、「金華山道」に関する常夜燈の修復や船着き場、金華山道標等付近に多言語案内板を設置したことにより、訪れる方への理解を深める機能を強化した。本事業における成果指標である日本遺産「みちのくGOLD浪漫」事業認知度については、シンポジウムにおいてアンケート調査を実施したところ、53%の認知度があった。							
成果に係る評価	令和5年度で当初予定していたハード整備事業が完了したことから、今後は、普及啓発事業として引き続き市民講座、シンポジウム等を開催し、地道に市民をはじめとした人々に本市及び本認定地域の産金、金にまつわる歴史を発信することで、認知度の向上に努める。							
予算の執行状況	(単位：円)							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
7,998,000	7,629,475	1,285,000			6,344,475			

予算科目	10 款	教育費	事業名		公民館LED化事業			
	6 項	社会教育費	総合計画	第6章	市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち			
	3 目	公民館費		第2節	持続可能な行財政運営の推進			
	事業	公民館管理費		(3)	公共施設の維持管理経費を節減する			
担当部課	教育委員会石巻中央公民館	実施計画掲載ページ		P 109				
目的及び事業内容	2017年に「水銀に関する水俣条約」が発効し、「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」が施行されたことにより、2020年12月末をもって高圧水銀ランプの製造及び輸出入が禁止となり、水銀灯の調達が困難となるため、公民館で使用する水銀灯をLED照明に改修するもの。							
取組実績	公民館で水銀灯照明を使用している渡波公民館と稲井公民館のホールの照明のLED化を実施した。当初計画では、LED照明の取替修繕を予定していたが、リース方式による改修に見直しすることで費用の軽減が図られた。							
	債務負担行為							
		事項	限度額	期間				
		LED照明灯借上料(公民館)	5,229,000	令和6年度～令和10年度				
契約期間 令和5年9月1日～令和10年8月31日 5年間(60カ月)								
予算及び事業費 (単位：円)								
	内訳	R5予算額	R5事業費					
	渡波公民館	363,900	344,960					
	稲井公民館	327,100	304,150					
	計	691,000	649,110					
執行見込額(契約額) (単位：円)								
	年度	R6	R7	R8	R9	R10	合計	
	渡波公民館	591,360	591,360	591,360	591,360	246,400	2,611,840	
	稲井公民館	521,400	521,400	521,400	521,400	217,250	2,302,850	
	計	1,112,760	1,112,760	1,112,760	1,112,760	463,650	4,914,690	
成果	公民館LED化事業の実施により「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」に準拠した照明に交換することができ、消費電力が抑えられ維持管理経費の削減が図られた。また、リース方式によりLED照明に改修したことで、リース期間における修理等に素早く対応できる体制が確立され、利用者の利便性の向上が図られた。							
成果に係る評価	維持管理費の削減に繋がっており、債務負担行為により事業を実施していることから、次年度以降もLED照明の借上げにより、事業を継続する必要がある。							
予算の執行状況	(単位：円)							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
691,000	649,110				649,110			

予算科目	10 款	教育費	事業名	図書館施設整備事業															
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち														
	4 目	図書館費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進														
	事業	図書館管理費		(2)	読書の推進・環境を整備する														
担当部課	教育委員会図書館	実施計画掲載ページ		P 100															
目的及び事業内容		昭和48年竣工の現図書館について、「石巻市社会教育・体育施設等適正配置及び長寿命化計画」に基づき必要な改修を行う。																	
取組実績		1 石巻市図書館空調和設備改修工事設計業務 老朽化した空調和機器の改修工事に係る設計業務を実施した。 (単位：円) <table border="1"> <tr> <td>内訳</td> <td>R5予算額</td> <td>R5事業費</td> </tr> <tr> <td>工事施行を伴う委託料</td> <td>3,137,794</td> <td>3,091,000</td> </tr> </table> 2 砂利敷き駐車場舗装工事 雨天時等ぬかるみが発生し不便な砂利敷き駐車場の舗装工事を実施した。 (単位：円) <table border="1"> <tr> <td>内訳</td> <td>R5予算額</td> <td>R5事業費</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>1,680,000</td> <td>1,600,500</td> </tr> </table>						内訳	R5予算額	R5事業費	工事施行を伴う委託料	3,137,794	3,091,000	内訳	R5予算額	R5事業費	修繕料	1,680,000	1,600,500
内訳	R5予算額	R5事業費																	
工事施行を伴う委託料	3,137,794	3,091,000																	
内訳	R5予算額	R5事業費																	
修繕料	1,680,000	1,600,500																	
成果		1 石巻市図書館空調和設備改修工事設計業務 老朽化した空調和機器の改修工事に係る設計業務の実施により工事費が積算された。 2 砂利敷き駐車場舗装工事 砂利敷き駐車場舗装工事を実施することにより、雨天時等のぬかるみが解消され利用者の安全が図られた。																	
成果に係る評価		・砂利敷き駐車場舗装により利用者の利便性が向上した。 ・図書館空調和設備改修工事設計業務は終了したが、R6年度次期ローリングと裁定された工事について引き続き総合計画に計上していく必要がある。																	
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	4,817,794	4,691,500				4,691,500													

予算科目	10 款	教育費	事業名	読書環境整備事業〔復興基金〕															
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち														
	4 目	図書館費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進														
	事業	図書館活動費		(2)	読書の推進・環境を整備する														
担当部課	教育委員会図書館	実施計画掲載ページ		P 100															
目的及び事業内容		公立図書館として図書館法第3条に基づき、図書、記録その他必要な資料・情報を収集、整理、保存して、市民の利用に供し、読書推進、調査研究、レクレーション等に資することを目的とする。 ・図書の整備、郷土資料の収集 ・子どもの読書推進事業 ・学校支援事業 ・教養講座等の開催																	
取組実績		読書環境整備事業を実施した。 1 図書の整備 新刊書・児童書・郷土関係資料を中心に、図書館で選定した図書を購入するとともに、市民からのリクエストに基づいた図書資料を購入し、利用に供した。自館の資料で対応できないリクエストには宮城県図書館等他館から借受けて対応した。除籍本の無償譲渡について昨年同様通年で行った。また、砂利敷き駐車場舗装お披露目会として障がい者就労支援施設による物販及び除籍本の無償譲渡を行った。 2 子どもの読書推進事業 本館・河北分館において、ボランティアとの協働により「おはなし会」を実施した。 また、出張図書館「えほんびより」は子育て支援センター及び子育て支援施設において読み聞かせを行うとともに、保護者に対して絵本の選び方や読み方を指導し、読書習慣の重要性を周知した。 3 学校支援事業 学級貸出、学習支援貸出を実施し、また、学校図書室の充実に向け学校司書の研修を行った。 4 講座・教室・企画展の実施 文化の日になむ行事や企画展等を行い、生涯学習機会の提供及び読書の推進を図った。生涯学習課と連携し郷土史講座日本遺産「みちのくGOLD浪漫」を行った。																	
成果		1 図書の整備 <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>図書購入冊数</td> <td>6,377冊</td> <td>7,517冊</td> <td>7,326冊</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>259,959冊</td> <td>265,416冊</td> <td>269,016冊</td> </tr> </table> 2 子どもの読書推進事業 おはなし会の開催(本館、河北分館) 延参加者数764人 出張図書館「えほんびより」の開催 9団体延参加者数383人 3 学校支援事業 学級貸出 小学校8校 6,450冊 学習支援貸出 小学校4校 中学校1校 442冊 学校司書研修 1回(オリエンテーション) 4 講座・教室・企画展の実施 ・「帰ってきた小船」原画展(4月30日～5月7日) 125人来館 ・「手作り絵本展」&「どこコレ?～おしえてください昭和の石巻～」 (9月12日～10月29日) 2,569人来館 ・日本遺産「みちのくGOLD浪漫」(11月18日) 24人参加 ・「アロマクリームを作ろう」(12月17日) 16人参加						年度	R3	R4	R5	図書購入冊数	6,377冊	7,517冊	7,326冊	貸出冊数	259,959冊	265,416冊	269,016冊
年度	R3	R4	R5																
図書購入冊数	6,377冊	7,517冊	7,326冊																
貸出冊数	259,959冊	265,416冊	269,016冊																
成果に係る評価		・利用者にとって魅力ある資料の収集と、その情報発信、また、相互貸借サービスの利用などを通じ貸出冊数は前年度と比べて増加した。引き続き、市民の読書活動推進を図る必要がある。 ・昨年に続き、除籍本の無償譲渡を通年で行い、利用者の利便性と廃棄本の有効活用を図ることができた。 ・出張図書館「えほんびより」を行い子どもの読書活動を推進することができた。 ・日本遺産「みちのくGOLD浪漫」に関連する講座の開催により連携推進が図られた。																	
(単位：円)																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源													
	24,260,000	24,196,107				12,000,000 12,196,107													

予算科目	10 款	教育費	事業名	複合文化施設管理運営事業																																																															
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																																														
	5 目	複合文化施設費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																																														
	事業	複合文化施設管理費		(1)	生涯学習環境を強化する																																																														
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		—																																																															
目的及び事業内容		芸術文化の振興、創造及び交流を図り、もって市民生活の向上に寄与するとともに、利便性の向上に資するため、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																																	
取組実績	1 施設管理者による施設運営事業 (1) 指定管理者 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 (2) 指定管理料 285,000,000円 (3) 指定期間 R2.4.1～R7.3.31 (5年間) 2 施設管理運営事業 - ホームページ等を活用し、充実した施設情報の提供、問い合わせ対応の強化など、利用者の目線に立った環境づくりに心がけることで利用促進に努めた。 - 利用団体等のスタイルや要望への柔軟な対応に心がけ、また、地域の各種イベント等への協力など、地域に貢献できる施設運営に努めた。 3 利用者の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大ホール（ホワイエ含む）</td> <td>29,151人</td> <td>46,813人</td> <td>44,410人</td> </tr> <tr> <td>中ホール</td> <td>5,411人</td> <td>12,114人</td> <td>12,768人</td> </tr> <tr> <td>小ホール（ホワイエ含む）</td> <td>8,354人</td> <td>21,928人</td> <td>23,137人</td> </tr> <tr> <td>各研修室</td> <td>7,002人</td> <td>12,372人</td> <td>15,258人</td> </tr> <tr> <td>和室</td> <td>550人</td> <td>1,111人</td> <td>1,226人</td> </tr> <tr> <td>各活動室</td> <td>1,678人</td> <td>3,723人</td> <td>3,936人</td> </tr> <tr> <td>市民ギャラリー</td> <td>39,513人</td> <td>10,301人</td> <td>16,664人</td> </tr> <tr> <td>創作室・アトリエ</td> <td>1,807人</td> <td>2,734人</td> <td>3,307人</td> </tr> <tr> <td>楽屋・控室</td> <td>3,827人</td> <td>9,221人</td> <td>6,226人</td> </tr> <tr> <td>資料閲覧室</td> <td>994人</td> <td>1,742人</td> <td>1,896人</td> </tr> <tr> <td>常設展示室</td> <td>3,742人</td> <td>6,578人</td> <td>13,792人</td> </tr> <tr> <td>企画展示室</td> <td>2,449人</td> <td>4,451人</td> <td>9,854人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>—</td> <td>186人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>104,478人</td> <td>133,274人</td> <td>152,474人</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	R3	R4	R5	大ホール（ホワイエ含む）	29,151人	46,813人	44,410人	中ホール	5,411人	12,114人	12,768人	小ホール（ホワイエ含む）	8,354人	21,928人	23,137人	各研修室	7,002人	12,372人	15,258人	和室	550人	1,111人	1,226人	各活動室	1,678人	3,723人	3,936人	市民ギャラリー	39,513人	10,301人	16,664人	創作室・アトリエ	1,807人	2,734人	3,307人	楽屋・控室	3,827人	9,221人	6,226人	資料閲覧室	994人	1,742人	1,896人	常設展示室	3,742人	6,578人	13,792人	企画展示室	2,449人	4,451人	9,854人	その他	—	186人	—	合 計	104,478人	133,274人	152,474人
	区 分	R3	R4	R5																																																															
大ホール（ホワイエ含む）	29,151人	46,813人	44,410人																																																																
中ホール	5,411人	12,114人	12,768人																																																																
小ホール（ホワイエ含む）	8,354人	21,928人	23,137人																																																																
各研修室	7,002人	12,372人	15,258人																																																																
和室	550人	1,111人	1,226人																																																																
各活動室	1,678人	3,723人	3,936人																																																																
市民ギャラリー	39,513人	10,301人	16,664人																																																																
創作室・アトリエ	1,807人	2,734人	3,307人																																																																
楽屋・控室	3,827人	9,221人	6,226人																																																																
資料閲覧室	994人	1,742人	1,896人																																																																
常設展示室	3,742人	6,578人	13,792人																																																																
企画展示室	2,449人	4,451人	9,854人																																																																
その他	—	186人	—																																																																
合 計	104,478人	133,274人	152,474人																																																																
成 果	指定管理者による施設管理運営を行い、市民ニーズに可能な限り対応しながら運営できた。開館から3年が経過し、施設の認知度が上がり、さらには多様な目的で利用できることもあって利用者数は年々増加してきている。																																																																		
成果に係る評価	新型コロナウイルス感染症による各種制限がなくなったことも利用者数増につながっているものと考えており、今後、さらに利用者のニーズを踏まえながら、サービスを向上させるため、市民が利用しやすい環境、雰囲気作りを心がけ、引き続き運営等について指定管理者と定期的に協議を行い、施設の管理を行っていく。																																																																		
(単位：円)																																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																
	285,000,000	285,000,000	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																													
					4,400,000	280,600,000																																																													

予算科目	10 款	教育費	事業名	博物館資料調査整理事業																																			
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																		
	5 目	複合文化施設費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																		
	事業	博物館資料調査整理事業費		(1)	生涯学習環境を強化する																																		
担当部課	教育委員会博物館	実施計画掲載ページ		P98																																			
目的及び事業内容		資料の調査・整理を行い、活用できる状態に整え、市民の財産である文化財の展示・公開を行うとともに、調査成果を市民に還元することで、本市の歴史・文化を共有し、市民の地域への興味・関心を高める。また、毛利コレクション全体像の把握及び現状確認のため、データ等の修復整理作業と資料の整理作業を実施するとともに、被災資料等収蔵施設に保管されている旧石巻文化センター所蔵資料及び台帳の整理・調査作業も推進し、文化財を次代に継承していく。																																					
取組実績	1 毛利コレクション調査・整理 (1) 研究資料 全660点の写真撮影・目録作成 (2) 考古資料 博物館展示監修者等の協力のもと、考古資料の目録作成に向けた調査の実施 (3) アイヌ資料 全711点について、共同研究に関する覚書を締結した国立アイヌ民族博物館との調査実施 2 旧石巻文化センター所蔵資料の再整理 自治体史編纂時に採集した板碑拓本の一部について、法量を計測などの調査を実施 3 新収蔵資料の整理 寄贈資料の点数整理、詳細研究のための基本整理の実施																																						
	成 果	調査件数及びシステム登録件数ともに大幅に目標値を上回る結果となったが、博物館資料の総点数は13万点を超過しており、今後も継続的かつ計画的に調査を進めていく必要がある。																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">調査件数</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th colspan="2">システム登録件数</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>1,000件</td> <td>1,467件</td> <td>146.70%</td> <td>1,000件</td> <td>93件</td> <td>9.30%</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2,000件</td> <td>5,797件</td> <td>289.85%</td> <td>1,000件</td> <td>357件</td> <td>35.70%</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>2,000件</td> <td>3,449件</td> <td>172.45%</td> <td>1,000件</td> <td>4,244件</td> <td>424.40%</td> </tr> </tbody> </table>						年度	調査件数		達成率	システム登録件数		達成率	目標値	実績	目標値	実績	R3	1,000件	1,467件	146.70%	1,000件	93件	9.30%	R4	2,000件	5,797件	289.85%	1,000件	357件	35.70%	R5	2,000件	3,449件	172.45%	1,000件	4,244件	424.40%
年度	調査件数		達成率	システム登録件数		達成率																																	
	目標値	実績		目標値	実績																																		
R3	1,000件	1,467件	146.70%	1,000件	93件	9.30%																																	
R4	2,000件	5,797件	289.85%	1,000件	357件	35.70%																																	
R5	2,000件	3,449件	172.45%	1,000件	4,244件	424.40%																																	
成果に係る評価	学芸員の増員により大幅に目標値を上回る結果となったが、博物館資料の総点数からすると、学芸員の人数・専門分野が不足している現状にあることから、他の専門機関等との連携・協力を得ながら合同調査を進めていく必要がある。 なお、市民の財産である文化財の展示・公開については、企画展・特別展を通じて成果の還元にも努めた結果、来館者満足度は高いことから、今後も調査整理を進め、事業を継続する必要がある。																																						
(単位：円)																																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																				
	3,322,943	3,100,521	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																	
						3,100,521																																	

予算科目	10 款	教育費	事業名	石巻市博物館企画展・特別展事業													
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち												
	5 目	複合文化施設費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進												
	事業	博物館企画展・特別展事業費		(1)	生涯学習環境を強化する												
担当部課	教育委員会博物館	実施計画掲載ページ		P 99													
目的及び事業内容	石巻市博物館において、企画展・特別展を年間3回程度開催することで、文化・芸術に触れる場を提供し、心の豊かさを醸成する。また、企画展を通じて、博物館所蔵資料や調査研究の成果を踏まえ、学術的な視点から本市の魅力をわかりやすく発信し、市民の地域に対する理解を深める。また、時宜にかなった特別展を開催することで、市民の知的探求心を満たす。																
取組実績	令和5年度企画展・特別展開催実績 1 企画展「民具のデザイン図鑑—くらしの道具から読み解く造形の発想—」 開催期間 令和5年5月27日（土）～8月20日（日） 主 催 石巻市博物館 監 修 武蔵野美術大学教授 加藤幸治 特別協力 武蔵野美術大学美術館・図書館 2 特別展「学んで、旅して、たのしむ浮世絵—広重美術館コレクション—」 開催期間 令和5年9月2日（土）～10月29日（日） 主 催 石巻市博物館 企画・監修 広重美術館 共 催 米沢市上杉博物館 3 企画展 高砂淳二写真展「地球と出会う旅」 開催期間 令和5年12月2日（土）～令和6年2月25日（日） 主 催 石巻市博物館																
成 果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>観覧者数</th> <th>満足度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 企画展「民具のデザイン図鑑—くらしの道具から読み解く造形の発想—」</td> <td>1,651人</td> <td>88%</td> </tr> <tr> <td>2 特別展「学んで、旅して、たのしむ浮世絵—広重美術館コレクション—」</td> <td>2,284人</td> <td>91%</td> </tr> <tr> <td>3 企画展 高砂淳二写真展「地球と出会う旅」</td> <td>5,919人</td> <td>94%</td> </tr> </tbody> </table> 観覧者数は、目標としていた5,100人を大きく上回る9,854人、さらには、満足度についても88%以上となり、高い評価を得ることができており、多くの市民等に対し、文化・芸術に触れる機会を提供することができた。					区 分	観覧者数	満足度	1 企画展「民具のデザイン図鑑—くらしの道具から読み解く造形の発想—」	1,651人	88%	2 特別展「学んで、旅して、たのしむ浮世絵—広重美術館コレクション—」	2,284人	91%	3 企画展 高砂淳二写真展「地球と出会う旅」	5,919人	94%
区 分	観覧者数	満足度															
1 企画展「民具のデザイン図鑑—くらしの道具から読み解く造形の発想—」	1,651人	88%															
2 特別展「学んで、旅して、たのしむ浮世絵—広重美術館コレクション—」	2,284人	91%															
3 企画展 高砂淳二写真展「地球と出会う旅」	5,919人	94%															
成果に係る評価	展示回数を重ねることに来場者数は増加傾向にあり、学芸員の経験が蓄積されてきたこと、さらには令和5年度から新聞折り込みによる広報を行った効果が表れてきたものと考えられる。 また、企画内容についても世代を問わず、興味を持っていただける内容を中心としたことも来場者数増の要因と考えられる。 しかしながら、博物館の認知度が低い状況から、引き続き魅力ある企画展・特別展を開催していくとともに、広報に注力していく必要がある。																
予算の執行状況	(単位：円)																
予算額	18,560,357	決算額	決算額の財源内訳														
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源											
		17,857,690			10,777,460	7,080,230											

予算科目	10 款	教育費	事業名	河北総合センター管理運営事業																																																	
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																																
	8 目	社会教育施設管理費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																																
	事業	河北総合センター管理費		(1)	生涯学習環境を強化する																																																
担当部課	教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		—																																																	
目的及び事業内容	スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興並びに市民の心身の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、利便性の向上に資するため、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																				
取組実績	1 施設管理者による施設運営事業 (1) 指定管理者 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 (2) 指定管理料 73,100,000円 (3) 指定期間 R3.4.1～R7.3.31(4年間) 2 施設管理運営事業 ・ホームページ等を活用し、施設の利用案内や利用状況、利用手続きに係る様式、芸術文化活動の開催情報の閲覧など手軽に情報を得られるよう内容の充実を図った。 ・利用団体等のスタイルや要望への柔軟な対応に心がけ、また、地域の各種イベント等への協力など、地域に貢献できる施設運営に努めた。 3 利用者等の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ホール(楽屋含む)</td> <td>21,811人</td> <td>6,564人</td> <td>11,191人</td> <td>11,299人</td> <td>18,665人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>26,740人</td> <td>15,862人</td> <td>22,749人</td> <td>21,155人</td> <td>18,607人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>3,664人</td> <td>940人</td> <td>1,517人</td> <td>2,147人</td> <td>2,155人</td> </tr> <tr> <td>柔剣道場</td> <td>6,934人</td> <td>5,674人</td> <td>16,072人</td> <td>7,962人</td> <td>6,969人</td> </tr> <tr> <td>会議室等その他の部屋</td> <td>41,783人</td> <td>14,564人</td> <td>14,057人</td> <td>21,884人</td> <td>32,147人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>100,932人</td> <td>43,604人</td> <td>65,586人</td> <td>64,447人</td> <td>78,543人</td> </tr> <tr> <td>利用料金</td> <td>5,236,382円</td> <td>2,887,210円</td> <td>4,518,920円</td> <td>4,974,230円</td> <td>5,359,600円</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	R1	R2	R3	R4	R5	ホール(楽屋含む)	21,811人	6,564人	11,191人	11,299人	18,665人	アリーナ	26,740人	15,862人	22,749人	21,155人	18,607人	トレーニング室	3,664人	940人	1,517人	2,147人	2,155人	柔剣道場	6,934人	5,674人	16,072人	7,962人	6,969人	会議室等その他の部屋	41,783人	14,564人	14,057人	21,884人	32,147人	合 計	100,932人	43,604人	65,586人	64,447人	78,543人	利用料金	5,236,382円	2,887,210円	4,518,920円	4,974,230円	5,359,600円
区 分	R1	R2	R3	R4	R5																																																
ホール(楽屋含む)	21,811人	6,564人	11,191人	11,299人	18,665人																																																
アリーナ	26,740人	15,862人	22,749人	21,155人	18,607人																																																
トレーニング室	3,664人	940人	1,517人	2,147人	2,155人																																																
柔剣道場	6,934人	5,674人	16,072人	7,962人	6,969人																																																
会議室等その他の部屋	41,783人	14,564人	14,057人	21,884人	32,147人																																																
合 計	100,932人	43,604人	65,586人	64,447人	78,543人																																																
利用料金	5,236,382円	2,887,210円	4,518,920円	4,974,230円	5,359,600円																																																
成 果	指定管理者による施設の管理運営を行い、施設利用打合せ等において、利用者からの相談、要望に可能な限り対応しながら運営できた。 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和4年度と比較し、利用者数は約22%増の78,543人となり、利用料金は385,370円の増額となった。																																																				
成果に係る評価	利用者数は回復傾向にあるものの、コロナ禍前の状況には至っていないことから、引き続き、市民が利用しやすい環境、雰囲気作りを心がけ、利用者の満足度を高めていくため、指定管理者と定期的に協議を行い、施設の管理を行っていく。																																																				
予算の執行状況	(単位：円)																																																				
予算額	73,100,000	決算額	決算額の財源内訳																																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																															
		73,100,000				73,100,000																																															

予算科目	10 款	教育費	事業名	遊楽館管理運営事業																																																						
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																																					
	8 目	社会教育施設管理費		第 5 節	豊かな地域社会を育む生涯学習の推進																																																					
	事業	遊楽館管理費		(1)	生涯学習環境を強化する																																																					
担当部課	市民生活部スポーツ振興課 教育委員会生涯学習課	実施計画掲載ページ		-																																																						
目的及び事業内容		スポーツ、文化、学習及び交流活動の普及振興並びに市民の心身の健全な発達と福祉の増進を図るとともに、利便性の向上に資するため、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																								
取組実績	1 指定管理者による施設管理運営事業 (1) 遊楽館 指定管理者：公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 指定管理料：90,200,000円 指定期間：R3.4.1～R7.3.31（4年間） (2) 河南室内プール 指定管理者：石巻市スポーツ協会・ミズノグループ 指定管理料：20,360,000円 指定期間：R4.4.1～R9.3.31（5年間）																																																									
	2 施設管理運営事業 (1) 遊楽館 ア ホームページ等で、施設の空き状況やトレーニング室利用人数をリアルタイムで発信したほか、利用手続きに係る様式や図面、施設写真や間取り図などを公開し、事前に必要な情報を得られるよう、また、利用団体等のスタイルや要望への柔軟な対応に努めた。																																																									
	(2) 河南室内プール ア 屋内プールを適切に管理運営するとともに、各種運動教室（スクール事業）を開催するなどより良いサービスの提供に努めた。 イ 幼児から高齢者まで、各年代層の幅広いニーズに対応した生涯スポーツプログラムの提供により、青少年の健全育成及び各世代の健康増進に寄与した。																																																									
	3 利用者の推移																																																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>区 分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">遊楽館</td> <td>ホール・楽屋・リハ室</td> <td>26,312人</td> <td>8,597人</td> <td>13,785人</td> <td>17,178人</td> <td>20,729人</td> </tr> <tr> <td>アリーナ</td> <td>22,874人</td> <td>15,850人</td> <td>18,846人</td> <td>22,850人</td> <td>25,217人</td> </tr> <tr> <td>トレーニング室</td> <td>6,494人</td> <td>2,097人</td> <td>1,929人</td> <td>3,205人</td> <td>3,606人</td> </tr> <tr> <td>会議室・和室</td> <td>21,632人</td> <td>6,453人</td> <td>6,804人</td> <td>9,730人</td> <td>38,620人</td> </tr> <tr> <td>調理室・多目的室等</td> <td>11,700人</td> <td>1,496人</td> <td>2,083人</td> <td>6,602人</td> <td>8,599人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>89,012人</td> <td>34,493人</td> <td>43,447人</td> <td>59,565人</td> <td>96,771人</td> </tr> <tr> <td>河南室内プール</td> <td>プール</td> <td>30,335人</td> <td>18,844人</td> <td>14,618人</td> <td>34,684人</td> <td>33,009人</td> </tr> </tbody> </table>						施設名	区 分	R1	R2	R3	R4	R5	遊楽館	ホール・楽屋・リハ室	26,312人	8,597人	13,785人	17,178人	20,729人	アリーナ	22,874人	15,850人	18,846人	22,850人	25,217人	トレーニング室	6,494人	2,097人	1,929人	3,205人	3,606人	会議室・和室	21,632人	6,453人	6,804人	9,730人	38,620人	調理室・多目的室等	11,700人	1,496人	2,083人	6,602人	8,599人	合 計	89,012人	34,493人	43,447人	59,565人	96,771人	河南室内プール	プール	30,335人	18,844人	14,618人	34,684人	33,009人
施設名	区 分	R1	R2	R3	R4	R5																																																				
遊楽館	ホール・楽屋・リハ室	26,312人	8,597人	13,785人	17,178人	20,729人																																																				
	アリーナ	22,874人	15,850人	18,846人	22,850人	25,217人																																																				
	トレーニング室	6,494人	2,097人	1,929人	3,205人	3,606人																																																				
	会議室・和室	21,632人	6,453人	6,804人	9,730人	38,620人																																																				
	調理室・多目的室等	11,700人	1,496人	2,083人	6,602人	8,599人																																																				
	合 計	89,012人	34,493人	43,447人	59,565人	96,771人																																																				
河南室内プール	プール	30,335人	18,844人	14,618人	34,684人	33,009人																																																				
成 果	1 遊楽館 指定管理者による施設管理運営を行い、市民ニーズに可能な限り対応しながら運営できた。コロナ禍前を超える利用者数となっており、利用者満足度の向上の取組成果が現れてきたと考える。 2 河南室内プール 利用者の声を積極的に取り入れるなど、利用者目線の運営を行い、利用しやすい環境の提供を図った。また、魅力ある教室プログラムの開発などの取組を行い、満足度を高められるよう努めた。																																																									
成果に係る評価	1 遊楽館 市民が利用しやすい環境、雰囲気作りを心がけ、利用者の満足度を高めるため、引き続き運営等について指定管理者と定期的に協議を行い、施設の管理を行っていく。 2 河南室内プール 指定管理者の構成団体であるミズノグループ所属のトップアスリートの知識や技術を、利用者が体験できる場を提供するなど、他の類似施設との差別化を図っている。 年間を通じてアンケート調査を行うなど、利用者のニーズを把握しながら、教室のプログラムに反映させたほか、広く市内小学生のスクール会員増加に努めた。																																																									
(単位：円)																																																										
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																							
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																				
	110,560,000	110,560,000				110,560,000																																																				

予算科目	10 款	教育費	事業名	かなんパークゴルフ場管理運営事業												
	6 項	社会教育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち											
	8 目	社会教育施設管理費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進											
	事業	かなんパークゴルフ場運営費		(2)	スポーツ環境を整備する											
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		-												
目的及び事業内容		パークゴルフを通じて市民同士の親睦と交流を深め、スポーツの楽しさとふれあいの場を提供することにより、基礎体力向上や健康増進を図るとともに利便性の向上に資するため、指定管理者による適正な施設管理運営を実施する。														
取組実績	1 指定管理者による施設運営事業 (1) 指定管理者 有限会社ふれあいパーク (2) 指定管理料 12,500,000円 (3) 指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）															
	2 施設管理運営事業 (1) 利用者への指導、初心者講習会（随時） (2) 各種大会の開催 (3) 快適なパークゴルフ場を目指すための施設整備 (芝管理、立木の維持、施設の点検維持管理、施設周辺の環境整備) (4) 休憩所空調設備設置工事を発注															
	成 果 令和5年度の利用者数は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、徐々に利用者が戻り始めているところではあるが、県内に類似施設がオープンするなど、近隣パークゴルフ場へ利用者が分散傾向にある。 その一方で、地域のコミュニティ活動や公民館の事業等にも数多く活用されたほか、全国大会の会場として全国各地から多くの選手が参加するなど、健康増進や競技スポーツの場として年間約3万人の施設利用実績があり、スポーツ交流を通じた地域のコミュニティづくりや一定の市民の健康づくり（基礎体力の向上、メタボ予防、ストレス解消等）の推進に役立てられた。															
			利用者の推移													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30,439人</td> <td>29,658人</td> <td>31,267人</td> <td>30,555人</td> <td>30,372人</td> </tr> </tbody> </table>					R1	R2	R3	R4	R5	30,439人	29,658人	31,267人	30,555人	30,372人
R1	R2	R3	R4	R5												
30,439人	29,658人	31,267人	30,555人	30,372人												
成果に係る評価	指定管理者において、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も継続して施設内の消毒・換気等の衛生管理に取り組んだほか、利用者に対して積極的な声掛けや挨拶を含め、利用者が安心して利用できる環境づくりに努め、利用者の拡大が図られた。引き続き適正な施設の管理運営を図るため、事業を継続する必要がある。 また、事業運営等について指定管理者と随時協議を行い、施設の管理を行っていく。															
(単位：円)																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	12,500,000	12,500,000				12,500,000										

予算科目	10 款	教育費	事業名	スポーツ振興事業																																	
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																
	1 目	保健体育総務費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進																																
	事業	体育奨励費		(1)	スポーツ活動を推進する																																
担当部課	市民生活部スポーツ振興課			実施計画掲載ページ	P 101																																
目的及び事業内容		市民の健康づくりと交流促進・生涯スポーツ社会の実現・成人のスポーツ実施率の向上・青少年の健全育成と交流促進を目指し、マラソン大会や市民スポーツフェスタ、スポーツ教室等を実施することで、石巻市スポーツ推進計画の到達目標としている、成人の週1回のスポーツ実施率の向上及び子どもたちの体力と運動能力を向上する。																																			
取組実績		1 いしのまき復興マラソン 全国に向けて復興した石巻市の姿を発信するために、第7回いしのまき復興マラソンを開催した。年齢・性別などに応じて、ウォーキング・ノルディックウォーキング・10km・ハーフの計4種目を実施し、多くの支援を受けて震災から復興した石巻市を全国に発信するため、復興の象徴である石巻南浜津波復興祈念公園を会場として開催した。 2 いしのまき市民スポーツフェスタ 市民が身近なスポーツに親しみ、生涯スポーツを通して健康に関心を持ち、健康な身体づくりができるようスポーツ参画の推進を図ることを目的として、親子ふれあいスポーツ大会を開催した。 3 いしのまきキッズ交流大会及び石巻市スポーツ少年団交流大会 市内小中学生と石巻市スポーツ少年団が同じスポーツ種目で活動することにより、青少年の健全育成や地域間の交流を図りながら、スポーツに参加することへの機運を高めることを目的として令和6年3月に実施した。 4 キッズバラエティスポーツ教室 スポーツに参加したい小学生を対象に、様々なスポーツに触れる機会を創出するため、平成24年度からNPO法人石巻市スポーツ協会への委託事業として実施し、子どもたちが自分に合った種目を見つけて出すことで、スポーツに取り組む機会を提供し、同年代の子ども達と一緒に活動することでコミュニティの形成を図った。 5 体育館スポーツ教室 石巻市総合体育館を会場に一般市民を対象として、バドミントン・卓球教室を平成25年度からNPO法人石巻市スポーツ協会への委託事業として実施し、体を動かす楽しさや、技術の向上を感じることで、心身両面にわたり健康の保持増進を図った。																																			
成果		令和4年度までは、新型コロナウイルス感染症により、中止したイベントや感染症対策により定員に制限を加えていたが、令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、全体的に実施した事業については、前年度と比較すると増加傾向にあり、市民の健康づくりと交流促進・生涯スポーツ社会の実現・成人のスポーツ実施率の向上・青少年の健全育成と交流促進が図られた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指標項目</th> <th>復興マラソン</th> <th>スポーツフェスタ</th> <th>キッズバラエティ</th> <th>体育館教室</th> <th>いしのまきキッズ交流・スポ少交流大会</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td rowspan="3">参加者数</td> <td>中止</td> <td>153人</td> <td>838人</td> <td>2,126人</td> <td>中止</td> <td>3,117人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2,397人</td> <td>中止</td> <td>905人</td> <td>1,130人</td> <td>353人</td> <td>4,785人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1,605人</td> <td>79人</td> <td>1,201人</td> <td>2,448人</td> <td>298人</td> <td>5,631人</td> </tr> </tbody> </table> ※スポーツフェスタ、キッズバラエティ、体育館教室、いしのまきキッズ交流・スポ少交流大会の事業経費(2,214,000円)については、総合体育館の指定管理料から支出している。						年度	指標項目	復興マラソン	スポーツフェスタ	キッズバラエティ	体育館教室	いしのまきキッズ交流・スポ少交流大会	計	R3	参加者数	中止	153人	838人	2,126人	中止	3,117人	R4	2,397人	中止	905人	1,130人	353人	4,785人	R5	1,605人	79人	1,201人	2,448人	298人	5,631人
年度	指標項目	復興マラソン	スポーツフェスタ	キッズバラエティ	体育館教室	いしのまきキッズ交流・スポ少交流大会	計																														
R3	参加者数	中止	153人	838人	2,126人	中止	3,117人																														
R4		2,397人	中止	905人	1,130人	353人	4,785人																														
R5		1,605人	79人	1,201人	2,448人	298人	5,631人																														
成果に係る評価		振興事業全体としては、新型コロナウイルス感染症の5類移行、石巻市スポーツ協会をはじめとした関係団体と連携した企画・運営や実技指導などの要因により、参加人数は増加傾向にある。ただし、いしのまき復興マラソンは、参加者数が前年より減少したことから、今後はコースの再検討など、内容の充実化を図るため、一層の工夫が必要と思われる。 今後とも、石巻市スポーツ協会との「協働」体制を継続しつつ、「成人のスポーツ実施率の向上」や「市民の健康づくり」を目標に掲げ、多くの市民が参加しやすい環境の整備や参加意識の向上に努めたい。																																			
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	3,000,000		3,000,000				3,000,000																														

予算科目	10 款	教育費	事業名	石巻スポーツコミッション運営支援事業				
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
	1 目	保健体育総務費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進			
	事業	スポーツ交流推進事業費		(2)	スポーツ環境を整備する			
担当部課	市民生活部スポーツ振興課			実施計画掲載ページ	P 102			
目的及び事業内容		いしのまきスポーツコミッションは、スポーツと地域資源を戦略的に活用し、まちづくりや地域活性化につなげる取組を推進している。その活動は、交流人口の拡大や市民の健康増進など、経済的効果と社会的効果の両面で発揮され、本市が推進する地方創生や持続可能なまちづくりに寄与するものであることから、負担金を交付し、当該団体の運営を支援する。						
取組実績		いしのまきスポーツコミッション(R5.3.23設立)の事業実績 実質設立初年度であることから、専門事業者から運営に関する指導を受けながら土台づくりを行った。 1 いしのまきスポーツコミッション支援業務委託 委託先：株式会社NTTデータ経営研究所 契約期間：令和5年9月1日～令和6年3月31日 契約金額：17,644,000円 (1) 事業構想(コミッションの目指すべき姿や事業の方向性を示す事業構想を策定) ア 実施回数 現地での調査検討6回、WEB会議4回 イ 実施内容 (7)市内の地域資源調査及び人材調査 (イ)構成団体代表者及び担当者にヒアリング (ウ)まちづくり団体等の連携構築とワークショップ実施 (イ)事業構想のビジョン等の検討 (2) 事業計画(スポーツコミッションの事業展開を示す事業計画を策定) ア 実施回数 現地での検討7回、WEB会議5回 イ 実施内容 (7)本市で実施可能な事業の検討 (イ)関係団体に対するヒアリング (ウ)先進地事例の検証 (イ)収益確保を含めた事業の検討 ※検討した結果4つの軸事業を決定 ①イベント・大会誘致 ②スポーツ合宿 ③スポーツツーリズム ④自主事業 (3) マーケティング戦略の構築(収益事業の確保の検討や経営マネジメントの基礎等) ア 実施回数 現地での検討10回、WEB会議5回 イ 実施内容 (7)地域経済効果を発揮できる手法の検討 (イ)コミッションの収益を上げる仕組みの構築 (ウ)構成団体や各事業の関係団体と意見交換 (イ)事業収支・地域経済効果の試算 (4) スポンサーの獲得支援(スポンサー獲得や持続可能な事業を展開するために必要な協賛企業を集める手法を構築) ア 実施回数 現地での検討5回、WEB会議1回 イ 実施内容 スポンサーの獲得手法等の検討 2 自主事業の実施 実施事業 5事業 参加者数 375人(eスポーツ、フィットネス体験など)						
成果		スポーツコミッションにおいて、単にイベントを開催する団体ではなく、スポーツと地域資源を戦略的に活用し、まちづくりや地域活性化に効果を発揮する団体として事業構想や事業計画を策定した。さらに、市内の様々な団体との意見交換を行いながら各団体との連携構築を行っている。 また、マーケティング戦略やスポンサー獲得手法においては、収益事業を確立するため構成団体等とヒアリングを行い当団体に適した事業の検証を行った。さらに自走化に向けて、現状におけるスポーツコミッションの経常利益や地域経済効果を試算し、報告書としてまとめている。						
成果に係る評価		スポーツコミッションとして事業展開に向けてのスキル取得や準備作業が中心となったものの、実施した各事業において、市内の宿泊施設、飲食店、スポーツジム及びまちづくり団体等と連携を構築できたことは、次年度以降の事業展開において効果が発揮されるもの。 しかしながら、構成団体と連携した事業展開までには至らなかったことから、各団体の自主性の向上やスポンサー獲得に課題を残している。 今後は、イベント・大会誘致、スポーツ合宿や自主事業を本格的に展開することから、早期に事務局を決定し、事業を進めるうえで構成団体の役割を明確にして、一体となって取り組める体制づくりを進める。						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	27,000,000		27,000,000					27,000,000

予算科目	10 款	教育費	事業名	スポーツ交流事業																																	
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																
	1 目	保健体育総務費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進																																
	事業	スポーツ交流推進事業費		(3)	スポーツを通じた交流活動を推進する																																
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		P 102																																	
目的及び事業内容		スポーツ交流イベントを開催することにより、スポーツの楽しさや魅力を体感し、スポーツ交流人口の増加や一体感の醸成を図るとともに、技術の向上と健康増進を図る。 市主催のスポーツ交流事業や市内小中学校であすチャレ！スクールを実施するほか、プロスポーツチームとの連携事業等、市外から大勢の参加者を見込めるスポーツ交流事業を実施する。																																			
取組実績		1 スポーツ交流事業 (1) いしのまきスポチャレ2023 (R5.10.21) 元プロスリットやコーチによるレベルの高い指導やプレーを間近で体験でき、子どもたちの基本的かつ高度な技術の習得と心身の健全な育成を図るとともに、スポーツ交流の人口の増加を目的としたクリニックを開催した。 2 あすチャレ！スクール (R5.5.17~12.8) パラリンピアンによるデモンストレーションや講話を実施するとともに、パラスポーツ体験を通じて、子どもたちに貴重な学びの機会を提供する。 3 プロスポーツチームとの交流事業 本市とスポーツ交流活動等に関する協定を締結している株式会社ベガルタ仙台並びにマイナビフットボールクラブやパートナー協定を締結している株式会社楽天野球団と連携し、各チームが持つノウハウを生かすことで、スポーツ交流人口の拡大を目指すとともに、地域課題等の解決を図る。 (1) ベガルタ仙台との連携事業 ア 訪問型サッカー教室 (R5.6.23~R5.12.14) イ 健康体操教室 (R5.10.11~R5.12.8) ウ 親子招待事業 (R5.6.25/R5.9.30) エ キャリアセミナー教室 (R5.12.19) (2) マイナビ仙台との連携事業 ア 訪問型サッカー教室 (R5.11.21) イ 親子招待事業 (R6.3.9) (3) 楽天野球団との連携 ア 親子招待事業 (R5.8.19) イ ふれあいイベント (R6.3.17)																																			
成果		市民とスポーツ選手との交流を実施することで、スポーツを通じた交流の場を創出するとともに、交流事業に多くの方が参加し、スポーツ交流人口の拡大を図ることができた。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>指標項目</th> <th>スポチャレ2023</th> <th>陸上クリニックin石巻</th> <th>オリンピックデーラン</th> <th>あすチャレ！スクール</th> <th>プロスポーツチームとの交流事業</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td rowspan="3">参加者数</td> <td></td> <td>76人</td> <td></td> <td>157人</td> <td>299人</td> <td>532人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td>72人</td> <td>224人</td> <td>306人</td> <td>396人</td> <td>998人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>97人</td> <td></td> <td></td> <td>280人</td> <td>747人</td> <td>1,124人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	指標項目	スポチャレ2023	陸上クリニックin石巻	オリンピックデーラン	あすチャレ！スクール	プロスポーツチームとの交流事業	計	R3	参加者数		76人		157人	299人	532人	R4		72人	224人	306人	396人	998人	R5	97人			280人	747人	1,124人
年度	指標項目	スポチャレ2023	陸上クリニックin石巻	オリンピックデーラン	あすチャレ！スクール	プロスポーツチームとの交流事業	計																														
R3	参加者数		76人		157人	299人	532人																														
R4			72人	224人	306人	396人	998人																														
R5		97人			280人	747人	1,124人																														
成果に係る評価		市民がスポーツに対して関心を高め、スポーツ交流人口の増加が図られるよう各種取組を実施した。プロスポーツチームとの交流事業では、本市出身でベガルタ仙台の菅原龍之助選手が母校である湊小学校を訪問し、これまでの経験などの話をさせていただくことで、夢や目標を実現させるために必要なことを学ぶ機会を提供するキャリアセミナー教室を初開催した。 今後も、プロスポーツ交流やコミッション事業などスポーツ交流事業を実施し、参加者数の増加を図り、交流人口の拡大を図っていく。																																			
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
	3,930,000		3,389,019				3,000,000	389,019																													

予算科目	10 款	教育費	事業名	桃生植立山公園管理運営事業																																																					
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																																				
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進																																																				
	事業	植立山公園管理費		(2)	スポーツ環境を整備する																																																				
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		-																																																					
目的及び事業内容		市民の一体感の醸成・市民の健康づくりと交流促進・生涯スポーツ社会の実現・成人のスポーツ実施率の向上・青少年の健全育成と交流促進・スポーツ少年団加入率の向上・総合型地域スポーツクラブの拠点づくりを目的とし、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																							
取組実績		1 指定管理者による施設運営事業 (1) 指定管理者 有限会社ふれあいパーク (2) 指定管理料 12,200,000円 (3) 指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間) 2 施設管理運営事業 (1) 利用者のサービス向上 ア 利用者ニーズの変化を捉えつつ、柔軟に対応し、受付や問い合わせ等においてきめ細やかな心配りを意識した接遇を心掛けるなど利用者サービスの向上に努めた。 また、感染症等の予防対応を徹底し、安全で、安心して利用できる施設管理運営に努めた。 (2) 環境整備 ア パークゴルフ場等の芝管理や植栽木の手入れ、松林の除草等を徹底し、利用者がさわやかな気持ちで活動できる環境の整備に心掛けた。 また、懸案となっているパークゴルフ場の排水不良対策として、フィールドの土を入れ替えるなど、早期改善に向けた修繕等を行った。 イ 住民自治組織「ものう夢ネットワーク」と、桃生総合支所地域振興課、桃生公民館が共催で取り組んでいる松林再生事業「松の木を植えよう」の協力を行う等、地域と一体となった環境保全活動を行った。																																																							
成果		昨年度まで新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために中止していた、指定管理者によるパークゴルフ大会や教室等の自主事業を、規模を縮小した形ではあるが再開させることができ、利用者の交流の場として提供することができた。 また、整備された施設環境やきめ細やかな受付等の対応により、利用者からは好評を得ており、市民のスポーツ活動を促進させるなど、地域に貢献できる施設としてスポーツ振興が図られた。 利用者数等の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">パークゴルフ場</td> <td>利用者数</td> <td>3,870人</td> <td>5,344人</td> <td>5,735人</td> <td>7,023人</td> </tr> <tr> <td>使用料等</td> <td>773,340円</td> <td>1,093,900円</td> <td>1,209,760円</td> <td>1,443,210円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">テニスコート</td> <td>利用者数</td> <td>855人</td> <td>725人</td> <td>731人</td> <td>1,020人</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>150,600円</td> <td>104,250円</td> <td>107,850円</td> <td>129,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ソフトボール場</td> <td>利用者数</td> <td>296人</td> <td>693人</td> <td>1,030人</td> <td>1,272人</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>6,600円</td> <td>23,100円</td> <td>14,700円</td> <td>24,900円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合 計</td> <td>利用者数</td> <td>5,021人</td> <td>6,762人</td> <td>7,496人</td> <td>9,315人</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>930,540円</td> <td>1,221,250円</td> <td>1,332,310円</td> <td>1,597,110円</td> </tr> </tbody> </table> ※参考 多目的広場(フリーエリア(使用料：無料))						区 分		R2	R3	R4	R5	パークゴルフ場	利用者数	3,870人	5,344人	5,735人	7,023人	使用料等	773,340円	1,093,900円	1,209,760円	1,443,210円	テニスコート	利用者数	855人	725人	731人	1,020人	使用料	150,600円	104,250円	107,850円	129,000円	ソフトボール場	利用者数	296人	693人	1,030人	1,272人	使用料	6,600円	23,100円	14,700円	24,900円	合 計	利用者数	5,021人	6,762人	7,496人	9,315人	使用料	930,540円	1,221,250円	1,332,310円	1,597,110円
区 分		R2	R3	R4	R5																																																				
パークゴルフ場	利用者数	3,870人	5,344人	5,735人	7,023人																																																				
	使用料等	773,340円	1,093,900円	1,209,760円	1,443,210円																																																				
テニスコート	利用者数	855人	725人	731人	1,020人																																																				
	使用料	150,600円	104,250円	107,850円	129,000円																																																				
ソフトボール場	利用者数	296人	693人	1,030人	1,272人																																																				
	使用料	6,600円	23,100円	14,700円	24,900円																																																				
合 計	利用者数	5,021人	6,762人	7,496人	9,315人																																																				
	使用料	930,540円	1,221,250円	1,332,310円	1,597,110円																																																				
成果に係る評価		新型コロナウイルス感染症やパークゴルフ場の排水不良対策等の影響はあるものの、着実に利用者が増加しており、利用者からも整備された施設環境等において好評が得られた。 今後、現在の状況を維持しつつ、パークゴルフ協会等の利用団体や地域自治団体と連携し、更なる施設の利用促進を図り、より利用者や地域住民等から親しまれる地域のスポーツ振興の拠点施設としての役割を担うため、本事業を継続する必要がある。																																																							
(単位：円)																																																									
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																				
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																	
	12,200,000		12,200,000					12,200,000																																																	

予算科目	10 款	教育費	事業名	桃生植立山公園改修整備事業										
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち									
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進									
	事業	植立山公園管理費		(2)	スポーツ環境を整備する									
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		P 101										
目的及び事業内容	老朽化した桃生植立山公園の管理事務所兼休憩所等の整備を行い、多くの方が訪れる公園として、施設の機能を充実させるとともに、屋外型スポーツ施設として、利用者の安全の確保と利便性の向上を図る。													
取組実績	桃生植立山公園管理事務所兼休憩施設等整備に伴う実施設計を実施した。 業務名（委託）：桃生植立山公園管理事務所及び休憩施設整備工事設計業務 工期：令和5年10月11日～令和6年3月29日 業務委託料：4,933,500円 業務完了日：令和6年3月29日													
成 果	令和5年度に桃生植立山公園管理事務所兼休憩施設等整備に伴う実施設計を行い、当該事業の進捗を図った。													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>事業進捗率100%</td> <td>事業進捗率100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	成果指標		達成率等	目標値	実績等	R5	事業進捗率100%	事業進捗率100%	100%		
年度	成果指標			達成率等										
	目標値	実績等												
R5	事業進捗率100%	事業進捗率100%	100%											
成果に係る評価	桃生植立山公園は、桃生地区の旧北上川河川敷の緑豊かな自然環境を生かした屋外スポーツ公園として平成9年にオープンし、多くの市民に利用されている。 市民が気軽に利用・交流できるスポーツ施設として充実を図ってきたが、急な雷雨や炎天下時に退避する場所がないことから、老朽化した管理施設や屋外トイレの改修設計と併せて休憩施設の改修設計等を行い、多くの方が訪れる公園としての機能を充実させ、利用者の安全確保と利便性向上のための事業進捗が図られた。													
予算の執行状況	(単位：円)													
	予算額	決算額	決算額の財源内訳											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源								
	5,000,000	4,933,500		4,900,000		33,500								

予算科目	10 款	教育費	事業名	雄勝体育施設管理運営事業																					
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																				
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進																				
	事業	雄勝体育施設管理費		(2)	スポーツ環境を整備する																				
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		-																					
目的及び事業内容	雄勝体育施設（雄勝体育館・雄勝多目的運動広場・雄勝艇庫）は、スポーツを通じて心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の向上を図り、もってスポーツの日常化と普及振興を推進するとともに、雄勝体育施設の効率的かつ適正な管理運営を実施する。																								
取組実績	1 指定管理者による施設運営事業（令和3年度より継続） (1) 指定管理者 公益社団法人MORIUMIUS（モリウミアス） (2) 指定管理料 15,060,000円 (3) 指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間） 2 施設管理運営事業 (1) 雄勝体育館の運営 バドミントン、剣道、バレーボール、太極拳、ダンス、コーラスサークルや伊達の黒船太鼓、味噌作朧ばやし愛好連、雄勝地区文化祭ステージ部門のほか、ヨガイベントやNPO法人ベビースマイル石巻による移動児童館等で利用 (2) 雄勝多目的運動広場の運営 雄勝公民館事業ニュースポーツ教室で利用 (3) 雄勝艇庫の運営 SUPやカヤックの貸出及び指導のほか、初心者向けのSUP体験会、経験者向けステップアッププログラム、屋内プールでのSUP体験会、キャンプ場とのコラボツアー、ビーチクリーン活動、SNSやPRチラシの活用による広報活動等を実施 (4) 地域貢献 施設周辺の清掃、除草等の環境維持活動、雄勝地区内の道路及び海岸付近の清掃等 (5) 安心安全な管理運営 SUP等の点検・修繕、スタッフ全員がJSPAインストラクター資格取得、救命講習受講等 (6) スタッフの資格取得（令和5年度実績） シットオンカヤックベシックインストラクター、SUPアドバンスインストラクター合格 (7) 利用者支援のための方策 ホームページでの魅力発信、年間を通じたSUP体験、石巻観光協会等との連携、情報誌掲載 (8) 経費削減のための方策 節電・節水、不要な印刷の削減、デジタルデータ管理、道具の修理修繕をスタッフで行う等																								
	成 果	雄勝体育施設利用者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>体育館</th> <th>多目的運動広場</th> <th>艇庫</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>1,644人</td> <td>45人</td> <td>198人</td> <td>1,887人</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2,188人</td> <td>145人</td> <td>160人</td> <td>2,493人</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1,685人</td> <td>14人</td> <td>216人</td> <td>1,915人</td> </tr> </tbody> </table>					年度	体育館	多目的運動広場	艇庫	計	R3	1,644人	45人	198人	1,887人	R4	2,188人	145人	160人	2,493人	R5	1,685人	14人	216人
年度	体育館	多目的運動広場	艇庫	計																					
R3	1,644人	45人	198人	1,887人																					
R4	2,188人	145人	160人	2,493人																					
R5	1,685人	14人	216人	1,915人																					
成果に係る評価	雄勝体育館及び雄勝多目的運動広場の利用者が減少しているが、利用者や利用団体の固定化及び新規の利用者が少ないことが原因と思われる。今後は、スポーツ少年団や部活動での利用、石巻市内外の新たな利用者増加のためのPRを行い、一層の利用促進を図っていく。 雄勝艇庫の利用者の増加については、コロナが明けたことや昨年の猛暑の影響が大きいものと思われるが、引き続きSUP体験会やカヤック体験会を数多く開催するとともに、屋内プールでのSUP体験会を継続して開催する等、年間を通してマリンスポーツに親しむことができるよう配慮し、親子での利用や学校単位での利用機会を増やしていきたい。 雄勝体育施設の周知活動については、インスタグラム等のSNSやチラシを活用し、マリンスポーツの魅力を外に広くPRするほか、旅行サイトや情報誌等に掲載し新規利用者の獲得を目指す。																								
予算の執行状況	(単位：円)																								
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	15,060,000	15,060,000				15,060,000																			

予算科目	10 款	教育費	事業名	石巻市総合体育館管理運営事業																																					
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち																																				
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進																																				
	事業	体育館管理費		(2)	スポーツ環境を整備する																																				
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		—																																					
目的及び事業内容	石巻市総合体育館は、体育・スポーツの普及振興を図り、もって市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の向上に資するため、体育・スポーツ活動やレクリエーションの指導研修、健康及び体力の増進などの相談に関する事業を行うとともに、スポーツ振興に関する事業を企画及び実施するため、指定管理者による適正な指定管理運営事業を実施する。																																								
取組実績	1 指定管理者による施設管理運営事業 (1) 指定管理者 特定非営利活動法人石巻市スポーツ協会 (2) 指定管理料 51,800,000円 (3) 指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間） 2 施設管理運営事業 (1) 利用者のサービス向上 利用者目線の管理運営に努め、利用者へのアンケート等を通じて、利用者のニーズを把握し、速やかに対応するとともに、行事予定や大会開催、各種イベントについて、SNSをはじめとする媒体を有効活用し、利用促進を図った。 (2) スポーツ振興事業の展開 市民の誰もがスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現や青少年の健全育成及び体力の向上を目指し、気軽に参加できるスポーツを通じて、地域の交流推進を図るなどして、様々なスポーツ種目への体験の機会を提供し、スポーツ振興の推進を図った。																																								
成果	1 スポーツ振興事業の参加者数の推移																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツフェスタ</td> <td>153人</td> <td>中止</td> <td>79人</td> </tr> <tr> <td>キッズバラエティ</td> <td>838人</td> <td>905人</td> <td>1,201人</td> </tr> <tr> <td>体育館教室</td> <td>2,126人</td> <td>1,130人</td> <td>2,448人</td> </tr> <tr> <td>いしのまきキッズ交流・スポ少交流大会</td> <td>中止</td> <td>353人</td> <td>298人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,117人</td> <td>2,388人</td> <td>4,026人</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	R3	R4	R5	スポーツフェスタ	153人	中止	79人	キッズバラエティ	838人	905人	1,201人	体育館教室	2,126人	1,130人	2,448人	いしのまきキッズ交流・スポ少交流大会	中止	353人	298人	合計	3,117人	2,388人	4,026人											
区 分	R3	R4	R5																																						
スポーツフェスタ	153人	中止	79人																																						
キッズバラエティ	838人	905人	1,201人																																						
体育館教室	2,126人	1,130人	2,448人																																						
いしのまきキッズ交流・スポ少交流大会	中止	353人	298人																																						
合計	3,117人	2,388人	4,026人																																						
成果	2 利用者数の推移																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人利用者数</td> <td>24,130人</td> <td>13,342人</td> <td>13,767人</td> <td>9,445人</td> <td>14,433人</td> </tr> <tr> <td>回数券利用者数</td> <td>12,252人</td> <td>10,441人</td> <td>12,306人</td> <td>8,612人</td> <td>13,549人</td> </tr> <tr> <td>貸切利用者数</td> <td>48,055人</td> <td>22,700人</td> <td>30,016人</td> <td>23,414人</td> <td>37,493人</td> </tr> <tr> <td>教室参加者数</td> <td>11,099人</td> <td>7,832人</td> <td>9,803人</td> <td>7,720人</td> <td>9,845人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>95,536人</td> <td>54,315人</td> <td>65,892人</td> <td>49,191人</td> <td>75,320人</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	R1	R2	R3	R4	R5	個人利用者数	24,130人	13,342人	13,767人	9,445人	14,433人	回数券利用者数	12,252人	10,441人	12,306人	8,612人	13,549人	貸切利用者数	48,055人	22,700人	30,016人	23,414人	37,493人	教室参加者数	11,099人	7,832人	9,803人	7,720人	9,845人	合計	95,536人	54,315人	65,892人	49,191人
区 分	R1	R2	R3	R4	R5																																				
個人利用者数	24,130人	13,342人	13,767人	9,445人	14,433人																																				
回数券利用者数	12,252人	10,441人	12,306人	8,612人	13,549人																																				
貸切利用者数	48,055人	22,700人	30,016人	23,414人	37,493人																																				
教室参加者数	11,099人	7,832人	9,803人	7,720人	9,845人																																				
合計	95,536人	54,315人	65,892人	49,191人	75,320人																																				
成果に係る評価	スポーツ振興事業として実施した各イベントは定着化してきており、市民の誰もがスポーツに親しむことができる機会を提供し、市民の健康増進や心身の健全育成に寄与した。 また、利用者数については、多様化する利用者ニーズの把握や積極的な広報活動もあり、増加傾向にあるが、今後は、更なる利用率の向上を図るため、会議室等を活用した研修会や講習会を行うなどして、新規利用者の開拓を図る必要がある。																																								
予算の執行状況	(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	51,800,000	51,800,000			2,214,000	49,586,000																																			

予算科目	10 款	教育費	事業名	石巻市総合体育館設備改修事業														
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち													
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進													
	事業	体育館管理費		(2)	スポーツ環境を整備する													
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		P102														
目的及び事業内容	石巻市総合体育館は、本市屋内スポーツ施設の中心的役割を担う施設であるが、昭和55年10月の開館から約44年が経過し、施設全体の老朽化が著しい状況である。 石巻市総合体育館設備改修により、計画的な施設・設備等の整備を実施し、施設利用者に安全で快適なスポーツ環境を提供することにより、スポーツ振興及び市民の健康増進を図ることを目的とする。																	
取組実績	石巻市総合体育館第一武道場に常設している柔道量は、平成2年度に取得してから30年以上経過し、経年劣化（隙間・段差）が著しく、各種柔道大会の開催に支障を来している状況にある。 練習中や競技中の選手の怪我に繋がるおそれがあることから、選手の安全性を確保することや、本施設で各種柔道大会が開催されることを見込み、全日本柔道連盟公認量577枚（コート6面分）を新調した。 購入実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>仕 様</th> <th>枚 数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>赤色 1畳 (長)1,820mm×(幅)910mm×(厚さ)60mm</td> <td>331枚</td> <td rowspan="4">試合場外（赤色） 試合場内（黄色）</td> </tr> <tr> <td>黄色 1畳 (長)1,820mm×(幅)910mm×(厚さ)60mm</td> <td>240枚</td> </tr> <tr> <td>黄色 半畳 (長) 910mm×(幅)910mm×(厚さ)60mm</td> <td>6枚</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>577枚</td> </tr> </tbody> </table>						仕 様	枚 数		赤色 1畳 (長)1,820mm×(幅)910mm×(厚さ)60mm	331枚	試合場外（赤色） 試合場内（黄色）	黄色 1畳 (長)1,820mm×(幅)910mm×(厚さ)60mm	240枚	黄色 半畳 (長) 910mm×(幅)910mm×(厚さ)60mm	6枚	合 計	577枚
	仕 様	枚 数																
赤色 1畳 (長)1,820mm×(幅)910mm×(厚さ)60mm	331枚	試合場外（赤色） 試合場内（黄色）																
黄色 1畳 (長)1,820mm×(幅)910mm×(厚さ)60mm	240枚																	
黄色 半畳 (長) 910mm×(幅)910mm×(厚さ)60mm	6枚																	
合 計	577枚																	
成果	石巻市総合体育館において、各種柔道大会を開催してきたが、近年は柔道量の老朽化が著しく、競技中の選手の怪我・事故等の発生が懸念されるため、他施設から柔道量を借用し大会を開催してきた経緯がある。 全日本柔道連盟が公認する量を購入したことに伴い、練習中や競技中の怪我・事故等を未然に防止し、安全性を確保することができた。 また、各種柔道大会が開催できる環境を整えたことにより、子供から大人まで幅広い年齢層に対応可能な各種柔道大会の開催が期待され、武道競技を通じて心身の鍛錬及び青少年の健全育成並びに競技力向上に寄与した。																	
成果に係る評価	施設の維持に当たっては、利用者ニーズに応じた施設環境を提供するため、優先順位を設定し、必要性の高い事業から計画的な修繕による長寿命化を図るとともに、令和3年12月に策定した「社会教育・体育施設等適正配置及び長寿命化計画」に基づき実施していく。																	
予算の執行状況	(単位：円)																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源												
	10,340,000	10,340,000			10,000,000	340,000												

予算科目	10 款	教育費	事業名	桃生武道館改修事業												
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち											
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進											
	事業	体育館管理費		(2)	スポーツ環境を整備する											
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		P 102												
目的及び事業内容	桃生武道館の経年劣化及び天井構成部の不具合を改修し、利用者に良好な施設環境を提供するとともに、利用者及び観覧者の安全性を確保することで、スポーツ振興及び利用者の健康増進に寄与する。															
取組実績	桃生武道館アリーナ天井等改修工事に伴う実施設計を実施した。 業務名（委託）：桃生武道館改修工事設計業務 工期：令和5年7月4日～令和5年11月24日 業務委託料：2,673,000円 業務完了日：令和5年11月24日															
成果	令和5年度に桃生武道館アリーナ天井等改修工事に伴う実施設計を行い、当該事業の進捗を図った。															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R5</td> <td>事業進捗率100%</td> <td>事業進捗率100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>		年度	成果指標		達成率等	目標値	実績等	R5	事業進捗率100%	事業進捗率100%	100%				
年度	成果指標			達成率等												
	目標値	実績等														
R5	事業進捗率100%	事業進捗率100%	100%													
成果に係る評価	桃生武道館は、中学校の部活動や各種スポーツ少年団をはじめ各種団体が幅広く利用する施設であるが、経年劣化や地震等の影響と思われる天井部固定ボードのズレが確認された。今後発生しうる災害対応として施設改修設計等を行い、利用者の安全確保と利便性向上のための事業進捗が図られた。															
予算の執行状況	(単位：円)															
	予算額	決算額	決算額の財源内訳													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
	2,673,000	2,673,000		2,600,000		73,000										

予算科目	10 款	教育費	事業名	石巻市総合運動公園管理運営事業																																																										
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みのちを未来につなぐまち																																																									
	2 目	体育施設費		第 6 節	生涯にわたるスポーツ活動の推進																																																									
	事業	総合運動公園管理費		(2)	スポーツ環境を整備する																																																									
担当部課	市民生活部スポーツ振興課	実施計画掲載ページ		-																																																										
目的及び事業内容	石巻市総合運動公園（セイホクパーク石巻）は、スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の向上に資することを目的とし、利用者への質の高いサービスや安全で快適な施設の提供を行うとともに、各種スポーツ行事や競技大会等の開催を通じて施設の魅力を高め、利用者の拡大を図っていくため、指定管理者による適正な施設管理運営事業を実施する。																																																													
取組実績	1 指定管理者による施設管理運営事業 (1) 指定管理者 特定非営利活動法人石巻市スポーツ協会 (2) 指定管理料 152,500,000円 (3) 指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間） 2 施設管理運営事業 (1) 利用者のサービス向上 利用者に満足していただけるよう、各種行事等について、ホームページやSNSを活用した情報発信を行うとともに、利用者の要望を把握するため、施設利用者に利用報告書を提出してもらい、要望、意見等に速やかに対応するように努めた。 (2) 快適な施設環境の提供 市民が安全で快適に利用できる機会を提供するため、日々の環境整備（清掃、除草、スポーツ芝の管理等）や緊急時の対応に備えた定期的な危険箇所の点検及び修繕に努めた。																																																													
成果	利用者数の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民球場</td> <td>23,298人</td> <td>23,177人</td> <td>22,107人</td> </tr> <tr> <td>フットボール場</td> <td>5,490人</td> <td>6,622人</td> <td>8,416人</td> </tr> <tr> <td>ふれあいグラウンド</td> <td>2,818人</td> <td>5,216人</td> <td>4,934人</td> </tr> <tr> <td>フットサルコート</td> <td>8,412人</td> <td>6,983人</td> <td>6,894人</td> </tr> <tr> <td>フットボールフィールド第1</td> <td>20,013人</td> <td>27,489人</td> <td>30,278人</td> </tr> <tr> <td>フットボールフィールド第2</td> <td>12,451人</td> <td>17,531人</td> <td>17,687人</td> </tr> <tr> <td>多目的フィールド</td> <td>5,380人</td> <td>6,497人</td> <td>5,945人</td> </tr> <tr> <td>テニスコート</td> <td>10,473人</td> <td>10,658人</td> <td>10,563人</td> </tr> <tr> <td>南ブロックシャワー室</td> <td>134人</td> <td>224人</td> <td>246人</td> </tr> <tr> <td>南ブロック更衣室</td> <td>10,753人</td> <td>6,914人</td> <td>13,931人</td> </tr> <tr> <td>施設外来園者</td> <td>107,981人</td> <td>81,606人</td> <td>90,100人</td> </tr> <tr> <td>トレーニングセンター</td> <td>11,529人</td> <td>11,925人</td> <td>14,459人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>218,732人</td> <td>204,842人</td> <td>225,560人</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	R3	R4	R5	市民球場	23,298人	23,177人	22,107人	フットボール場	5,490人	6,622人	8,416人	ふれあいグラウンド	2,818人	5,216人	4,934人	フットサルコート	8,412人	6,983人	6,894人	フットボールフィールド第1	20,013人	27,489人	30,278人	フットボールフィールド第2	12,451人	17,531人	17,687人	多目的フィールド	5,380人	6,497人	5,945人	テニスコート	10,473人	10,658人	10,563人	南ブロックシャワー室	134人	224人	246人	南ブロック更衣室	10,753人	6,914人	13,931人	施設外来園者	107,981人	81,606人	90,100人	トレーニングセンター	11,529人	11,925人	14,459人	合計	218,732人	204,842人	225,560人
区 分	R3	R4	R5																																																											
市民球場	23,298人	23,177人	22,107人																																																											
フットボール場	5,490人	6,622人	8,416人																																																											
ふれあいグラウンド	2,818人	5,216人	4,934人																																																											
フットサルコート	8,412人	6,983人	6,894人																																																											
フットボールフィールド第1	20,013人	27,489人	30,278人																																																											
フットボールフィールド第2	12,451人	17,531人	17,687人																																																											
多目的フィールド	5,380人	6,497人	5,945人																																																											
テニスコート	10,473人	10,658人	10,563人																																																											
南ブロックシャワー室	134人	224人	246人																																																											
南ブロック更衣室	10,753人	6,914人	13,931人																																																											
施設外来園者	107,981人	81,606人	90,100人																																																											
トレーニングセンター	11,529人	11,925人	14,459人																																																											
合計	218,732人	204,842人	225,560人																																																											
成果に係る評価	総合運動公園は、市内スポーツの一大拠点として子どもから大人までスポーツに親しみ、楽しむことができる施設であり、市民が安全で快適にスポーツ活動を行い、心身の健全な発達に寄与するため、施設利用者の意見を積極的に取り入れ、市民サービスの向上に努めた。各種競技大会やスポーツイベント等が盛んに開催され、利用者数は、前年より約2万人程度増加した。また、施設の名を「セイホクパーク石巻」とする施設命名権に関する契約をセイホク株式会社と締結しており、ネーミングライツ料収入（1,980,000円）のほか、野球場広告費収入（1,728,000円（18社））が管理運営事業の貴重な財源となっている。																																																													
予算の執行状況	(単位：円)																																																													
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																											
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																								
	152,500,000	152,500,000			3,708,000	148,792,000																																																								

予算科目	10 款	教育費	事業名	新学校給食センター整備事業		
	7 項	保健体育費	総合計画	第 5 章	豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち	
	4 目	学校給食センター建設費		第 1 節	安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進	
	事業	学校給食センター建設事業費		(1)	充実した教育を行うための環境を整備する	
担当部課	教育委員会学校管理課	実施計画掲載ページ		P 88		
目的及び事業内容		今後も安全安心な学校給食を安定供給していくため、老朽化した住吉、河北及び河南学校給食センターを統廃合し、新たに学校給食センターを整備するもの。				
取組実績		・新学校給食センターPFIアドバイザー業務契約締結（7月12日～R7年3月28日） ・建設地に係る地質調査実施（7月25日～9月29日） ・建設地に係る埋蔵文化財確認調査実施（12月25日～12月26日） ・新学校給食センター整備運営PFI事業審査委員会設置規則制定（3月26日）				
成果		・計画どおり事業を推進することができた。				
成果に係る評価		・整備手法にPFI方式を採用することで、効率的かつ効果的な施設整備、維持管理及び運営が期待できる。				
（単位：円）						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	18,260,000	13,749,120			12,537,800	1,211,320